

公民連携のまちづくり-キックオフセミナー

「浪江発・地域共創から生み出される 新たな価値をチャンスとして引き込む方法」

2025年5月29日 浪江町

廣 常 啓 一



社会環境の複雑化、急速な市場変化、行政財政の制約などを背景に、多様なプレイヤーによる「共創」の重要性が高まっています。

今日の複雑な課題に対応するには、単一の業界や企業の力だけでは人材・能力・予算などの面で限界があります。そのため、異なる立場の関係者が協力して新たな価値を生み出す共創が注目されています。

共創の形態は、公民連携や産学連携にとどまらず、地域・住民・企業・顧客間、同業種・異業種の企業間など、政府・自治体、市民、教育・研究機関といった多様なプレイヤーが連携することでその力を発揮します。

また、事業に於いても研究や開発の段階、事業化や社会実装の段階、人材確保や資金調達の段階、営業や販路開拓の段階など様々な事業段階にも活用できます。

浪江駅西側地区においても、まちづくりや地域経営、課題解決、コミュニティビジネス創出だけでなく、新技術やビジネスの創出、社会実装、マーケティングなど様々な側面で新たな価値を生み出す、共創プラットフォームの形成が進められています。

このプラットフォームと支援機能を活用することにより、地域と共創に参加する双方にとっての新たな価値を生み出すことができます。

本講演では、浪江町と浪江駅西側地区の経営資源を活用した地域共創の可能性について、「どのようなプレイヤーとの連携が考えられるか」、「どのような価値が創出されるか」、そして「その価値を様々な立場の参加者がどのように獲得したり活用したりできるか」、「価値をビジネスなどのチャンスとして事業化や横展開するのか」などを、具体的な事例を交えながらご紹介します。

1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

廣常啓一（ひろつね けいいち） 株式会社新産業文化創出研究所 代表取締役所長

1960年大阪府堺市生まれ。大学卒業後、日本経済新聞グループの日経広告にてマーケティングやクリエイティブディレクターや1990年国際花と緑の博覧会 屋内展示プロデューサーなどを経て、2005年新産業文化創出研究所（通称ICIC）を設立し、代表取締役の所長を務める。東京都港区在住

社会や地域課題の解決に資する新たな産業・文化の創出とそれをまちづくりに活かすことを目的としたシンクタンク兼、その実現のためのプロデュース機関でそのためのプラットフォーム機能や知の拠点施設(秋葉原UDX)を企画運営、その他、グランフロント大阪などのコンサルティングを行う。特徴として街づくりや都市計画、施設計画とその中身としての産業や文化創出の機能創造を行う。

- ・最近、銭湯巡りしています。
- ・港区の住まい近辺で、地域主体のリビングラボ仕掛けています。



- ・株式会社 新産業文化創出研究所（ICIC） 代表取締役所長
- ・帝塚山学院大学 特任教授 社会連携機構
- ・大阪公立大学大学院 都市経営研究科 客員講師
- ・東京都立大学The Tokyo U-club理事
- ・公益財団法人りそなアジアオセアニア財団 理事
- ・公益社団氷温協会常任理事
- ・一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団 理事
- ・一般社団法人全日本司土協会 理事
- ・独立行政法人科学技術振興機構 RISTEX社会技術研究開発センター SOLVE-SDGsアドバイザー
- ・独立行政法人都市再生機構 まちづくり支援専門委員
- ・NPO法人秋葉原観光推進協会理事
- ・NPO法人元気な120歳を創る会理事
- ・NPO法人キャンサーネットジャパン評議委員
- ・みんなのエネルギー会議代表
- ・グローバルヘルスイニシャティブ 代表幹事
- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会委員（事業者選定）
- ・一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン委員（事業者選定）
- ・その他

知的対流拠点形成のまちづくり

秋葉原クロスフィールド 秋葉原UDX、先端ナレッジフィールド (NTT都市開発・ダイビル・鹿島建設)



グランフロント大阪 ナレッジキャピタル (三菱地所・オリックス 阪急電鉄・積水ハウス 大林組・NTTUDほか6社)



ひろしま知の拠点 再生プロジェクト1期 (アーバンコーポレイション)



つくばセンタービル 新機能サービス創造 (筑波都市整備) 筑波大学附属病院PPP



浦添市公園まちづくり 琉球庭園都市 (浦添市・UR都市機構)



和光北インター地域 ハルシールパークPPP (和光市)



浪江国際研究学園都市 推進事業 (福島国際研究教育機構) (浪江町)



IoTプラットフォーム (福岡商工会議所)



多様な主体の参画検討(オープンイノベーション)によるまちづくり、リビングラボ企画例

E C O未来都市・尼崎エコミュージアムシティ構想

(尼崎市・尼崎商工会議所・
尼崎経営者協会・尼崎信用金庫
協同組合尼崎工業会・
公益財団法人尼崎地域産業活性化機構)



蓮田市農商工連携事業 アグリキャン (蓮田市・ 蓮田市商工会)



藤沢サスティナブル スマートタウン (パナソニック) IujisawaSST



川口グリーンセンター 活性化基本計画 (川口市)



横濱まちづくりラボ (横浜市)



横浜市山下ふ頭再開発 賑わい創出 (横浜市港湾局)



横浜中央卸売市場 活性化策と山内ふ頭 賑わい創出 (横浜市)



泉大津市ヘルシーパーク アビリティリビングラボ (泉大津市)



クールジャパンフロント のまちづくりりんくうタウン (大阪府・泉佐野市)

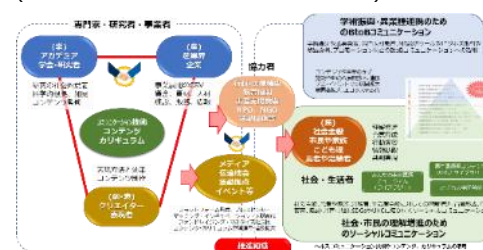


川上・川下ネットワーク構築支援事業 次世代IoT・インターネット・フェーズ推進ネットワーク構築 流通小売業におけるIoT技術の活用研究会 (独立行政法人中小企業基盤整備機構)

フードサービス産業 食の安全安心人材育成事業 (経済産業省)



未来医療国際拠点 健康医療ソーシャルコミュニケーション (大阪府・一般財団法人未来医療推進機構)



未来医療の共創をめざし共創プラットフォーム
を構築、実用化・産業化のエコシステムを形成

北大阪健康医療都市「健都」 健康医療のまちづくり 産官学民共創プラットフォーム (吹田市・摂津市・ほか)



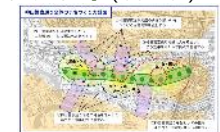
健都リビングラボ

食の知の拠点事業 (大阪府立・大阪府立大・ 同志社大・関西大・ 辻調理師専門学校)

関西エルフにクッキング (関西電力)



神戸警察通り賑わい 創出エリアマネ ジメント(千代田区)



パークマネジメント と次世代公園研究会



みんなの エネルギー会議 (町田市商工会議所・ 八王子商工会議所・ 相模原商工会議所)



食の知の拠点構想

(経済産業省
関西経済連合会・
開催経済同友会・
大阪商工会議所・
大阪市立大学・
大阪府立大学・
同志社大学・関西大学
辻調理師専門学校他)

癒し快適エビデンス 評価・支援センター (OHS協議会)



MICEイノベーション研究会



ロボットラボラトリー・RoBO ヘルスケア・フロンティア

(公益財団法人
大阪市都市型
産業振興センター)

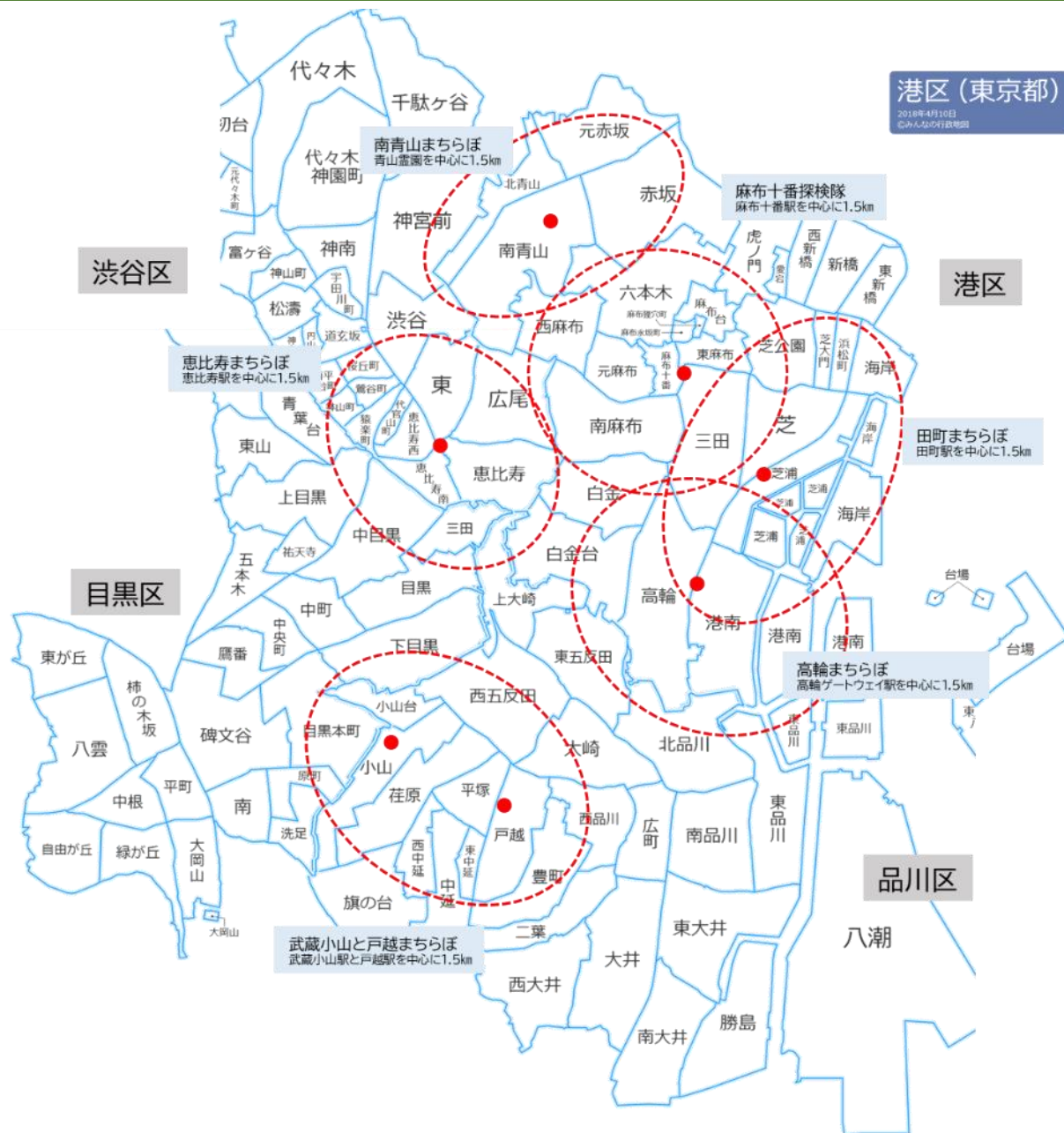


万博での共創推進



(公社)2025年日本国際博覧会協会
(公社)2025年日本国際博覧会大阪パビリオン

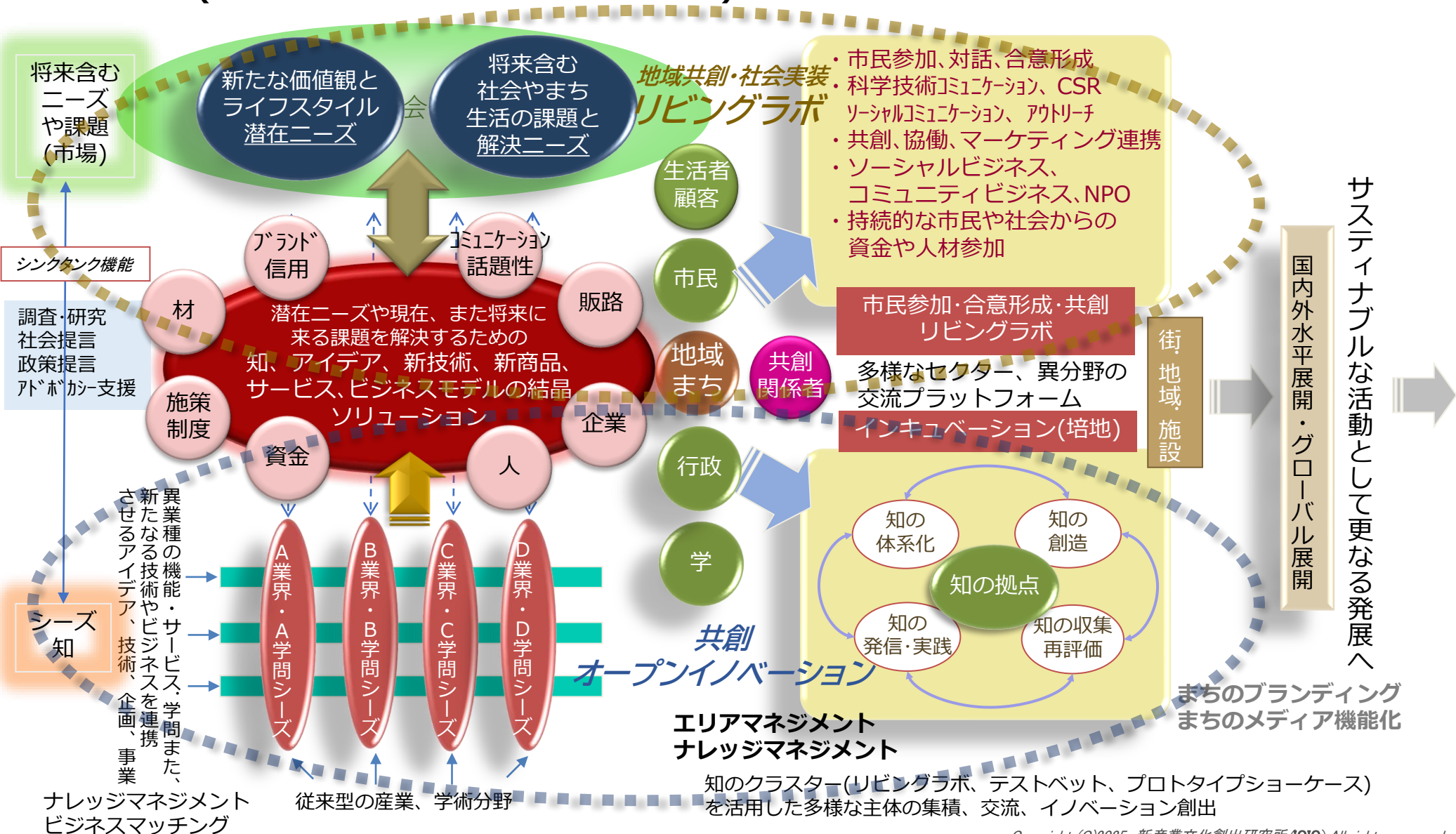
SNSからスタートした「まちらぼ」と多様なコミュニティ創出「麻布十番」⁵



社会や地域課題解決の新産業や新文化創出とまちづくりの共創

6

新たな社会課題解決策や市場対応に異分野連携(公民連携や異業種連携、産学連携、地域連携)が重要で、まちを培地(テストベットや共創、プロモーション)として活用し、まちのブランディングを実現する。



※リビングラボ（Living Lab）とは

- ①企業や研究機関のテストベット、フィールドワークとしての側面と、
- ②地域側が地域課題解決のために企業や研究機関の知恵や資金、ソリューションを誘致し共創する 2つの側面がある。

ここではテーマに基づいて地域やコミュニティで、市民やユーザーが主体性を持ちながら、地域の多様な課題解決や暮らし良い環境の実現のために新しい技術やサービス、プロダクトの開発を共創するプラットフォームの形成を目指す。地域活動の多様な主体形成の中間支援の役割もある。

や学びの課題解決と、
のためのフィールド

フィールドワークとしての側面と、
研究機関の知恵や資金、ソリューション

コミュニティで、市民やユーザーが主体性を持
し良い環境の実現のために新しい技術や
プラットフォームの形成を目指す。地域
もある。

中核拠点/機能



共創コーディネーター

技術・事業・資源

多様な主体の共創、共創のプラットフォーム

単純な協業や連携、ビジネスマッチングに加え、
1社や1業界では対応できない、多様な主体が共創しなくては実現が
困難であり、収益化できない複雑な課題の解決から革新的ビジネスモ
デルと新市場創造による企業の成長戦略の機会までを目指す。

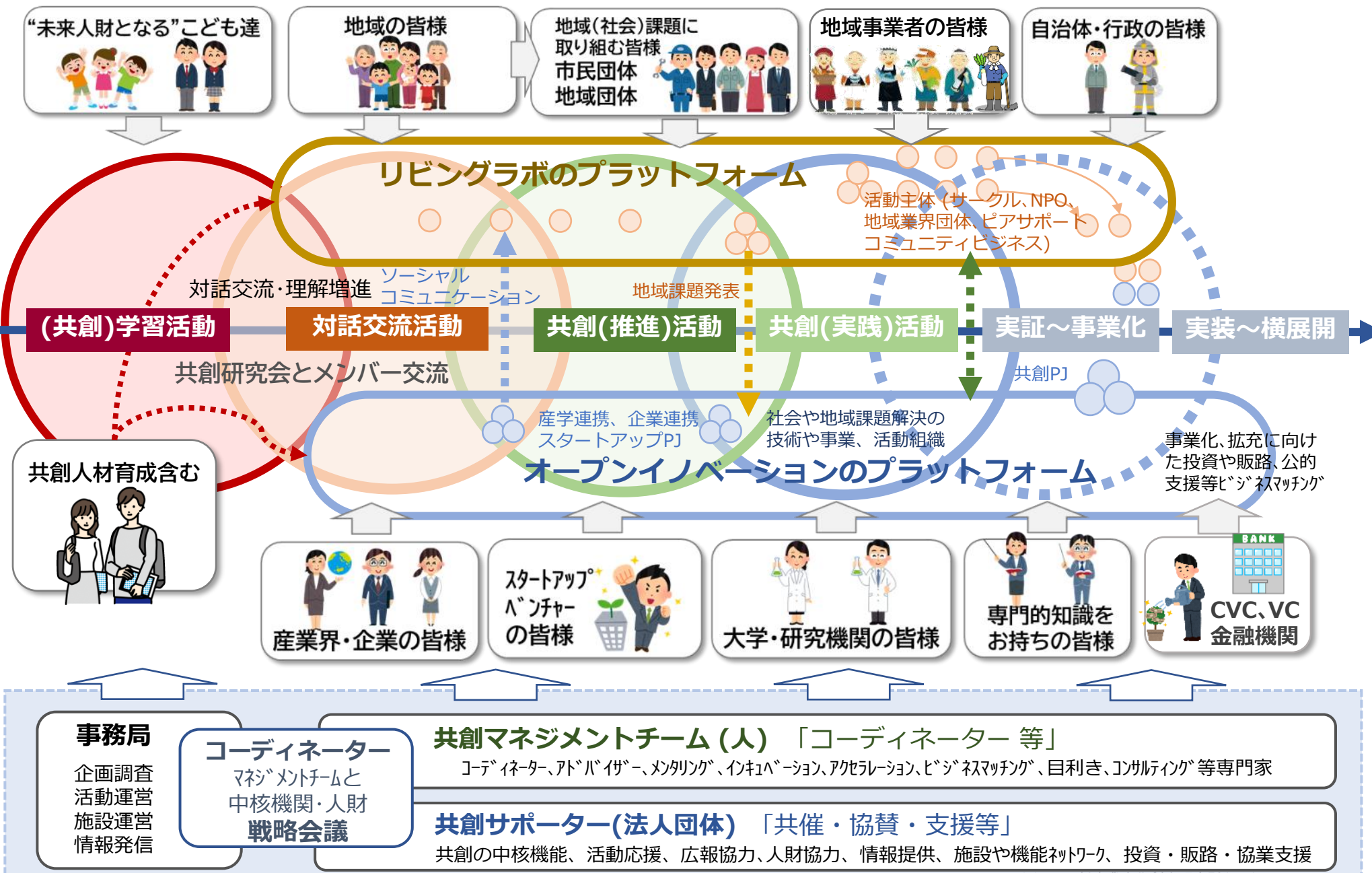
々の組織や人ができることの範囲を遥か
開発したり、新たな価値を生み出し、地
コンモデル。

や技術、サービス、事業などと共創して、

ビジネス課題解決に結び付く共創（産学連携
プラットフォームも目指す。

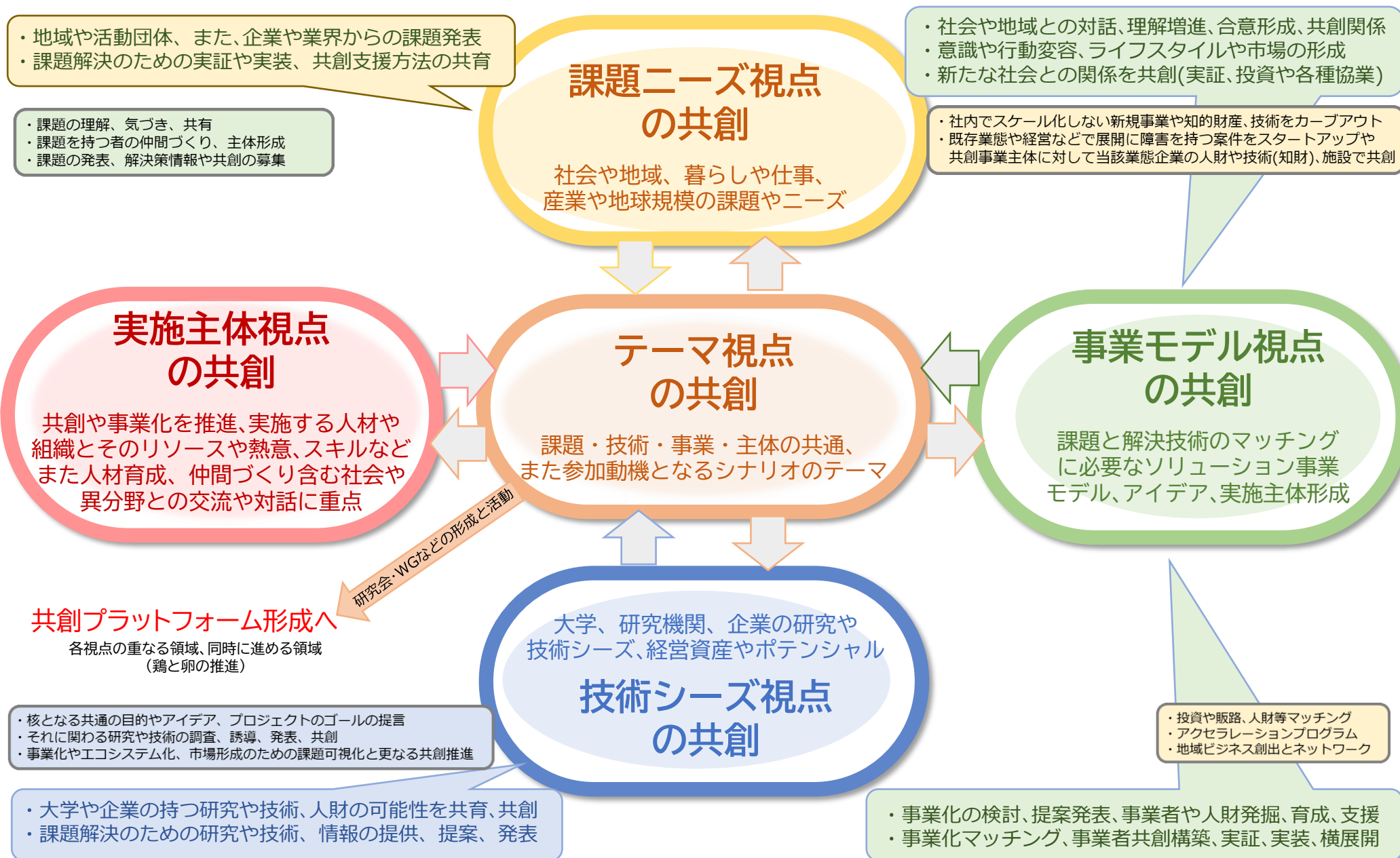


共創の理解から対話交流、共創推進、社会実証、実践、事業化、実装 8



共創活動に取り組む起点となる基本的な視点

9



1.企画調査

- ・課題・シーズ調査/募集
- ・共創テーマ検討計画
- ・想定テーマ活動参加者
- ・ヒアリング・ワーキング(会議)

2.交流Café

ゆる〜い対話交流
オフタイム活用



3.多様な主体 の対話交流

4.浪江町共創 プラットフォーム

キックオフや成果発表、提言
複数研究会の合同開催

11.共創のための準備

- ・共通言語化とビジョンを離れた効果的な共同作業のための子供向け学習開発と実践
- ・社会や地域との対話、理解増進、合意形成



5.テーマ別プラットフォーム共創研究会/小分類部会(分科会)

- ・共創するテーマ(課題視点/技術視点/事業視点)の発表者募集
- ・共創するプロジェクト(PJ)の企画、調査、想定パートナーとのヒアリング対話WG、発表者募集

6.関連セミナー「テーマの理解と共創に向けた対話」(基本公開オープン)

- ①関心を持つ方を集めるテーマのセミナー(共育共創説明会)/課題や技術情報収集発信
- ②WG(想定PJ、想定リビングラボ・フィールド)の説明会と参加者募集
- ③WGメンバーニーズによる共育セミナー勉強会/共創推進不足ピッチ募集/情報発信
- ④中核メンバー、共創希望メンバーからの課題、技術発表/ベネフィット説明/共創ピッチ募集



- ・共創に向けたアンケート調査、ヒアリング調査/情報収集等
- ・想定PJの中核メンバーや技術、メーカー、企業の募集、発掘
- ・課題視点/技術視点/事業視点の発表者募集
- ・課題視点/技術視点/事業視点の発表(ピッチ)/成果発表広報
- ・子供向け、市民や地域向けコミュニケーション発表者募集



7.発表ピッチ (オープン/クローズド)

- ・課題発表(サポーター等)
- ・解決策や技術発表
- ・事業アイデア発表
- ・実証フィールド発表
- ・資金や販路発表
- ・展示・デモ
- ・形成の中核メンバーと共創マッチング企画



8.ワーキング(会議)と ワーキンググループ (WG)活動、勉強会 (オープン/クローズド)

- (想定PJ別及び中核メンバー別)
- ・ワーキンググループ形成
- ・勉強会、セミナー・ワークショップ、合宿
- ・調査研究、視察・体験
- ・情報交換、会議、交流
- ・不足ピッチの可視化と補完



9.プロジェクト化(PJ)

- ・チームビルディング
- ・ビジネスマッチング
- ・コンソーシアム形成と公募等対応
- ・WG間交流PJ間交流

10.実証(フィールド)活動

- ・デモラボ、実証ラボ、
- ・地域の対話交流、共創リビングラボ形成
- ・地域調査(地域課題や経営資源、キーマン等)
- ・地域や施設での実証
- ・活動補助施策等誘導
- ・PJ課題や不足ピッチの可視化と補完

12.事業共創

- ・事業主体形成
- ・社会(地域)実装
- ・横展開計画
- ・資金調達
- ・マーケティング
- ・推進機関形成

13.社会地域 との共創

- ・話題作りムーブメント
- ・ソーシャルコミュニケーション活動
- ・合意形成行動変容
- ・市場・ライフスタイル創造
- ・地域主体形成支援
- ・コミュニティビジョン等

中核となる課題側の企業や地域、技術側の大学や企業、専門家と
コーディネーターなどによる部会やWG(コーディネーター戦略会議含む)

①運営事務局コンシェルジュ機能

- ・企画調査、共創活動参加者に代わっての企画調査も含むファシリテーション
- ・共創セミナーや勉強会、会議、ピッチの企画運営、審査評価企画
- ・多様な共創企画メンバーの集客、渉外業務
- ・研究会/WGメンバーの支援
- ・リビングラボ形成と共創実証事業の地域コーディネート
- ・マネジメントチーム、アドバイザーボード、メーカーとの連絡調整
- ・コーディネーター会議運営
- ・共創活動の事務局運営/広報/情報発信/活動コンテンツ制作
- ・その他コンシェルジュ機能

②アドバイザーボード 共創マネジメントチーム

- 事業共創チーム
コーディネーター・アドバイザー-専門家
メーカー、メーカー、アパレルメーカー、URA等個人
- ピッチ審査、評価、目利き
- リビングラボ、地域共創
コーディネーター・エリアマネジメント人財、地域人財育成、活動支援

③共創サポーター

- ・共創活動の中核機関
- ・VC、CVC
- ・共創支援機関
- ・協賛・協力・後援の団体・法人・行政
- ・メディア等

1. 自己紹介
- 2. 地域共創とリビングラボ**
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会



復興庁「浜通り復興リビングラボ」について

復興庁は、福島県の浜通り地域等における生活環境向上の実証事業プログラム「浜通り復興リビングラボ」を福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation : F-REI）や福島県等のパートナーとともに2023年度から推進しています。「リビングラボ」は、人々が生活する場でイノベーションを実践していくプログラムで、生活環境の向上に向けた官と民のパートナーシップがこの地域等に形成されることを目指しています。

浜通り復興リビングラボ宣言

みんなで つくっていこう

魅力ある「ふるさと」を目指して チャレンジする浜通り

Co-creation (共に)

地域課題の解決に向けて
産学官民の多様な主体による
パートナーシップ形成や広域連携を促進し、
新たな価値を共創する

Innovation (新しく)

異分野の連携、デジタルとリアルの融合、
最新のテクノロジーの活用など、
失敗を恐れず挑戦し、イノベーションを創出する

Inclusion (みんなで)

昔からの住民も、新しい住民も、
多様なバックグラウンドを持つ人が
一緒にワンチームで地域をつくる

Well-being (幸せ)

これまで育まれてきた自然・文化など、
地域の個性や特色を大事にしながら、
新しいものも取り入れ、生活を豊かにする

Sustainability (いつまでも)

創造的復興、持続可能な地域社会を実現し、
魅力ある浜通りを次世代の若者や子どもたちに引き継ぎ、
全国・世界にも発信していく

浜通り地域等15市町村×浜通り復興応援ビジネスネットワーク×復興庁 (2024.02)

出典:復興庁ホームページより

浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者はもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力**の更なる向上が必要。
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることを目指すとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）といった生活環境分野で、産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施を行い、**地域における生活環境向上**につなげる。



R6年度スケジュール

- 4月：4/5(金)実証事業参加企業公募開始
4/16(火)公募企業向け説明会
(地域課題共有)
4/18(木)企業間意見交換会@復興庁
4/23(火)現地視察
- 5月：5/31(金)公募〆切
- 6月：マッチング会議発表企業決定
第1回シンポジウム・マッチング会議
- 実施プロジェクト決定・発表
実証事業企画調整
調整が整った事業から順次実施
(原則としてR7年度末まで)
- 3月：第2回シンポジウム
専門家による実証事業総評

参加の主なメリット(自治体)

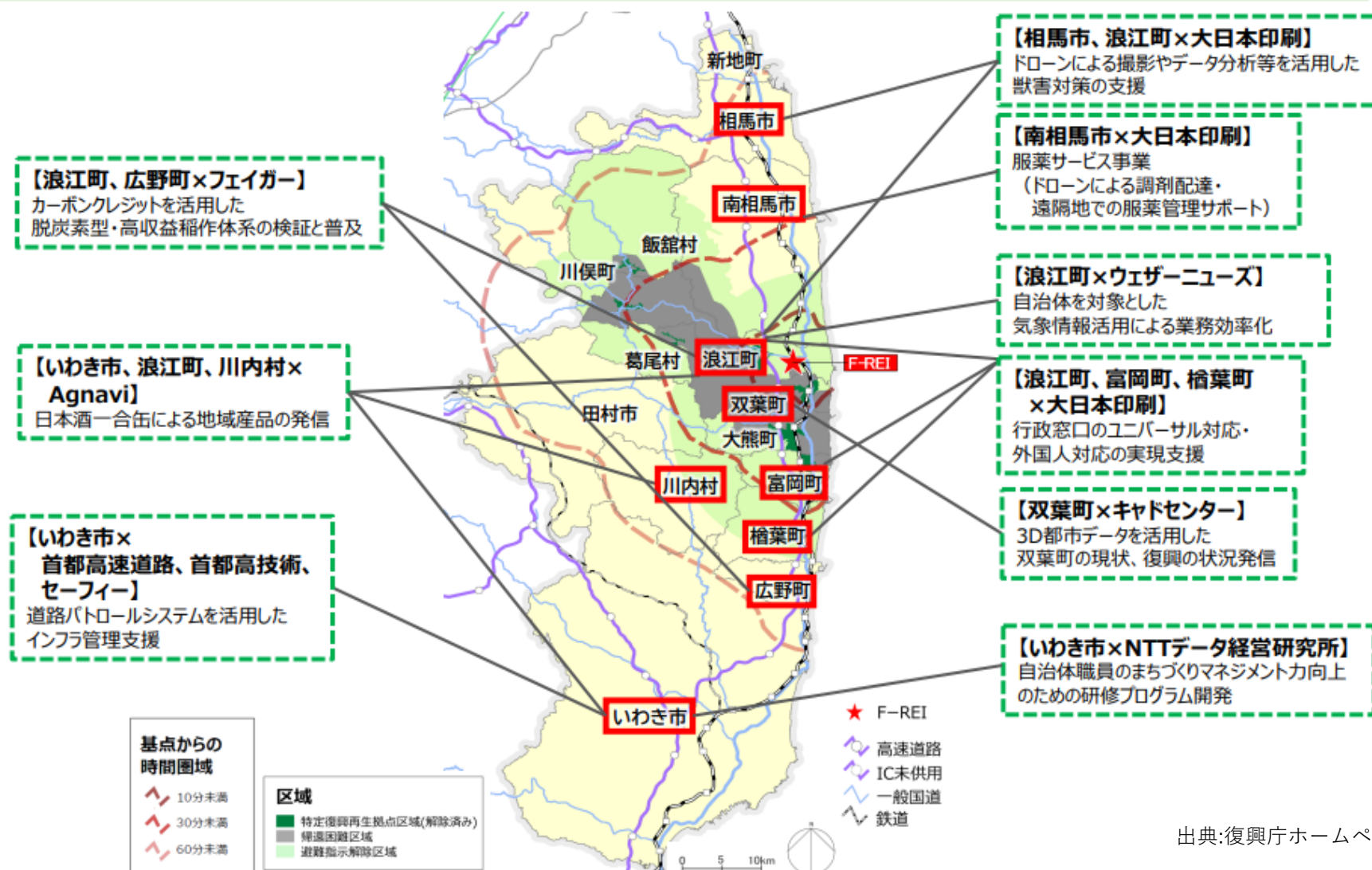
- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実感できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が新商品・サービス・ビジネスモデルを使った**より良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいてはF-REI研究者受け入れ環境の**向上**につなげられる。

参加の主なメリット(民間企業)

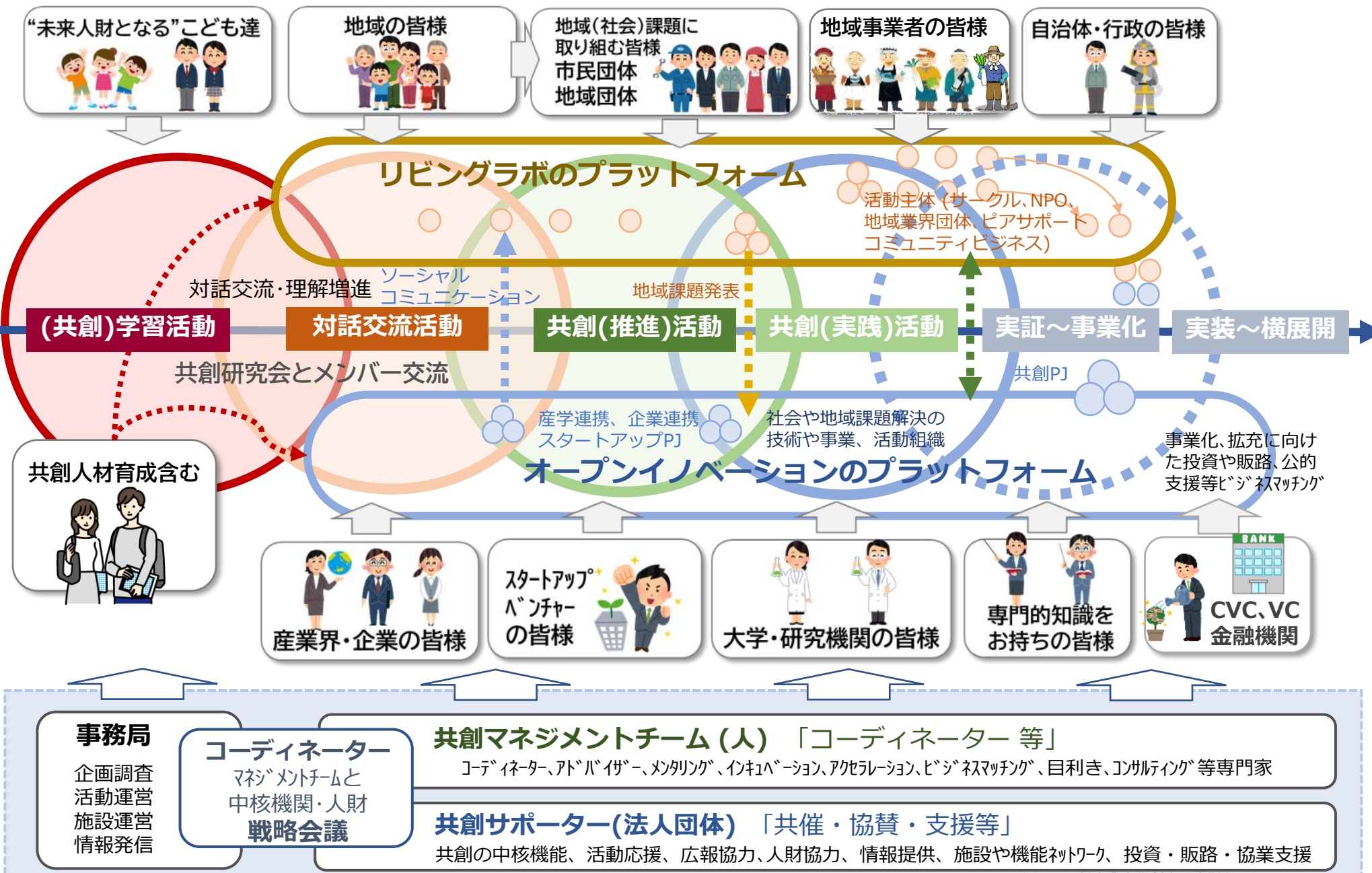
- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

令和6年度提案事業のマッチング結果（R6.9.30時点）

9事業でマッチング（9市町村を対象に9企業が参加）



出典:復興庁ホームページより





1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

共創とは

共創（co-creation）とは、住民や地域コミュニティ、地域産業と自治体、また個人や消費者と企業、大学研究機関、異分野の業種間等があらゆる利害関係者（ステークホルダー）と対話や交流、協働しながら事業の企画、運営、評価を行い、**新たな価値を創造すること**です。

様々なステークホルダーによる共創

学際連携 高大連携 異分野連携 異業種連携 同業種連携 産学連携 産学官金連携
業界連携 業際連携 企業連携 川上川下連携 製販連携 大企業とスタートアップ連携
公民連携PPP 農商工連携 地域連携 市民協働・協業 地域間連携連携 自治体連携
広域連携 関係人口連携 社会連携 異文化連携 国際連携

「共創」と「協業」「共生」について

「共創（co-creation）」と似た言葉に「協業（Collaboration）」などもあります。

「協業」はあらかじめ分担を決め、企業同士が利益追求のために協力することを意味し、協業相手を見つけることも大切ですが、近年では様々なステークホルダーが共に「共通善」を探し、作っていくことがより求められる時代だと言われています。「モノを作って提供するだけ」のビジネスではなく、より持続的に、よりニーズに合った価値を社会へ提供することが可能となります。

「共生」は、多様な価値観や立場の違う主体が互いに認め合い、共に生きることです。地域共生では、高齢者や子供、障害者や生活困窮者、異文化共生では、人種や宗教などの違いを超えて共存できるダイバシティ・インクルージョンの考え方となります。

価値観の変化、多様化

・人々の価値観が多様化

求められる商品やサービスも画一的ではありません。多様な価値観を持つユーザーのニーズに、企業や研究者も多角的な視点で、新しい商品・サービスを開発しなければならない。

・幸せの価値観

市場のニーズも、幸せの価値観（心身的、社会的に満たされる）、ウェルビーイングへの期待が大きくなる。個人の幸せと、並行して社会のウェルビーイング、社会課題や地域課題への関心も高まっており、企業や行政に求めるニーズとなる社会課題解決策やサービスにも変化が出ている。

・経済的価値と社会的価値の共通(共有)価値の創造（CSV）

個人の価値観に、社会課題解決やSDGsなどに対応する社会的価値観を加えた活動への共感が求められ、CSR(Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任)からCSV(Creating Shared Value = 経済的価値と社会的価値の共通(共有)価値の創造)が要求されている。

・潜在的課題やニーズの可視化の必要性

社会や市場側は、社会課題に関心はあっても、まだ、自分事化していなかったり、将来に起こるであろう課題や潜在的課題には、気が付いていない。つまり、個人ニーズに対してのマーケットリサーチのように社会や市場からの調査やデータから、課題やニーズの回答が返ってくる時代でもなくなっている。また、ボリュームゾーンと市場規模とは、一致しないことも多くなっている。

・市場の可視化から、共創による事業創造

プロダクトアウトの時代から、マーケットインの時代と言われてきましたが、今後は、価値の共有や共存を前提とした共創による事業開発や市場創造、そして、社会と共創することによる社会課題解決を企業や行政、研究者、市民を含む国内外の多様なステイクホルダーの共有ビジョンとなりつつある。

課題の複雑化、大規模化と産業や商流の構造変化、社会変化のスピード

・課題の複雑化、大規模化

社会課題の複雑化や地球規模の課題など大規模化することに対して、これまでの分類の学問分野や産業分野、職種分野での、1 学問や1 産業、1 企業、1 職種(部門)の枠組みの人財や技術、常識では、課題解決策や持続性に結びつかなくなっている。

・企業の事業と市場を結ぶ構造も変化

産業や商流の構造変化とともに、ミレニウム世代、Z世代(α世代)となる新たな価値観の世代が、既存の構造の中に、組み込まれることでギャップも生まれてきている。人事考課や過去のビジネスマニュアルが通用しなくなる。

・グローバル化や人々が触れる情報量の増加

社会の変化スピードが加速することで、研究・技術革新に求められるスピードも速まり、商品やサービスの消費サイクルも加速する。これまでの、産業構造や学問体系、成功体験や常識を変えることへの対応がついていけず、異分野や革新的人財や組織との連携が不可欠となっている。

・理解や対話、合意形成から共創に

多様な知の共創、多様な事業資源の共創、供給者と需要者の共創(企業と消費者なども)社会の理解や対話、合意形成から、社会も加わる共創のためのビジネスモデルが必要になる。

特にSDGs、ESGなど社会的課題の解決や、社会的課題の創出には、つまり新たな価値創造が、重要な考えとなるが、価値の独占や一人勝ちでは、共創の実現が難しい。

・共育、人材研修

異分野の共創パートナーとの対話交流のための共通言語を学ぶこと、社会やパートナーの課題や可能性を理解し、自社の課題や技術や事業、各種経営資産の可能性、約束できるビジョンを伝える必要がある。そのための共創を理解し活用する人財育成、リカレント教育（リスキリング）と多様な人財の活用（ダイバシティ&インクルージョン）も求められる

共創が生み出す効果

ニーズ側

自分たちだけでは解決できない 課題の解決

- ・ 社会、地域の課題やニーズに対して、異分野の共創による解決の可能性を持つことになります。
- ・ また、解決ソリューションの顧客やファンとなることで、経済効果を高めます。

ニーズ・ シーズ側

不足しているリソースの補完

- ・ アイデア等の実現のためのリソース不足を解消できます。その都度不足している技術、サービス、販路、人材などを補完しあうことが可能になります。

ニーズ・ シーズ側

人材育成・起業／創業の機会

- ・ 他業界技術、各種スキル、ビジネスのネタなど、多くのことを学ぶ機会となります。
- ・ 事業創出によって担い手が必要となる場合などは、起業／創業の機会ともなります。

シーズ側

自分たちだけでは生まれない アイデアや商品等開発

- ・ これまでになかったニーズへの気づき、自分たちだけでは生まれなかったアイデアの発想、1社で不可能な新規商品・サービスの開発などが可能となります。

シーズ側

社会課題や潜在ニーズの 把握と使われる商品開発

- ・ ニーズ側との意見交換などを通じた商品開発などを行うことによって、市場の変化に対応した、ニーズにマッチした商品開発が可能となります。

シーズ側

シナジー効果

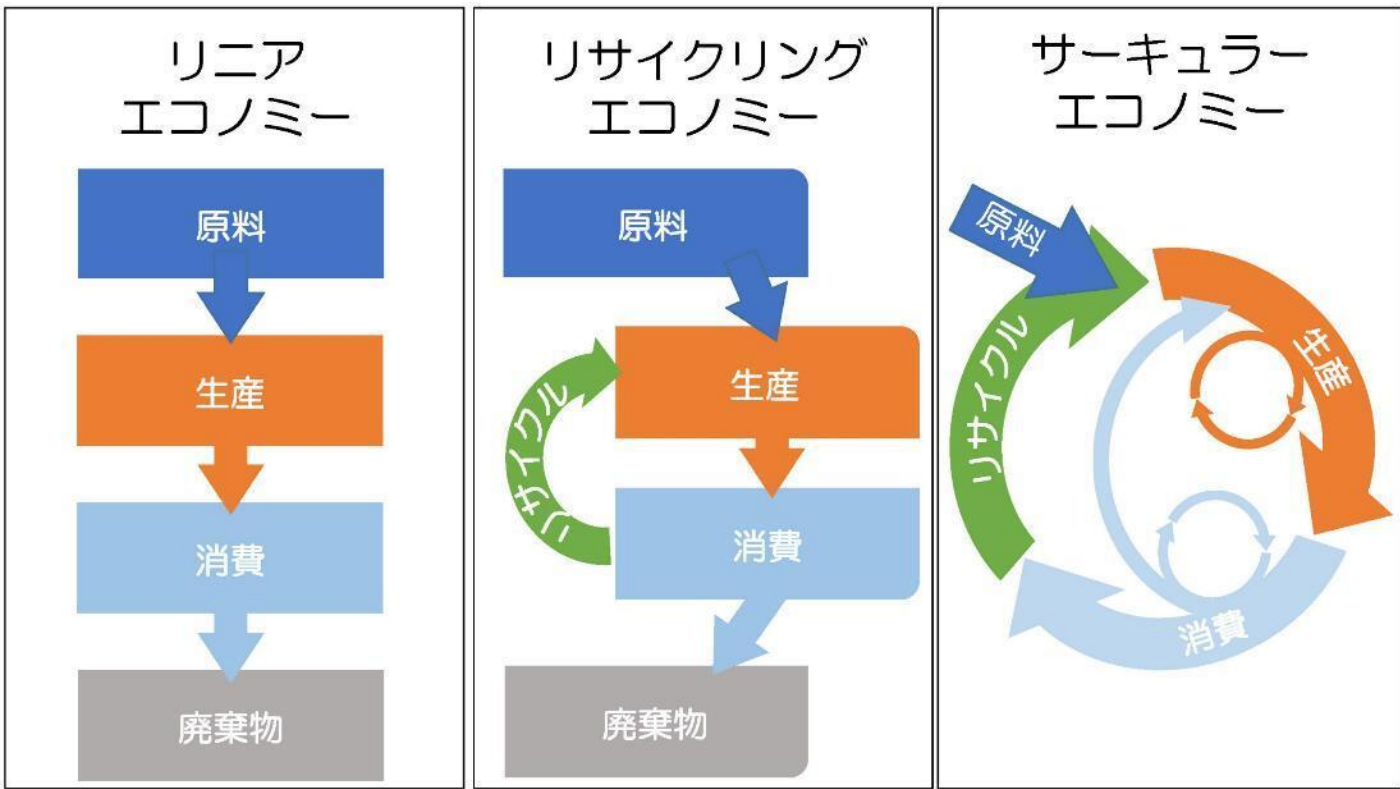
- ・ 協力の関係性を築くことによって、設備や情報の協働利用、在庫管理の効率化など、生産や販売などにおける効率化を図ることができるようになります。

社会や市民（消費者）のニーズが多様化し、変化する中で、1つの企業、行政、NPO等市民活動団体等が社会、消費者のニーズに合致したサービスや商品を持期的に継続して提供することが難しくなっています。

共創は、常に多様化、変化する社会や住民の価値観等を把握し、多角的な視点で事業の企画、運営、評価を行う一つの手法であると考えられています。

その典型的な事例として

サーキュラー・エコノミー



●連携(提携)タイプ

プロジェクトを推進するにあたり、自社に不足している資源を他社との協力で確保するタイプ。資源には、人材や技術、研究開発費、アイデア、販売網などが含まれる。提携タイプの共創では、企業の規模や業界の違いなどによる上下関係を付けず、対等なパートナーとして協力し合える環境を整えることが大切だ。

●共有、共育タイプ

企業等がコンソーシアムやコミュニティーを形成し、課題の解決に向けて議論を深めていくタイプ。共通のテーマや目的意識を持った複数の組織（企業、政府、地方自治体、大学・研究機関など）や専門家が参加する。

共有タイプでは、同じ問題点について異なる視点から意見を交わすことで、新たな価値やアイデアを生み出せる可能性がある。特定の組織に依存したコミュニティーにするのではなく、各団体がリーダーシップを発揮して能動的に取り組むことが重要となる。

共育として、互いを知る、また課題やテーマを共に学ぶことも必要です。

●双方向タイプ

企業と消費者、地域住民が、対等な立場でコミュニケーションを取り合うことでビジネスモデルの構築や商品・サービスの開発に役立てていくタイプ。SNSが普及したことで、消費者からのフィードバックを企業が受け取りやすくなっており、双方向タイプの共創を実現しやすくなっている。

共創の段階

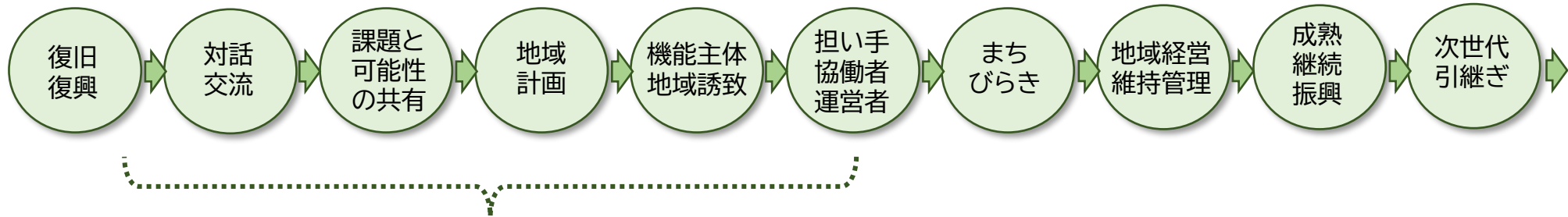
- 対話交流・信頼形成
- 相互理解・理解増進・共育(共に学ぶ)
- 合意形成
- 共創活動

共創を実践するための手段やプラットフォーム

- 共創会議や研究会、WG
- コワーキング
- 社会実験
- 地域交流拠点
- オープン・イノベーション
- リビングラボ

「まちづくり」の時間的サイクルに於ける多様な共創

まちづくりは、今の課題と解決策、今欲しい機能の実現だけでなく、まちびらきの時期、何十年後までの維持管理や持続的経営を見越した計画が必要となります。各時期の課題や可能性により必要な共創主体が変ってることがあります。



「公民連携PPP」、「市民協働」

「地域課題を持つ地位住民や地域産業、地域事業者」と「開発事業者や地域サービス企画・運営者」

「開発事業者や建物所有者」と「地域のテナント事業者」

「地域資源(原材料や機能、協働人材)」と「地域資源活用事業者」

「大学や研究機関(知財)」と「地域産業や企業」

「地域産業や企業」と「金融(投資・融資)」

「研究機関の設備や機能」と「アウトソーシング事業者や利用者」

「地域経営者、運営者、事業者」と「地域やサービスの利用者」

「地域のリビングラボ主体」と「地域実証や実装予定者」

共創パートナーとのWinWinな関係が重要



産学連携や公民連携、市民連携に多いパターン



お金を出す人と使う人の関係

共創を求めるなら、

社会を含む共創パートナーとのWinWinな関係構築が前提でないと実現しない。

3者以上の共創、分野の違う共創のWinWinは、更に難しくなる。

また、社会が祝福、つまり社会が共感できる共創でないことも、持続を難しくする。

企業でいえば、独占的成長から、

CSR (Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任)、特に

CSV (Creating Shared Value **経済的価値と社会的価値を同時実現する共通価値、共有価値**)

を目指す方向に。ESG投資も同様に、収益も大前提。

1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
- 4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」**
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

浪江町の住民や事業者の方々に向けた勉強会より 「地域経営主体になる」

町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!

地域の困りごと、地域の課題（≡地域二一ズ）は地域の方が一番、理解しています。



しかし、地域を持続的に経営していくための経営資源(資産)については、地域の方は気付いていないということが多くあります。

地域課題解決は、
すなわち地域のニーズであり、市場とも言えます。

その市場や地域に参入する者が居なければ、
それは潜在的な市場です。

自らも困り、地域の課題である市場ならば、サービスを受ける
お客様から、地域の事業主体として事業化し、

地域経営やコミュニティビジネスに参画していくことが
望ましいのではないのでしょうか。



これまでは、地域課題解決や地域のサービスは、行政のサービスであり、地域の住民や事業者は、受益者でした。

しかし、行政サービスには限界があり、持続的な地域経営やエリアマネジメントには結びつきません。

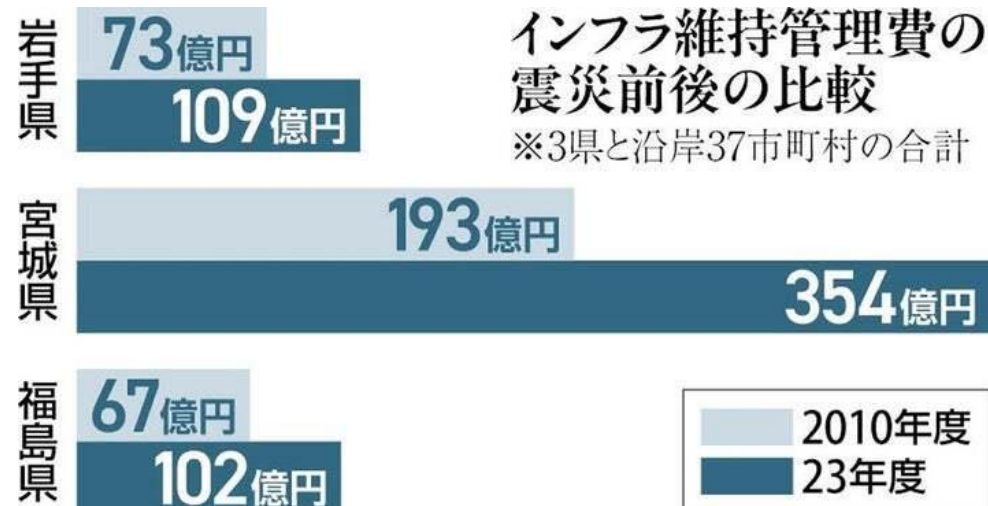




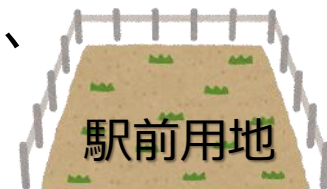
復興のための財政支援により真新しい建物や道路、巨大防潮堤が相次いで誕生した。

その維持管理費が被災自治体の財政を圧迫しかねない事態となっている。

出典:読売新聞オンラインより



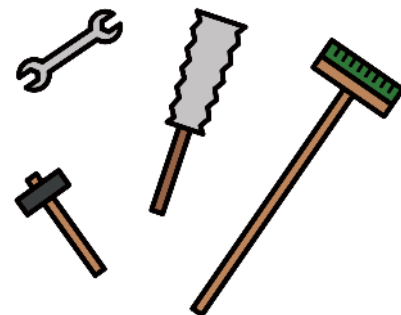
持続的に経営するためには、継続的に技術を開発し高め、人材を発掘し育成し、事業化する資金や用地を確保して、他地域にも展開できれば理想的です。



これまでに浪江町には、無かった
新たな産業や文化、または景観や風景が
地域ブランドの再構築(Re-ブランディング)
になるかもしれません。



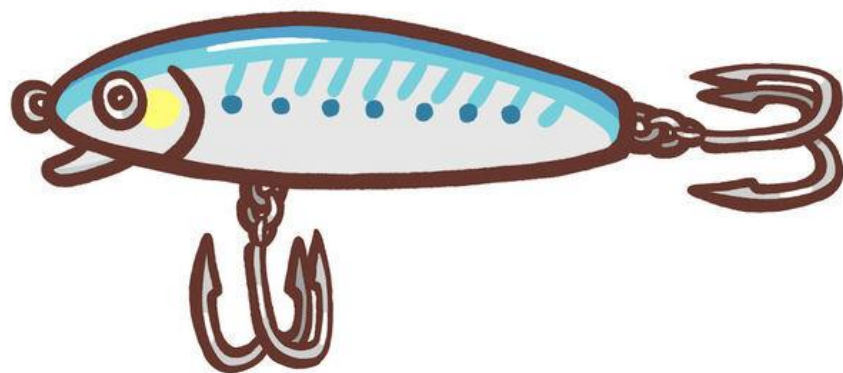
そのために地域では、
何を行えばよいのでしょうか。
何を利用すればよいのでしょうか。



例えば、地域課題と地域経営資産を可視化します。
そして事業化のためのボトルネックや

不足する技術や人、事業者や資金などのリソースを、
どのように地域に誘致するのか、パートナーにするのか
また、育成や開発するのかを考えます。

どのような餌をフックにするか



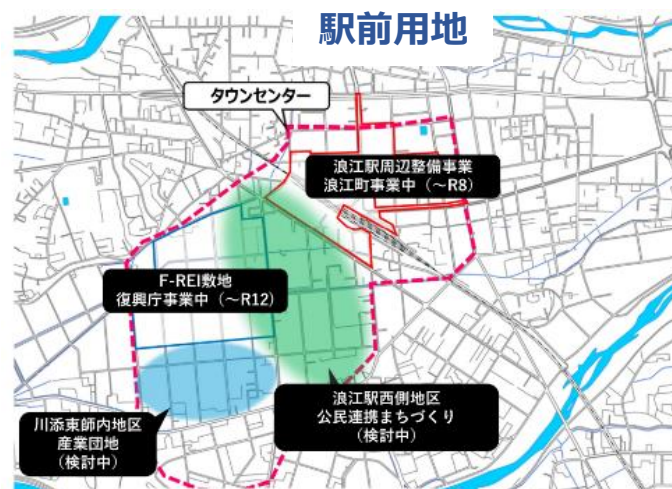
不足するリソースを釣り上げる



その不足するリソースを誘致、また育成、開発するためにも、浪江町の経営資産(資源)を賢く活用します。

浪江町の経営資産(資源)は、浪江駅西側の用地や計画かもしれません。

移住者も含む住民や事業者の協力、協働、実証の仕組みかも知れません。



出典:浪江町配布資料

また、新たにできるF-REIの機能や人材、地域の用地(PRE含む)、公的な補助金の活用かも知れません。

地域の協力体制
(リビングラボ等)

F-REI
福島国際研究教育機構

産学連携、地域実証



補助金など支援制度



F-REIをフックに進出する産学などのR&Dのプロジェクトに対する 共創（ナレッジマネジメントやオープンイノベーション）から 地域実証、地域共創（リビングラボ）を支援するエリアマネジメント

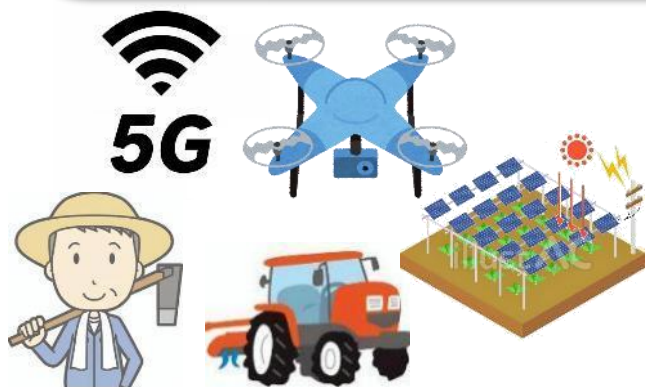
実証フィールド機能「リビングラボ機能」として、フィールド活用関係者に対する地元地域側の施設や支援事業、サービスの事業創出、人材育成と各サービスのコーディネート機能の組合せによる地域経営

コア業務 ナレッジマネジメント等

- ①研究開発施設・設備 ※研究用設備と生産量産設備との違い
- ②研究開発支援サービス(課題提供)
- ③共創支援サービス(オープンイノベーション)
- ④ソーシャルコミュニケーション支援
- ⑤マッチング・コーディネート
- ⑥実証支援サービス(リビングラボ)

ノンコア業務 アウトソーシング等

- ①研究開発のノンコア業務アウトソース
- ②生活支援施設・住宅・利便施設(長短期)
- ③生活支援サービスのアウトソース
- ④研究者家族サービス支援
- ⑤地域交流サービス
- ⑥視察見学研修者アテンド(通訳)



研究・教育支援リソースの発掘



実証フィールド活用の研究者
・事業開発者・ベンチャー等

炊事洗濯掃除



地域人材・事業者・産業
活用ビジネスの創出と仲介

このように行政サービスの事業創出やコミュニティビジネス創出のための公民連携から、異分野連携、そして

地域に不足する多様なリソースを町外から誘導し連携する

**オープンイノベーションや
地域連携のリビングラボなどの
共創手法を身に着けて、**

地域経営の主体側(主体意識)の
関係者になっていただきたいと思います。

アイデアを出す人、それを形にする人
事業にする人、そのパートナーになる人

共創の課題、技術、事業モデル、実施主体、アイデア
その方向を一体化するテーマ(プロジェクト)を集めます。

『アイデアと地域経営主体の募集』



出典:F-REIのホームページより引用



F-REI 5つの研究分野

- | | | |
|---|-----------------------|--|
| 1 | ロボット | 福島災害を経験した福島で、病院や災害現場等の過酷環境で機能を発揮するロボット・ドローンなどの研究開発 |
| 2 | 農林水産業 | 震災により大規模な休耕地や山林を有する地域特性を考慮し、新しい技術シーズの活用など、従来にはない次世代型水産業に挑戦 |
| 3 | エネルギー | 既存の水素関連施設等を活用し、カーボンニュートラルを地域で実現併せて先進的なスマートコミュニティの実現に寄与 |
| 4 | 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用 | 福島の福島県からの創造的復興の研究基盤として、放射線科学を推進、放射線や放射性同位元素の活用等の検討を行う |
| 5 | 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信 | 福島の福島県から得られる様々なデータを集積し、知見を伝承することで、今後の災害への対策に資するとともに、まちづくりに貢献 |

- 期待感を持っても迎えられる未来を創ることを見せたい
- 地元との一体感が重要
- 日本中から、世界から研究者を集めるが、地元から研究者、研究支援者を育てたい
- 皆が住みたくなくなる憧れの地にすることが最終目標

「浪江国際研究学園都市構想」を自分事化し 自慢できるコンセプトを創る

浪江町の**未来**が明るく、楽しく、そして持続的な「浪江国際研究学園都市構想」を町内外、そして世界に**自慢**するためには、誰もが「わくわく」する「**コンセプト**」に置き換えることが重要となる。

現世代の地域の新旧の住民や産業、そしてF-REIや行政が、**まちの経営資産**を活用して**未来を創るコンセプト**を創り種をまく、そして、**次世代の人材**と一緒に種を発芽させ、育てる、**次世代**が刈り取り、調理し提供する、さらに、残りの種から、再生産、より発展させた**新たな価値**に加工して**次世代へ引き継ぐ**

こうした次世代が活躍できるまちに導いた現世代が自慢できる「コンセプト」に

自慢の研究機関を観に来るゲスト(観光客)をもてなす町のホスト達

オーストリアのリンツ市運営の先端技術、科学、メディアアート等の教育文化機関
「アルスエレクトロニカ」が主催する世界最大のメディアアートの祭典と表彰制度



出典:アルスエレクトロニカホームページより <https://ars.electronica.art/japan/jp/arselectronica/>



お年寄りが言った言葉

「皆様は外国からの私たちの街のアルスエレクトロニカに
来て頂いたお客様(ゲスト)です。

私たちは、お客様に座席を譲るのは当たり前のことでしょ(笑)。



写真:フリー画像より引用

1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
- 5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致**
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

住民

別居家族、出身者、
帰還前住民、移住者
移住希望者含む



学校

教職員、就学者



交流人口
訪問者/観光客



関係人口
協力者/
ふるさと納税者

地域事業者
地域経営者候補

周辺地権者



地域事業者

地域産業/立地企業
経営者、就労者帰
還前事業者、移住
事業者含む



地域事業者(テナト)
地域機能/経営スキル
(町内企業・スタートアップ°)

民間事業者(テナト)
地域機能/経営スキル
(町外企業・スタートアップ°)

民間事業者
不動産デベロッパー
(町外企業・スタートアップ°)

行政 役場



浪江町
(福島県)

専門家/
各種支援機関
金融機関/



産学連携等広域事業者

F-REI

福島国際研究教育機構
地域連携の大学研究機関

ステイクホルダー
研究者/職員(外国人)
研究者予備軍/学生
共同研究機関や企業
の関係者/OB/
業務アウトソーサー

国

関連機関



周辺自治体
連携自治体

JR東日本/NEXCO
等広域事業者

町外大学
研究機関

原材料
生産者

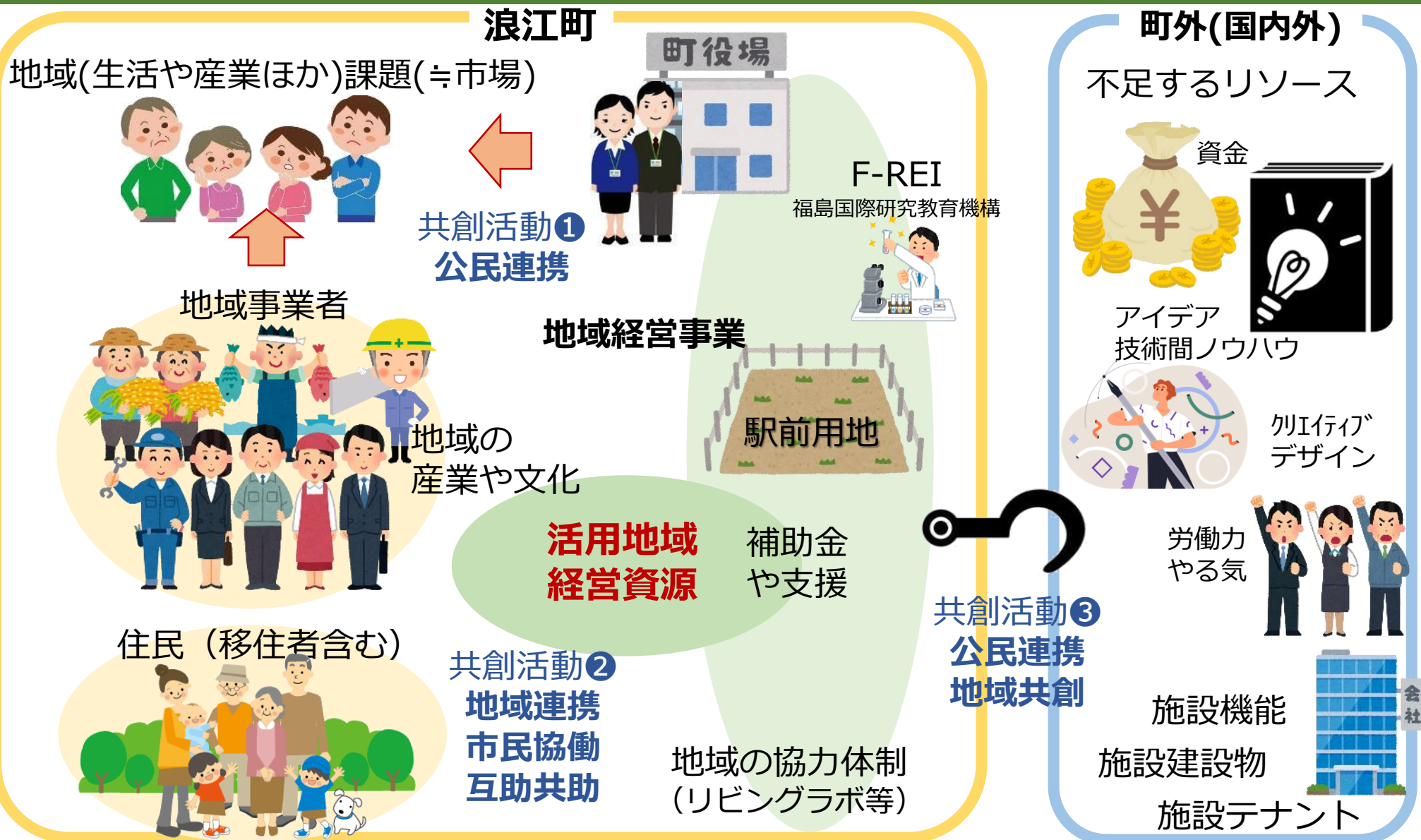
民間事業者
原材料技術・要素技術
(町内外企業・スタートアップ°)

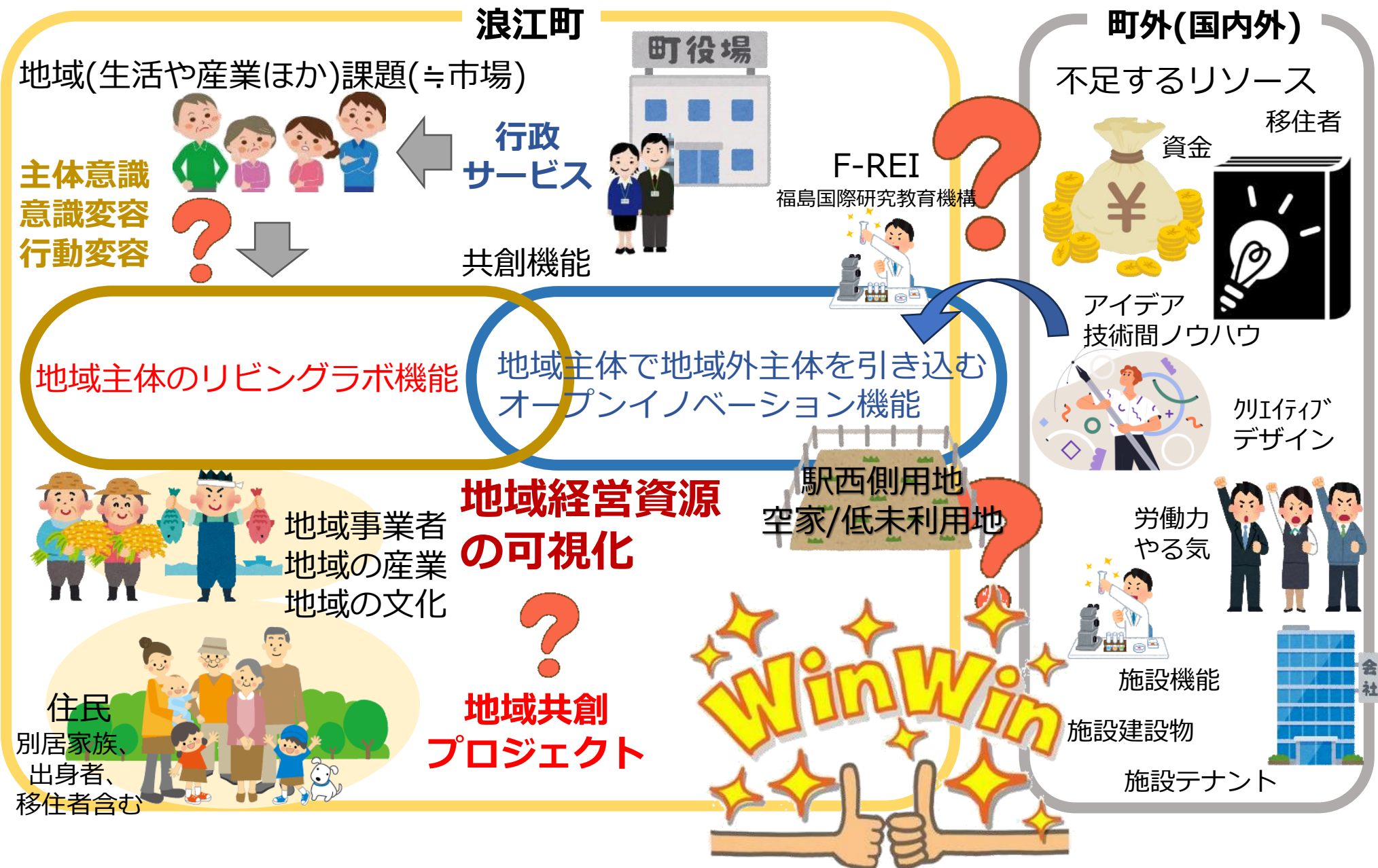
民間事業者
各種製造業(製品)等企業
(町外企業・スタートアップ°)

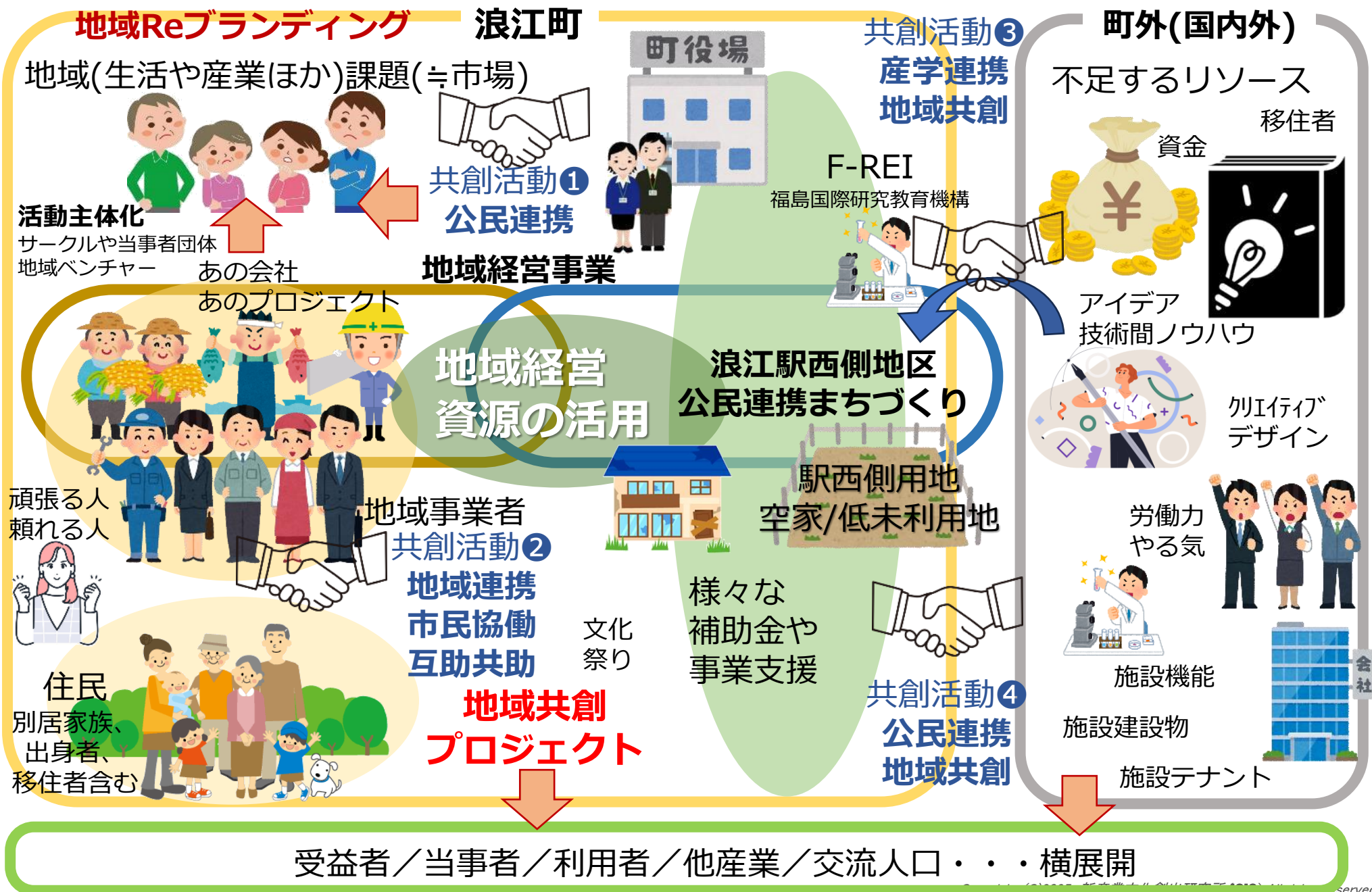
民間サービス事業者
上記施設/製品活用企業
(町外企業・スタートアップ°)

サプライチェーン











- (1) 地域の課題やニーズ情報の提供者
地域の経営資源や情報の提供者
事業アイデア提案への協力や参画



自立持続を目指した
エコシステム形成へ

- (2) まちづくりに役立つ研究や技術シーズ
を持つ方(F-REI等研究機関と関係者)



- (3) 地域での事業や活動のアイデアの提案者
地域での事業や活動の実施主体
地域の施設などに入所するテナント



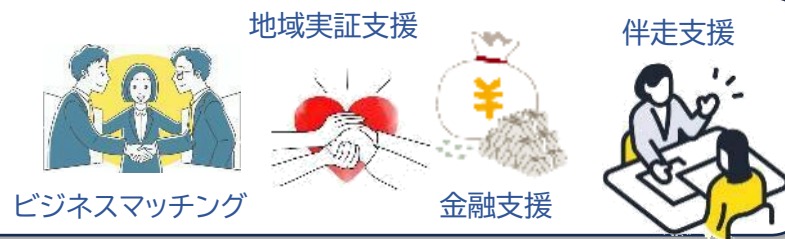
事業化
計画

地域実証
マーケティング

地域実装
運営共創

コミュニティ部会

- (4) 地域での事業や活動の支援者
アウトソーシングの事業者
共創やマッチングの支援者



計画設計
事業反映

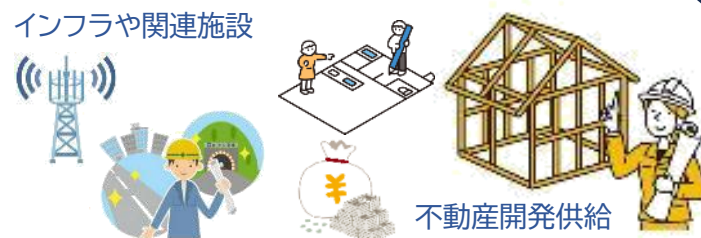
基盤整備
計画推進

施設
建築整備

基盤整備部会

施設運営
入居促進

- (5) まちづくり(施設やインフラ)の
技術やアイデアの提案者
設計や開発、建築、不動産の関係者
エリアマネジメントなどの関係者



1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
- 6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換**
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

事 例

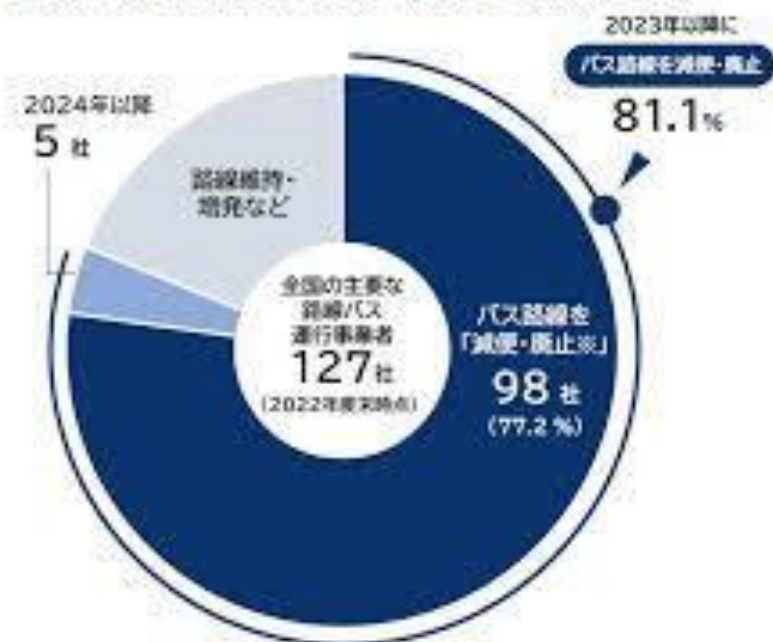
コミュニティバス
公共交通機関廃止から地域交通経営

当たり前にあった公共交通機関が、利用者激減、運転手確保の限界

- ・ 地域では、車利用などに移行し公共交通機関の利用をしなくなってきた
(学生の通学と車を持たない高齢者の病院利用などに偏る)
(地域事業者、保育園などは、独自の従業員送迎バスを活用)



路線バス運行 127 社の「減便・廃止」動向

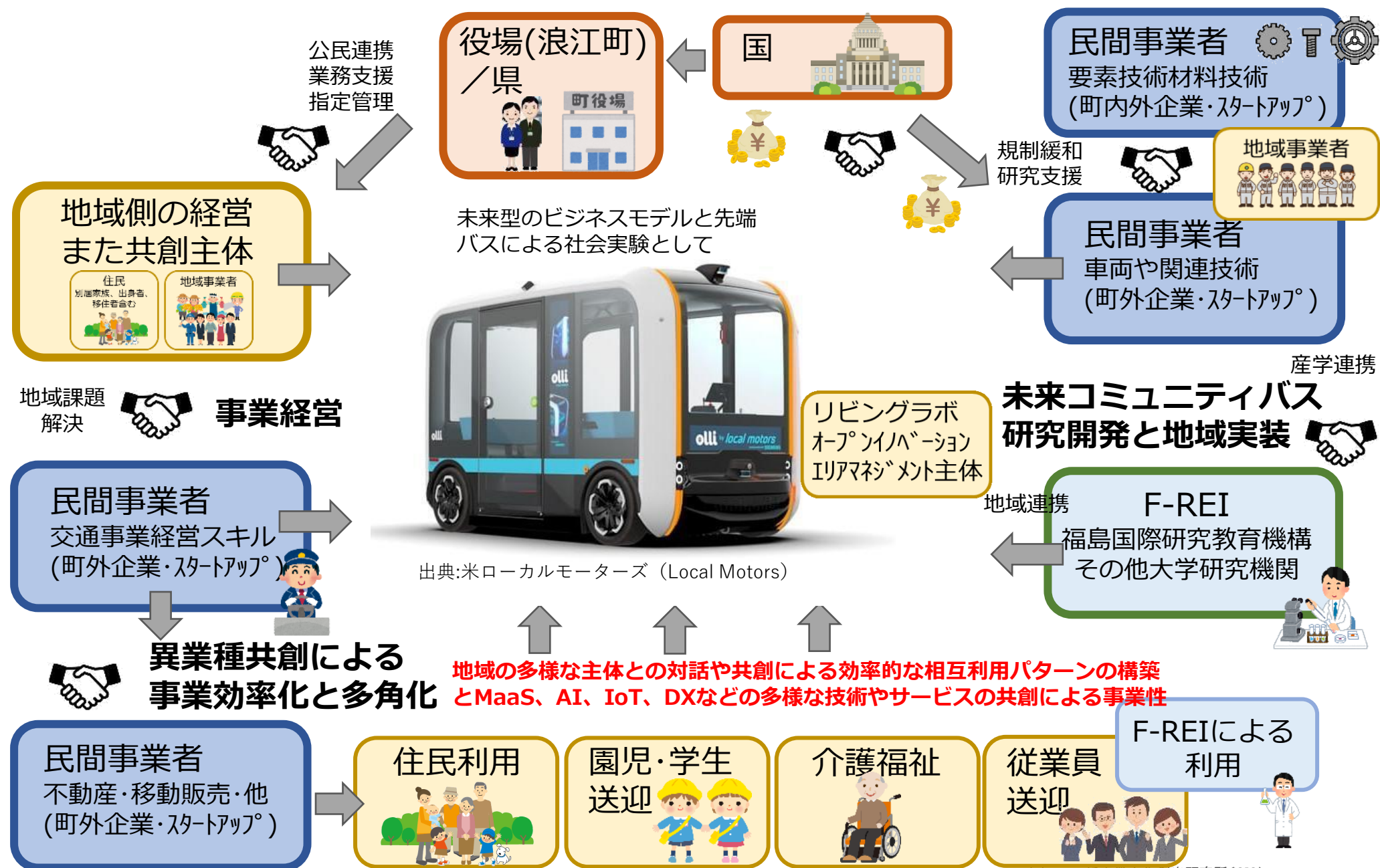


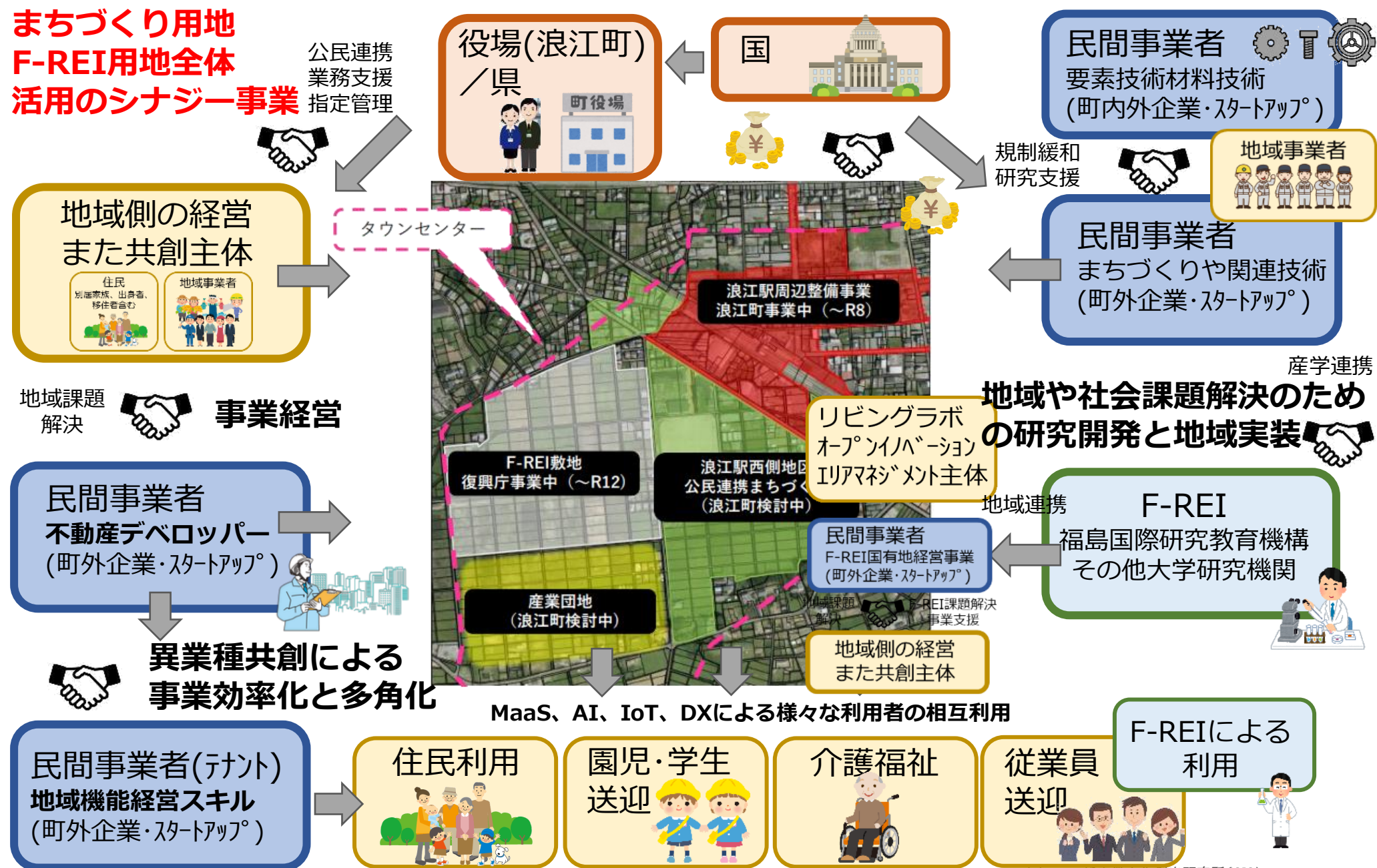
【対象】 保有する路線数が30以上の路線バス運行事業者。公営バスは除く
【注】 ダイヤ改正等で路線や運行系統について減便(減回)や廃止が明らかになった運行事業者

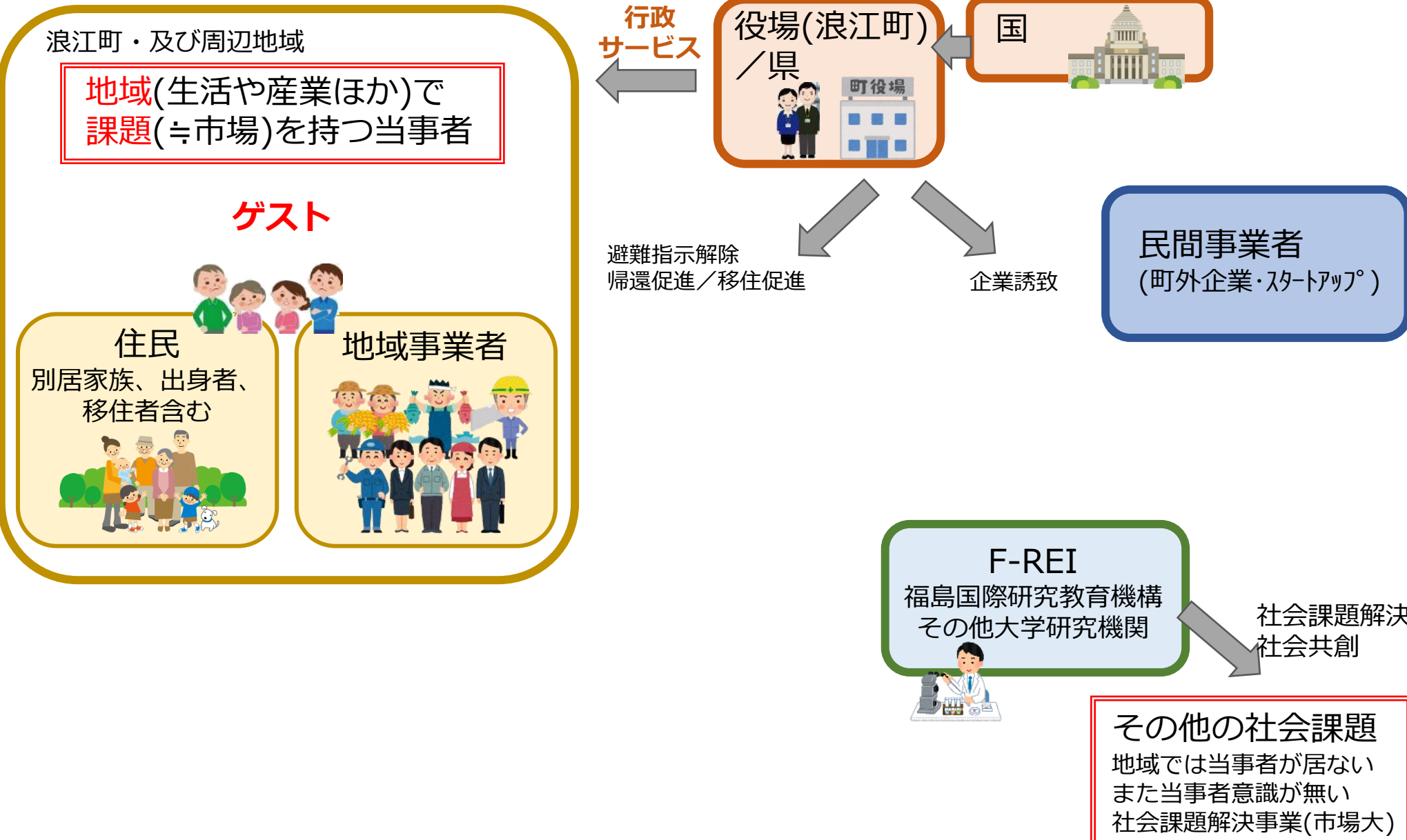
路線バス 減便・廃止が相次ぐ要因

2024年問題への対応	現行のダイヤでは、残業規制に対応可能な人繰りが不可能 運転手の確保難・既存ドライバーの高齢化 観光・貸切バスへの運転手流出
収益環境の悪化	沿線住民の利用が減少 コロナ禍からの減収分が戻らず、経営を圧迫 高速バス・貸切バス事業を犠牲にした路線バス維持策が限界

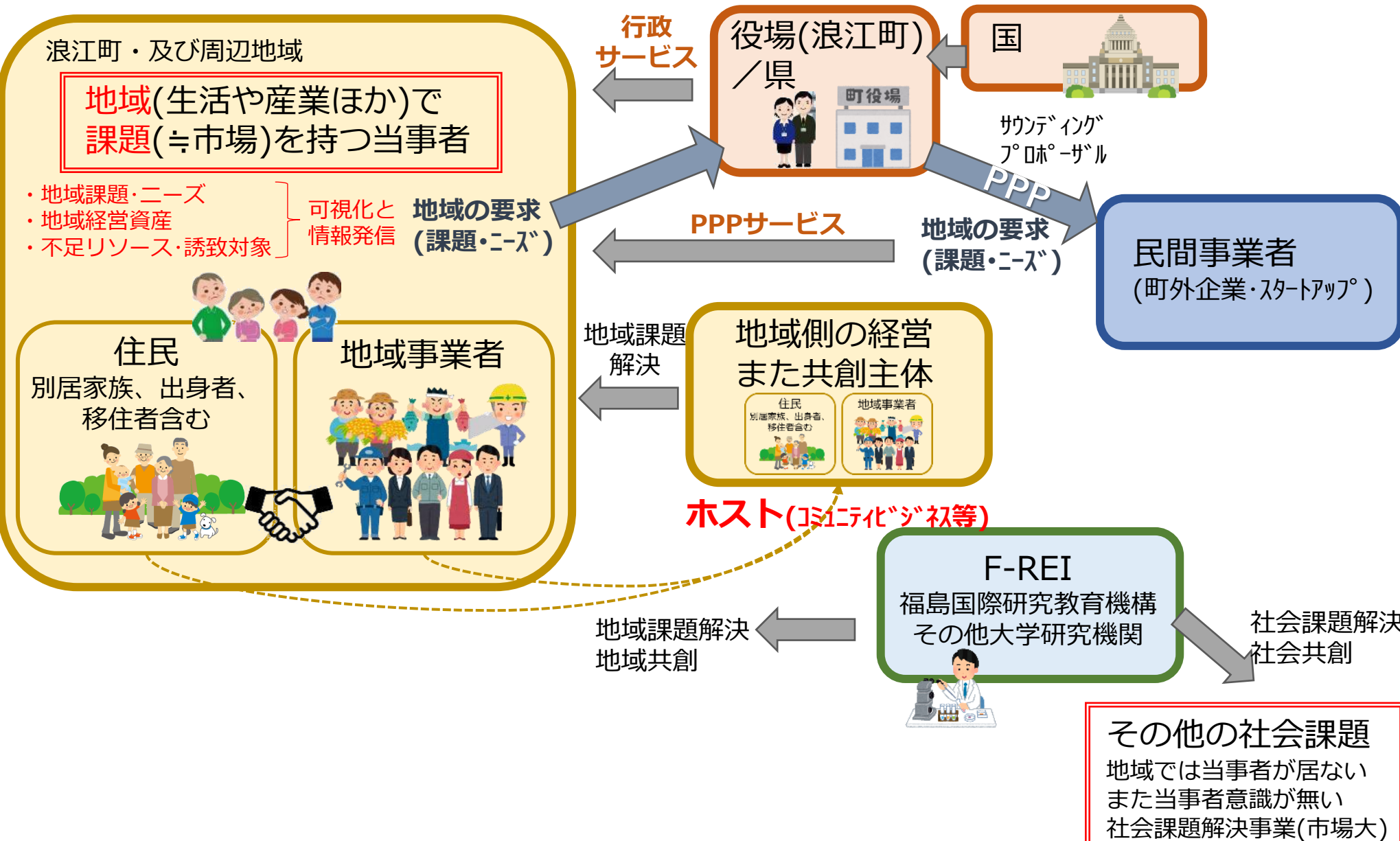
【注】 各社の発表情報等を基に帝国データバンク作成







浪江町の共創まちづくり活動のステイクホルダー整理と今後の共創関係⁵⁶





1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
- 7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源**
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

地域の課題解決や地域の価値向上のための
地域主体(住民や地域事業者など)のリビングラボの形成

コミュニティ部会



地域に必要な機能に対話、経営する町内外の
事業主体の共創(オープンイノベーション)



基盤整備部会



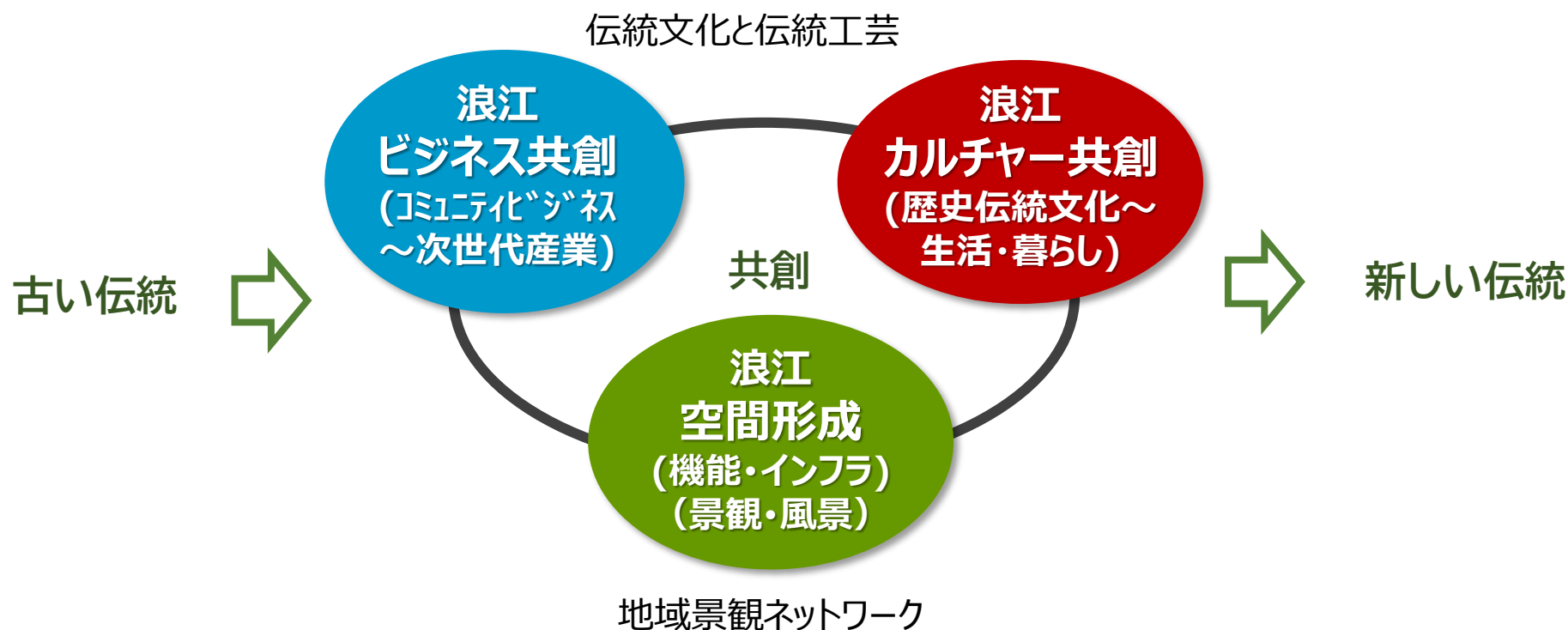
地域事業者の活動フィールドの開発整備者、
エリマネ等の主体の共創(オープンイノベーション)



リビングラボは、生活や学び、仕事の現実的な場である「まち」そのものが実験場であり、ショールームでもある

コミュニティ部会

活動の機能や風景(シーン)がまちの風景や地価を産み出す



基盤整備部会

まちの機能や風景が作りだす地域性のある産業や文化

事 例

インドネシア・バリ島「ウブド」



バリの自然、風景、伝統的な文化、宗教、工芸、生活を洗練させるバリ芸術(バリ・モダニズム)による新文化や新産業(工芸、観光)の創出とや国際ブランド化





バリ島の景観や環境、伝統文化やデザインから産まれた コロニアル建築やガーデンファニチャー

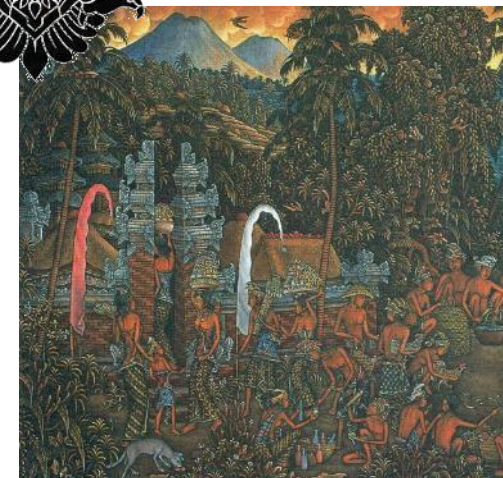


出典:インテリアハートのホームページ「インドネシアのホテルのインテリアコーディネート」より

<https://www.interior-heart.com/seven-color/hotel/indnesia.html>



ガムランと舞踊



出典:アジアン雑貨・家具のお店 カランカラン-ホームページより引用



ダークブラウン



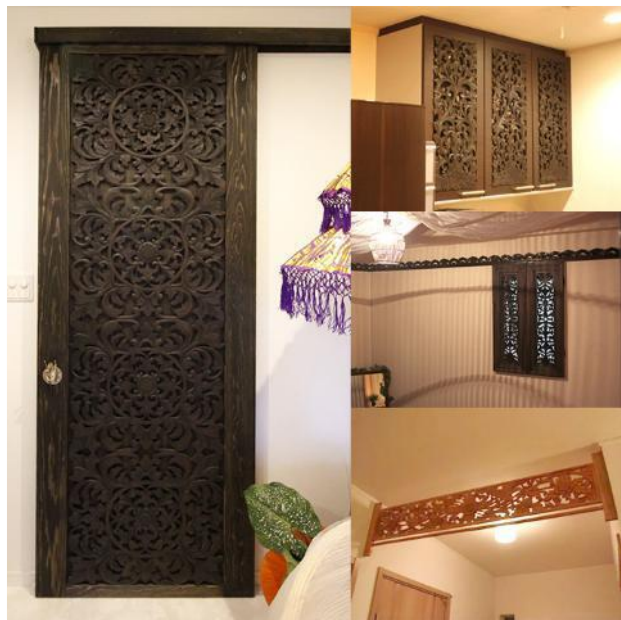
ミディアムブラウン



ホワイト



無塗装



ルダナ美術館



バリ芸術

Njana Tilem Museum



ネカ美術館(Neka Museum)



アルマ美術館
(Agung Rai Museum of Art)



アントニオ・ブランコ美術館
(The Blanco Renaissance Museum)



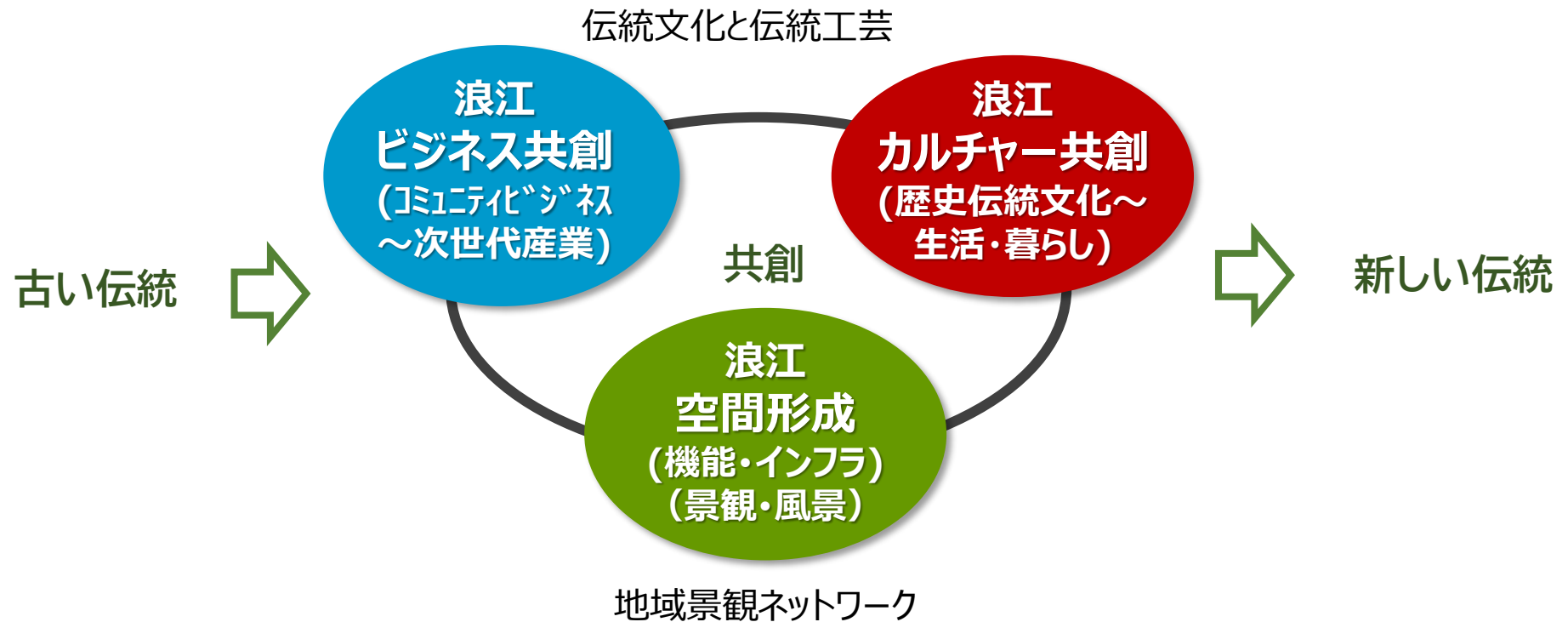
プリ・ルキサン美術館
(Museum Puri Lukisan)



リビングラボは、生活や学び、仕事の現実的な場である「まち」そのものが実験場であり、ショールームでもある

コミュニティ部会

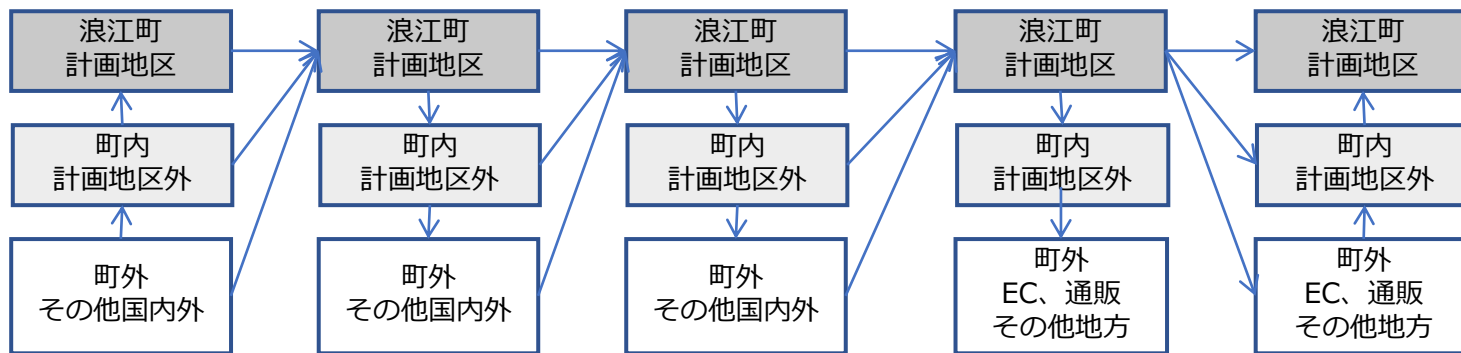
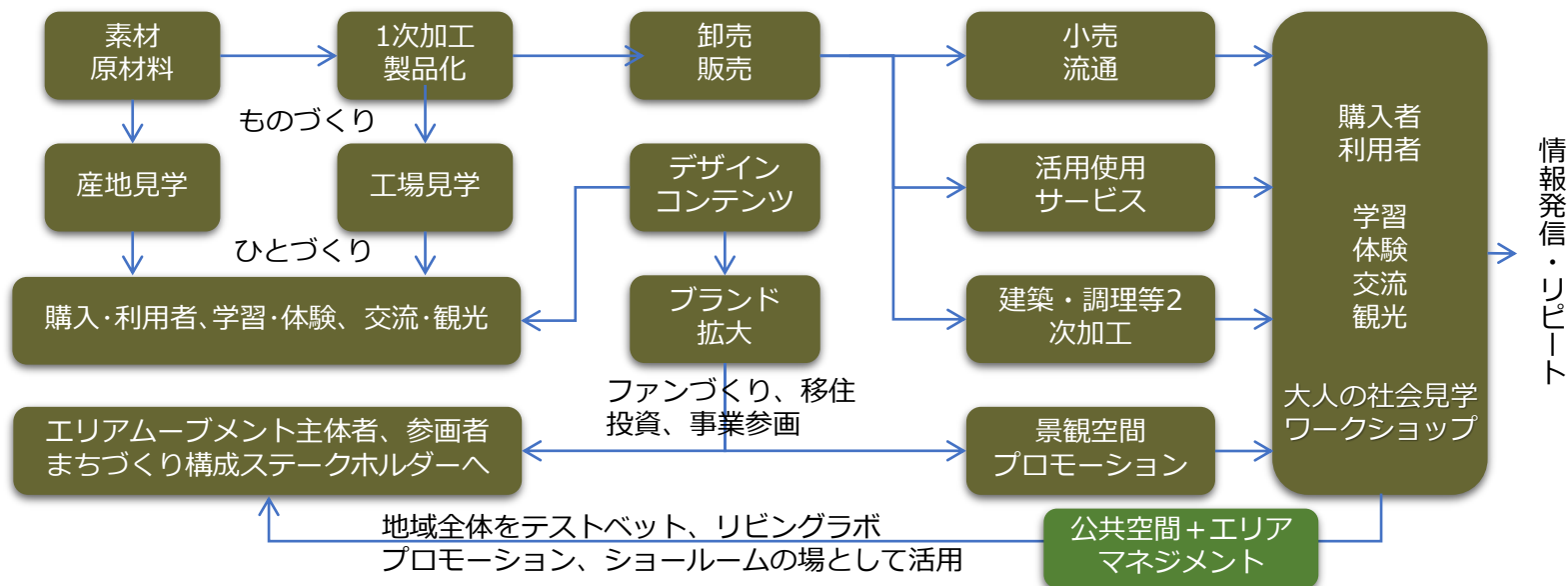
活動の機能や風景(シーン)がまちの風景や地価を産み出す



基盤整備部会

まちの機能や風景が作りだす地域性のある産業や文化

地域資源を活用してまちで作り、まちを見せて、まちで体験し、まちで売る





出典:浪江町の旅と学び情報ガイド「あいべえなみえ」より





福島水素エネルギー研究フィールド

写真出典: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合研究機構



福島木材製造センター

写真出典: 浪江町ホームページ



競走馬トレーニング施設

パース出典: Blooming Stables



F-REI
福島国際研究教育機構

写真出典: 福島国際研究教育機構 (F-REI) ホームページ



浪江
空間形成
(機能・インフラ)
(景観・風景)



Horse village -
馬の里
株式会社SOMA

浪江駅西側地区共創まちづくり

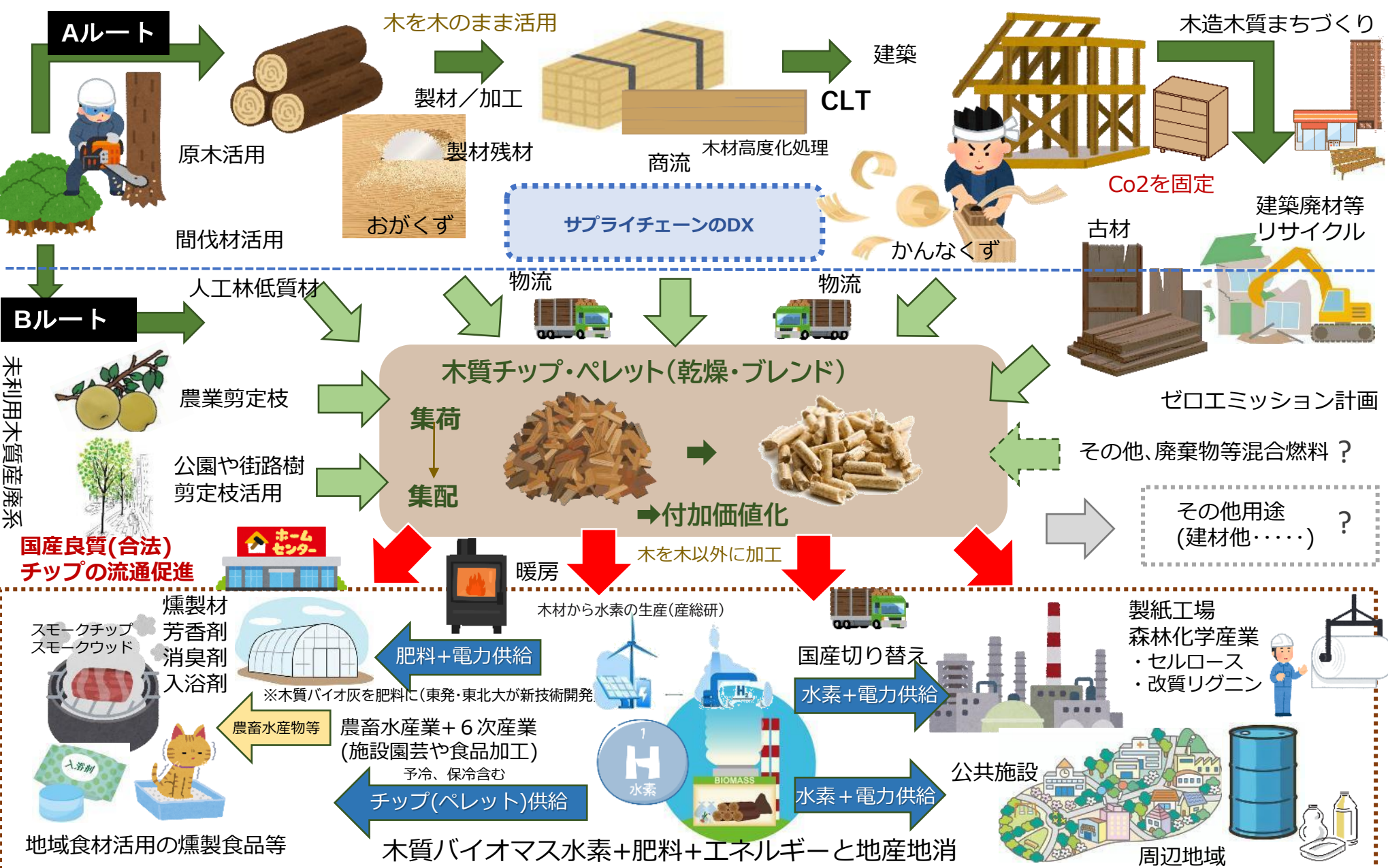


出典: 浪江町の旅と学びのガイド
「あいべえなみえ」より地域のレストラン



トルコギキョウの施設園芸
特定非営利活動法人Jin

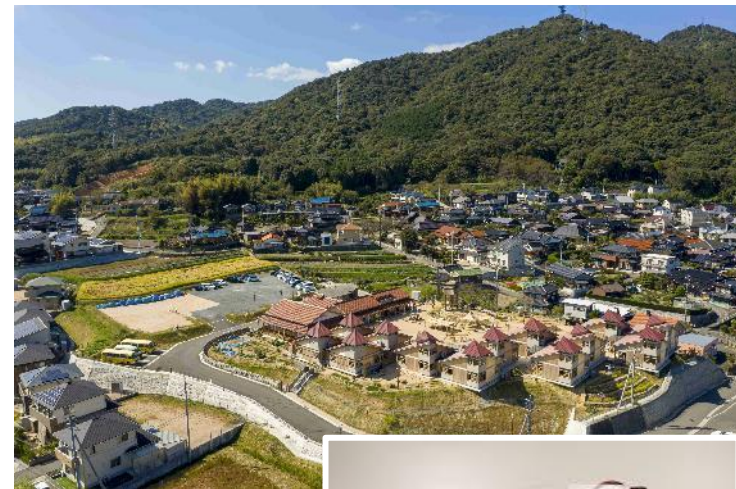
木材廃材からバイオ水素の地域循環産業と木造木質まちづくりイメージ





JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2022

古くからの伝統建築だけでなく
市場ニーズに応じたデザインや
活用方法の裾野を拡大する目的





1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
- 8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成**
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

事 例

岡山県 西栗倉村 共創人口創出プロジェクト



「ローカルベンチャー誘致のTAKIBI事業」

西粟倉村：岡山県北東部、兵庫・鳥取との県境にあり
土地の約93%が森林、人口は約1400人のとても小さな村



人口 1,355人（2023.3.31）世帯数594

面積 57.97km² 93%が森林（うち85%が人工林）

大阪から中国自動車道経由で2時間、特急スーパーはくとで約2時間

岡山県庁から車で約2時間 鳥取県庁から車で約50分

百年の森林事業

- ・ 木材価値の最大化から森林価値の最大化へ
- ・ 生物多様性
- ・ 森を育てるまちづくりPJ
- ・ 西栗倉村地域熱供給システム
- ・ 再生可能エネルギー事業

ローカルベンチャー事業

- ・ 村で起業したい人を募集・サポートする
西栗倉ローカルベンチャースクール
- ・ 人口約1400人の村で50社以上の会社が次々と立ち上がっていく
- ・ ローカルベンチャー協議会(他の自治体も会員として)
- ・ 共創人口会議
- ・ TAKIBIプログラム
- ・ リビングラボ機能としての一般財団法人西栗倉むらまると研究所設立
- ・ 西栗倉村ローカルベンチャーインキュベーションセンターamoca





百年の もり 森林構想

地域には、捨ててはいけないものがあります。

苦労を重ねて地域を守ってきた先人のため、

これから生きていく子どもたちのため、

そして関わってくださるたくさんの方々のため。

約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想い。

その想いを大切に、立派な百年の森林に育て上げていく。

そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦を続けようと決意しました。

西栗倉村は、人口1600人ほどの源流域の小さな村です。

このような小さな村だからこそ、

未来に向けて心と心を丁寧につなぎあわせていくことができるはずです。

世代を超えて、そして地域を超えて、未来への想いを共有する森づくりへ。

そして大切な自然の恵みを大切な人たちと分かち合う上質な田舎づくりへ。

西栗倉村百年の森林構想

出典:西栗倉村ホームページより

西栗倉の 森林の 100年

現在の西栗倉村の森林

50年後の森林。

私たちが目指すのは、
これから50年後の森林。

1年

25年

50年

75年

100年

元々林業で成り立っていた
この地で、約50年前に、子
や孫のために、苗木を植え
た。

植林した苗木がすくすくと
育って行きます。密集した
木々は、上へ上へとその長
さをのばしていきます。

ある程度成長した木々の間
伐を行い、地面に日光が届
くよう、森の密度を調整し
ていきます。

木々の幹も太くなり根もは
り、保水林となり、したく
さなども経てきます。少し
づつ鳥も棲む始めます。

しっかりと山に根ざし、木
の通り道として川も自然に
つくられます。山の動物た
ちのすみかとしても利用さ
れています。

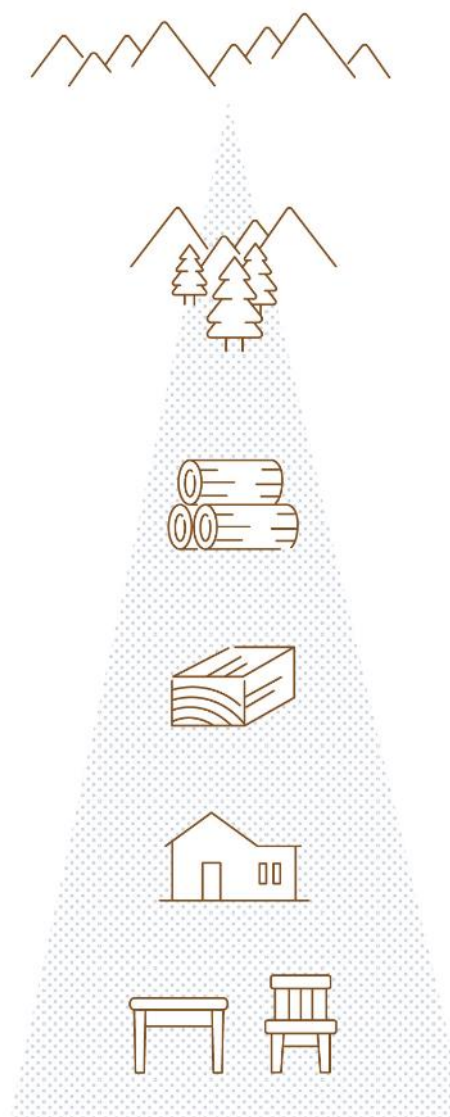
2024年3月時点で施業面積は村有林を含め74.78ha、作業道は新たに9,912mを新設、木材搬出量は7,969m³/年、管理協定面積は26ha増加。

百年の森林事業の概要

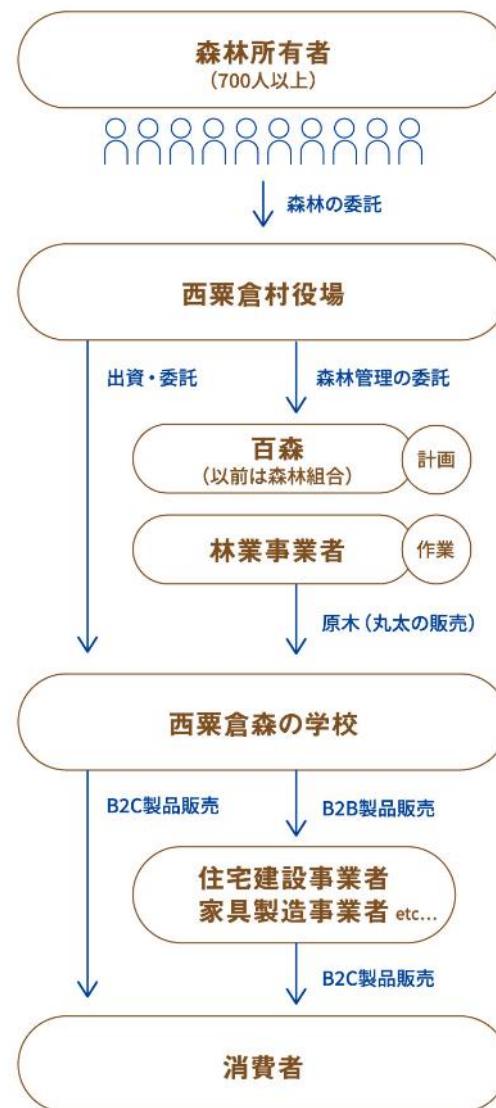
木材の価値の変遷と6次産業化



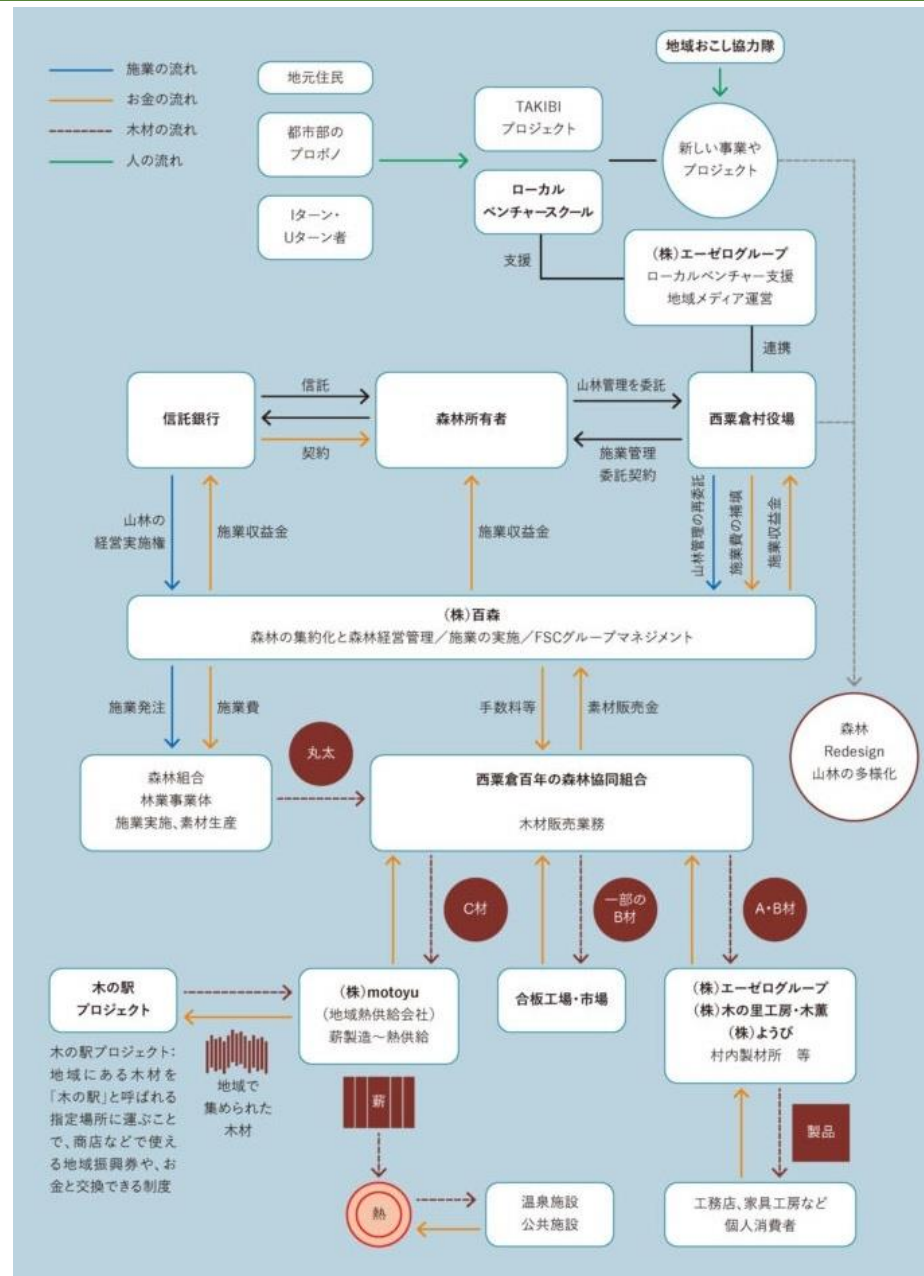
木材の価値の変遷



6次産業のプロセス



図の出典:ポットラック ヤエス(三井不動産×)NEWS PICKS)





年表で見る

西栗倉村と ローカルベンチャーの 歩み 2004-2021

ローカルベンチャー

村の取り組み

転入者数

木の里工房木菓

ようび
西栗倉・森の学校

関野匠室
+ 絵筆室
(~2018)

sonraku
(~2020)

岡田林業

ablabo.

くんちでん

いとう歯科
クリニック

百森

鍋島宗保子

MAMO

むらまると研究所

MYCO.

Reelee

百年の森林事業

百年の森林構想

百年の森林事業

再生可能エネルギー事業

環境モデル

都市認定

薪ボイラーあわくら温泉元湯設置

地域熱供給システム / バイオマス発電開始

薪ボイラーあわくら荘設置

薪ボイラー 黄金泉設置

西栗倉発電所「めぐみ」リプレイス

薪ボイラー 黄金泉設置

西栗倉発電所「みのり」設置

ローカルベンチャー推進事業

ローカルベンチャースクール
実施(~2021)

ローカルライブラリ
実施(~2020)

西栗倉ローカルインキュベーションセンター
amoca設立

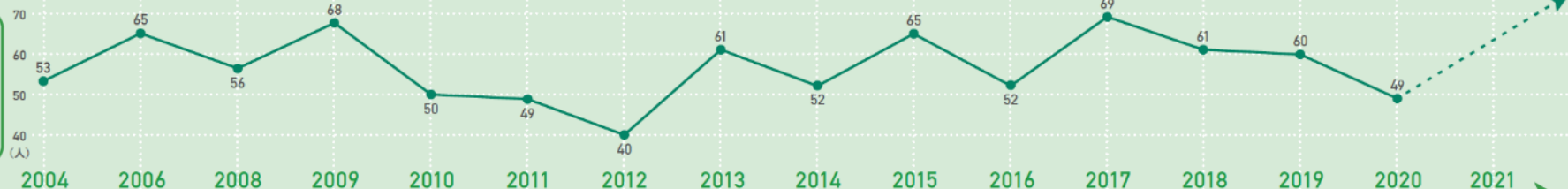
TAKIBIプログラム
開始

SDGsプロジェクト

SDGs未来都市選定

ローカルベンチャーで
働く人の人数
311人

※正社員・契約社員・パート・
アルバイト・地域おこし協力隊含む



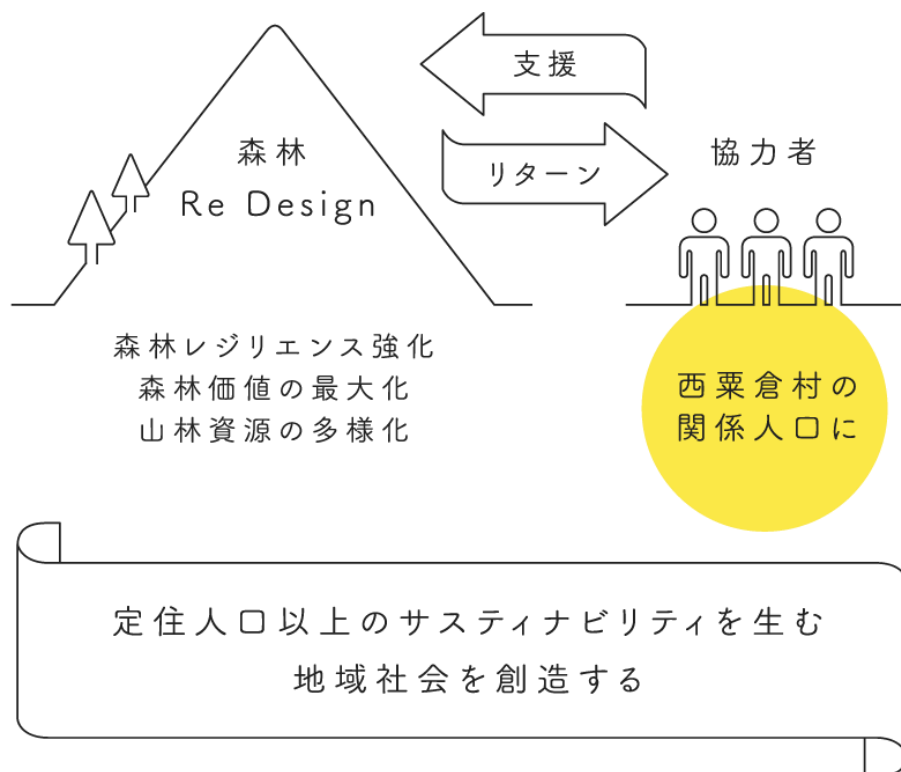
合併しないことを選択

出典:西栗倉村説明資料より

Copyright (C)2025 新産業文化創出研究所(ICIC) All rights reserved

村のビジョン：「上質な田舎」「生きるを楽しむ」

人と自然が共存共栄し、自然資本、社会関係資本、経済資本が相互に循環して豊かになることを目指す



課題

自然と人の暮らしが
相互に循環する
経済とコミュニティの
再構築

共創人口

村外に住みながらプロジェクトや事業に参画し、地域に新たな価値を生み出す過程に関わる方を「共創人口」と定義

共創人口会議

一方的に関わり方を提示するのではなく、お互いの対話を通じて関わり方を模索

TAKIBI事業

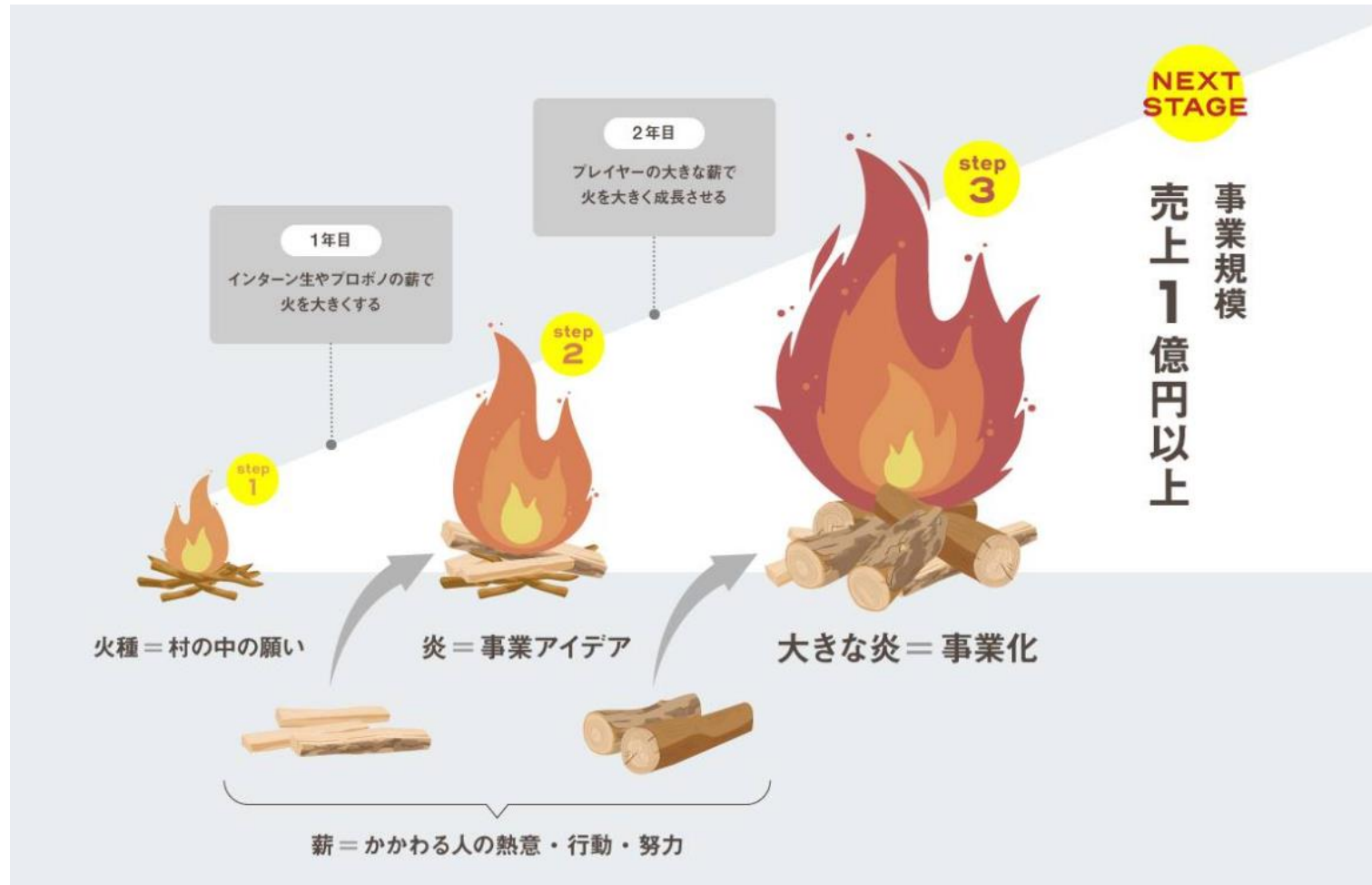
村外の事業者のみなさんと事業を共創する枠組みとして第2期地方創生推進交付金を用いた「TAKIBI事業」に取り組む

村外の事業者が最もスムーズに関わる道筋を構築



TAKIBIプログラム

西栗倉村の中にある「願い」を起点として、村内外の人と協働しながら1億円以上のビジネスを創出する事業です。安定して売上や雇用を生み出せるビジネスを創出することで、多様な人々がより一層関わる・暮らすことのできる地域を目指しています



3か月間のプロジェクトのゴール➡何らかの仮説を見出せていることを目指す。

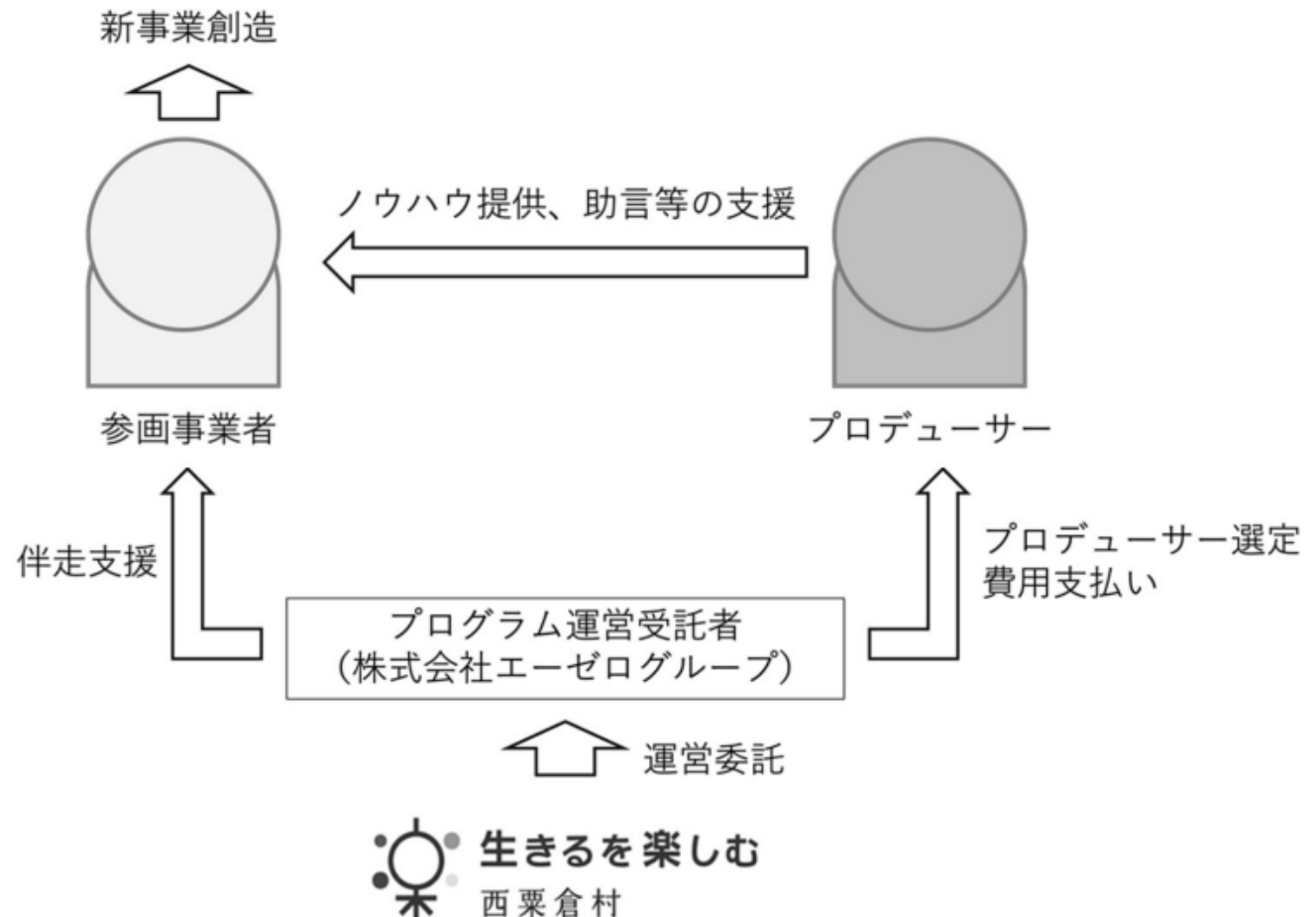
プロジェクトの先にあるこの事業のゴール➡1億円以上のビジネスを複数創出する
西栗倉村だけでなく、全国各地の地域と関わりたい人々と多様な人に関わってほしい自治体が、お互いにwin-winな関係をつくるためのヒントを見出せる



西栗倉村ローカルベンチャーインキュベーションセンター amoca

目 的

西粟倉村 TAKIBI プログラムは、村の「願い」を起点にビジネステーマを設定し、類似のビジネスに関する知見を持つ村外事業者（プロデューサー）による支援や、村内事業者とプロデューサーとの価値共創によって、売上規模 1 億円、雇用 10 名程度に規模拡大が可能なビジネスを創出することを目的とする。



本プログラム参画事業者は、プロデューサーとの共創または、プロデューサーからの支援を受けつつ、村の「願い」を起点とした規模拡大可能な事業に取り組もうとする村内事業者で、新規事業を創造におけるプロデューサーに係る費用を本プログラムとして支出することで、当該事業の成長を加速させることを企図する。

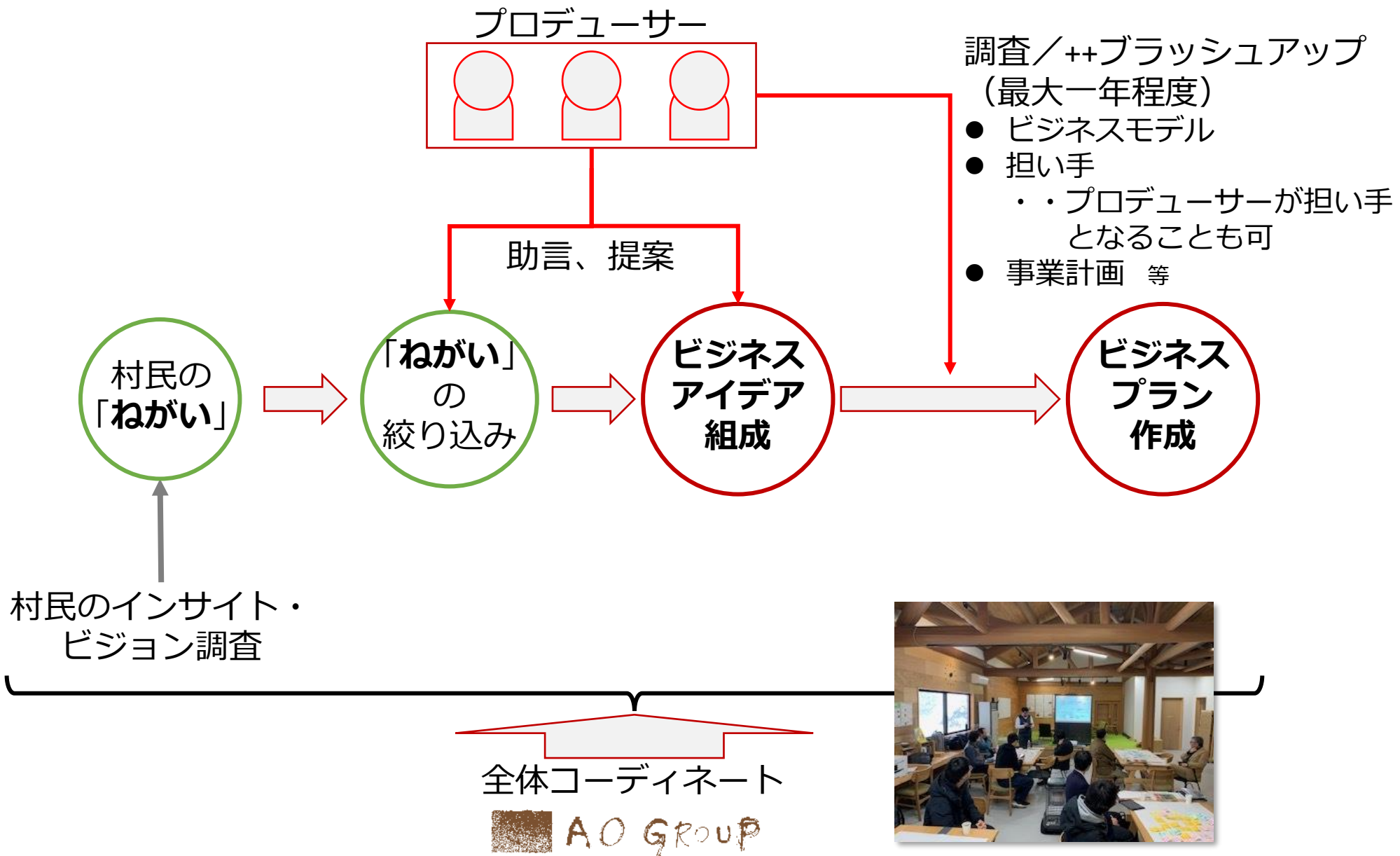
令和7年度募集要項から
プロデューサーにかかる費用の支出。

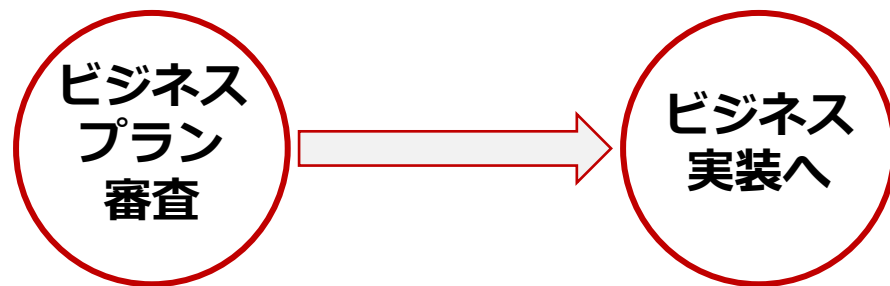
支出期間： 令和 7 年 6 月から令和 8 年 2 月の最大 10 か月
※令和 8 年 3 月分の支出は認められない

支出金額： 1プロジェクトあたり月額 20 万円（消費税を含む）を上限とする
一括契約の場合、令和 6 年度は最大 80 万円（契約期間 4 か月）、
令和 7 年度は最大 220 万円（契約期間 11 か月）を上限とする

支出項目： プロデューサーへの委託費、プロデューサー旅費、
研修費（プロデューサーが実施する場合に限る）等

契 約： 本プログラムの運営受託者（株式会社エーゼログループ）と
プロデューサーの間で業務委託契約を締結する

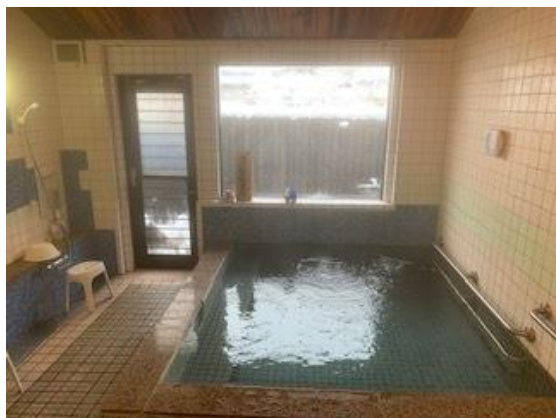




審査項目

- 事業性
 - ・できれば売上規模一億以上
- 村の「ねがい」
- 事業主体

- 村としての認定事業
- 調査等の費用（多くはありません）
- 地域おこし協力隊の投入
 - ・現地側の担い手として
- その他役場とのコミュニケーション（話がしやすくなります）
⇒包括連携も容易に



キーワード：百年の森林と人の暮らし

1 森林資源の活用：材としての価値＋新たな価値

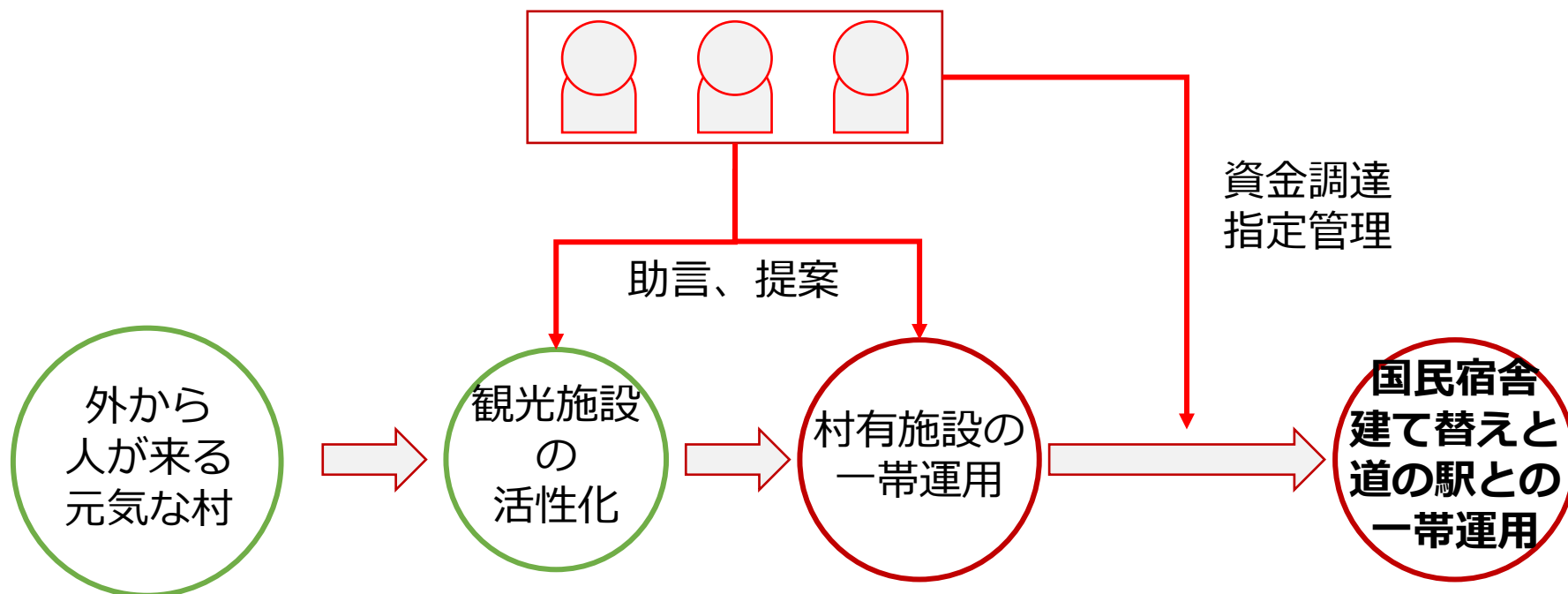
2 森林とつながった暮らしと家
村のランドスケープの再構築

3 移住者が村の暮らしになじむ家
百年の森林の村にふさわしい家と暮らし

4 村民の想いを大切にする空き家活用
百年の森林リフォーム
空き家信託



観光／飲食事業 ワンテーブル社他



国民宿舎あわくら荘跡（同村影石）で整備を進めてきた宿泊交流施設「100年の森のホテル栞（しおり）」が完成し、2024年5月にオープン。地元産木材を使い、約7800平方メートルの敷地に宿泊棟6棟とレストランを備えた共用棟を新築。村外から観光、視察研修の団体を迎え入れ、村民の交流の場としても活用されている。

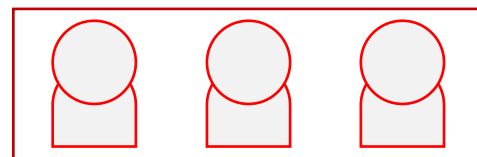
整備費は約13億9千万円。公設民営で、まちづくりや観光開発のワンテーブル（宮城県多賀城市）が指定管理者として運営





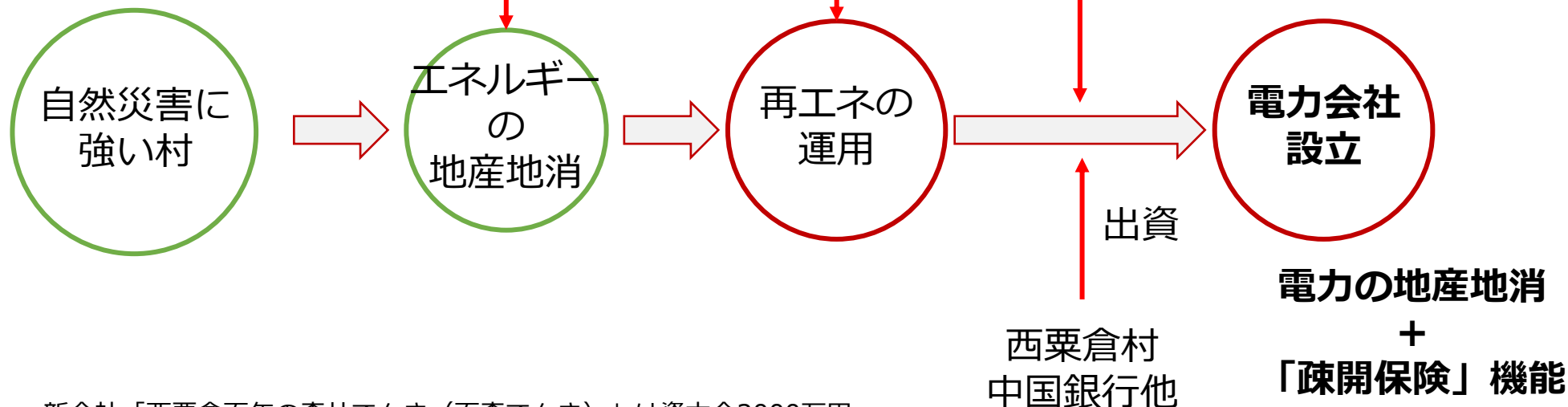
写真出典:西栗倉百年の森林でんき株式会社ホームページより

エネルギー会社 ミツ輪ホールディングス



助言、提案

出資／参画

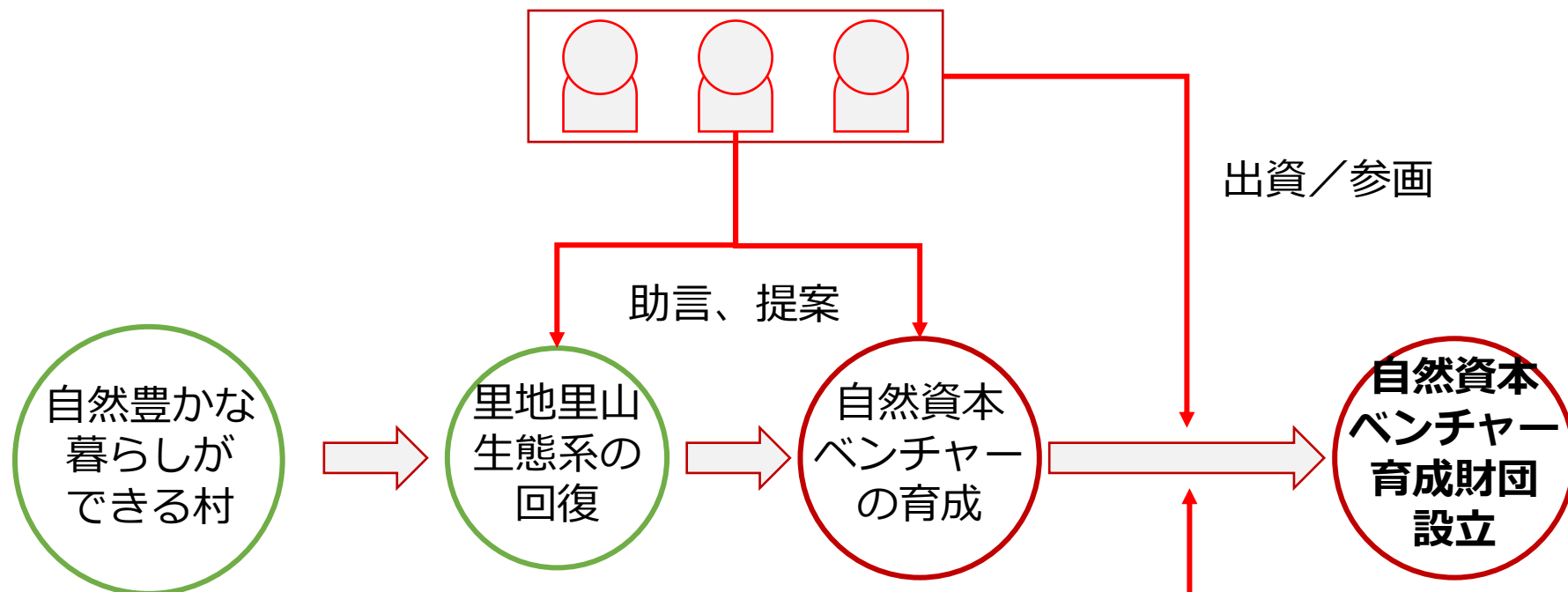


新会社「西栗倉百年の森林でんき（百森でんき）」は資本金2000万円。出資するのは同村、ちゅうぎんエナジーのほか、経営ノウハウや総合サポートを担うミツ輪ホールディングス（東京・新宿）、技術支援のテクノ矢崎（東京・品川）、新会社社長の寺尾武蔵氏。同村とちゅうぎんエナジーが50%超を占める

これまでの事例 (3)

NPO法人ETIC.

東京大学 生物多様性・生態系サービス分野 森研究室



出典:株式会社エーゼログループより

- ①カーボンニュートラルや森林保全としての環境対策と
- ②中山間地域の生活課題解決や林業など産業振興の「森づくり」。
- ③国産合法木材調達による木造木質の住宅・非住宅や「まちづくり」。

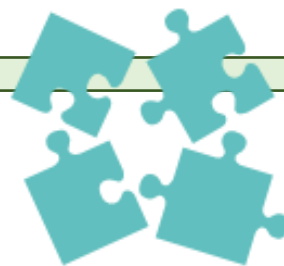
車の両輪となる「森づくり」と「まちづくり」が上手く結び付かない課題やボトルネックを解決するために「1対1」の連携や複数の主体が結びつくサプライチェーン形成などの協業(collaboration)のほかDX等活用による「多対多」などの共創(Co-Creation)により新たな価値創造でバリューチェーン形成を実現するためのプロジェクトを検討するワーキンググループ(WG)

① 環境対策 森林保全



② 中山間地域と 林業の振興

多様な技術や
主体の共創参画



③ 木造木質の まちづくり



もりづくり(川上)側

まちづくり(川下)側

村で生まれた50社以上のローカルベンチャーたち

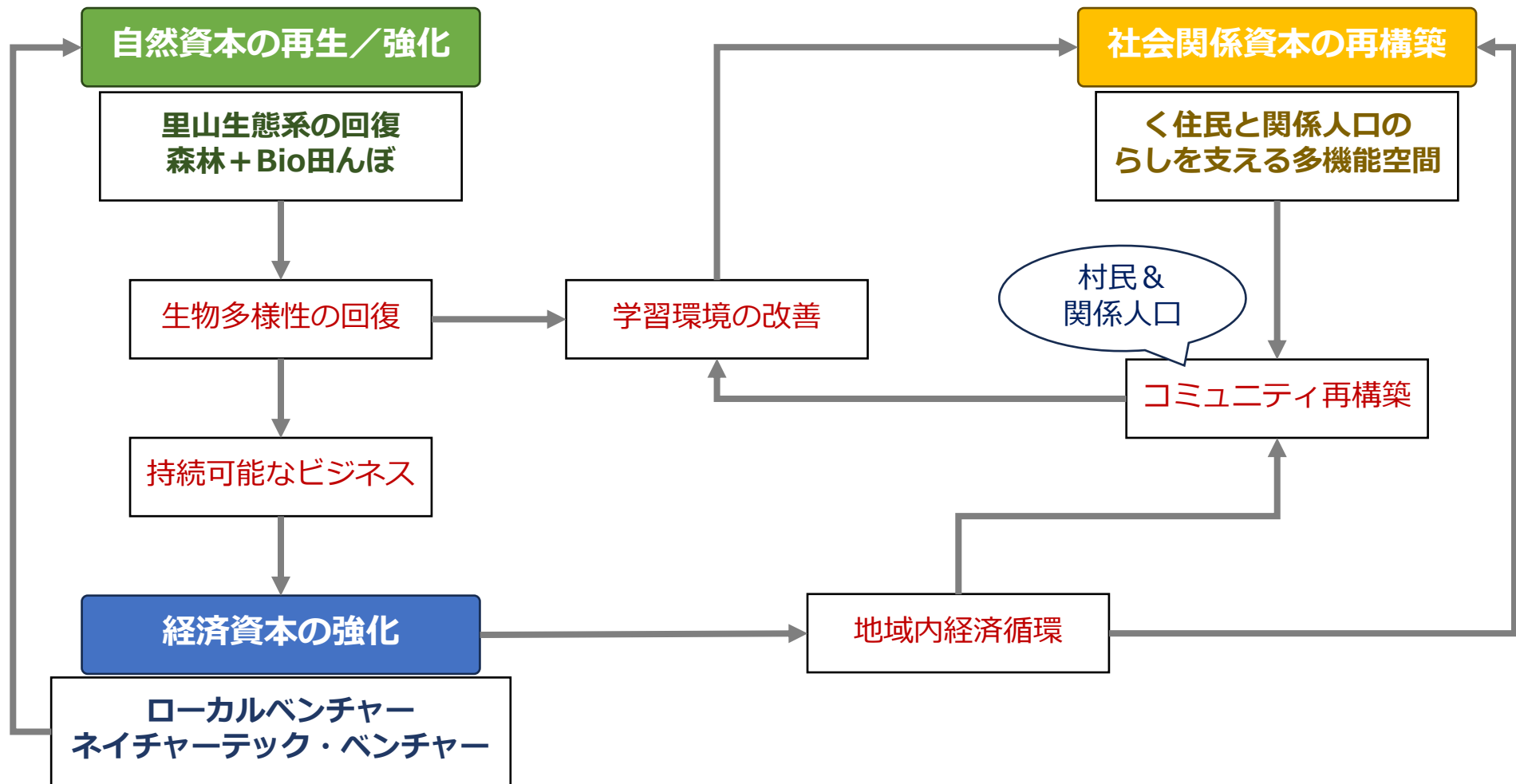




出典: 西栗倉村TAKIBI通信より

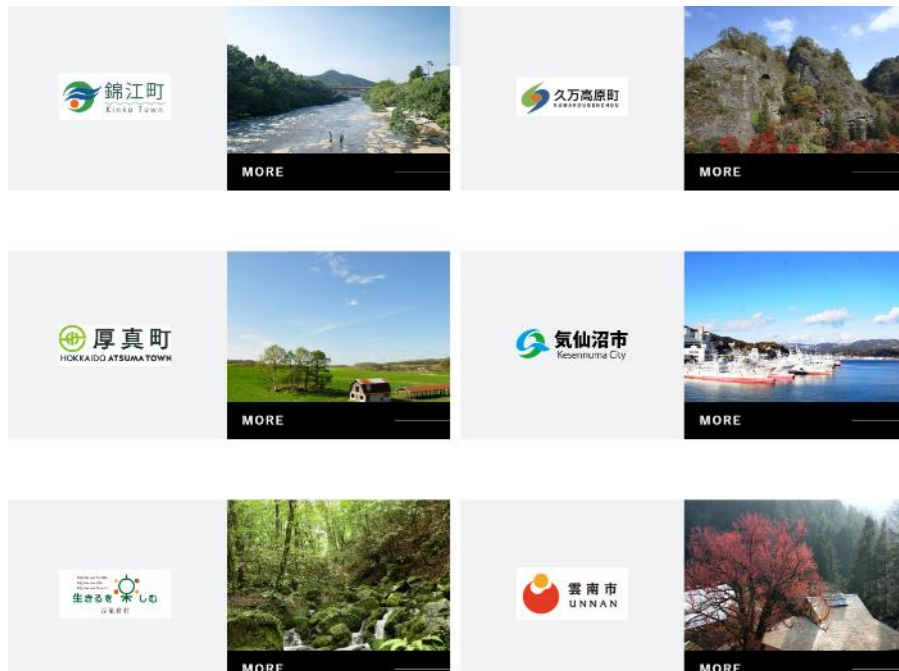
「食を通じた事業を中心とした、高齢者が頼られる仕事」の事業化を検討するため、埼玉県から二人の大学生（堀内希沙乃さん（写真左）、田中愛咲さん（右））が来村し、約2か月半の間インターン活動を行いました。

具体的には、村の高齢者が普段の暮らしの中で楽しみに感じていることや得意としていること、村で採取されている植物や農産物のことなどをまとめてもらいました。二人の活動を通じて、山の恵みの活用や洋裁など当初検討していた食の分野にとどまらない村の高齢者の得意としていることが見えてきました。今後は二人がまとめた内容を参考にしながら、事業を検証していく予定です。堀内さん

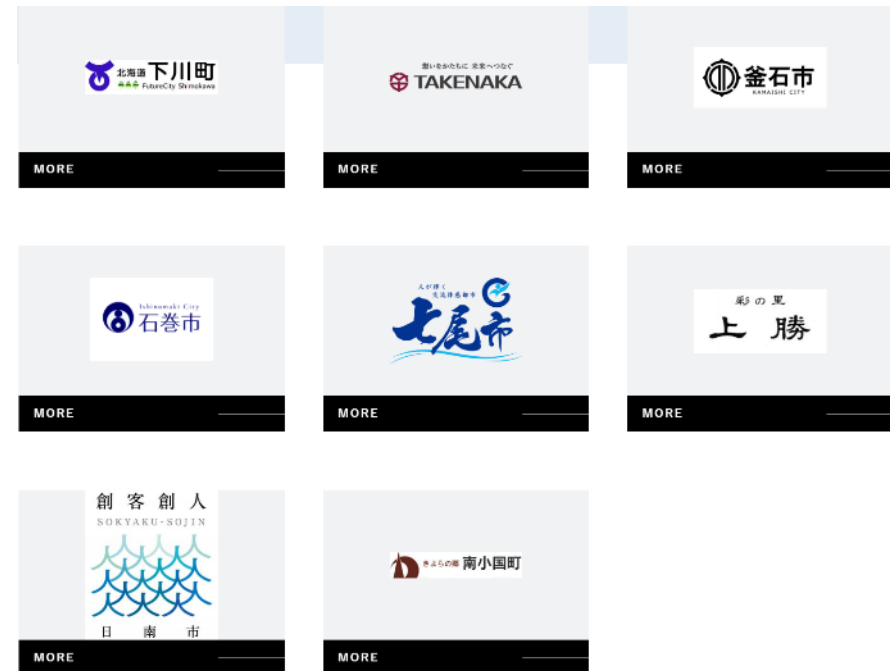


2016年9月、岡山県西粟倉村とNPO法人ETIC.の呼びかけに賛同した8つの自治体により、内閣府の地方創生推進交付金に「広域連携によるローカルベンチャー推進事業」として採択されたことをきっかけに発足。
自治体が拠出金を負担し、事務局をNPO法人ETIC.に委託する形で運営

幹事自治体



パートナー/メンバー自治体・企業



十分な合意形成を経ずして推進された移民政策は、一時的な政治的混乱を引き起こした。しかし、児童数の増加という目に見える結果が事後的な地域合意を醸成し、移住者の受け入れとローカルベンチャー育成の流れを加速させた。

村役場職員の人数が限られている中で地域全体のパフォーマンスを高めていくため、民間企業へのアウトソースが積極的に進められてきた。また、ローカルベンチャー育成を進めること＝アウトソース先になりえる民間企業の育成になるという考え方が村役場内部に定着してきている。

その結果として、民間主導で地域人事部機能が構築できており、地域全体としての人材採用・育成の能力が上がってきている。

西栗倉村では、「民間を使うことができる行政」と「行政を使うことができる民間企業」が育ってきている。

エーゼログループ 代表取締役社長 牧 大介

地域人事部機能の充実

地方創生には、エリア全体の人事戦略を考える司令塔が不可欠。

地域おこし協力隊は、若者・よそ者を活用した人事戦略を検討する上で、貴重な人材輩出源となっているが、若者と地域関係者をコーディネートする司令塔不在のままでは、その多くも空振りに。必ずしも自治体自身が司令塔にふさわしいとは限らない。地域人事部の作り方・育て方が大きな課題。

農地の宅地転用を容易に

稼ぐ農地よりも、自給のための農地として価値が高いのであれば、農地つきの宅地とする方が、住空間としての価値を高めることができる。西粟倉村では、宅地の不足がボトルネックになって移住者を増やせなくなっているが、転用できる農地が非常に少ない。

地域VC機能の構築

創業間もないローカルベンチャーは、黒字転換するまで銀行融資を受けることはほぼ不可能。そのため小ぶりのローカルベンチャー企業ばかりとなる傾向がある。地域経済の牽引役となれるベンチャーが出現するためには、ローカルベンチャー企業にリスクマネーが投入できる環境整備が望まれる。

1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
- 9. 地域主体のリビングラボに向けて**
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会

事 例

北大阪健康医療都市「健都」
吹田市/摂津市の健康まちづくり

北大阪健康医療都市「健都」(健康医療クラスター)とは

北大阪健康医療都市(健都)では、2019年(令和元年)7月に移転した国立循環器病研究センターや2023年(令和5年)3月に彩都拠点と並立する施設として健都イノベーションパークNKビルに移転してきた医薬基盤・国立健康・栄養研究所、さらには、平成30年(2018年)12月に移転した市立吹田市民病院に加え、健康・医療関連分野の研究機関や企業などが進出してきています。これらの機関を中心とした世界トップレベルの研究開発環境を活用して、この地に集積してきた企業・団体が協働することで医療や健康分野のイノベーションの推進が順調に加速されつつあり、また、国際級の複合医療産業拠点(健康・医療クラスター)の形成を目指した、共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」といった国家プロジェクトも展開されています。

北大阪健康医療都市(健都)のまちづくり



健都エリアMAP

1. 健都イノベーションパークNKビル

2. 健都ライブラリー

3. 国立循環器病研究センター

4. 市立吹田市民病院

5. 健都イノベーションパーク

6. 明和池公園

7. 多目的スポーツコート(Sportivo吹田)

8. 緑の散歩道

9. 駅前商業施設(VIERA岸辺健都)

10. 高齢者向けウェルネス住宅(patona吹田健都)

11. 都市型居住ゾーン

健都イノベーションパークNKビルは、国立循環器病研究センターや健都イノベーションパーク(吹田の恵田町)などオープン・イノベーションの拠点となる場を整備する一方、駅前商業施設、健都イノベーション公園など、市民が憩いやすくなる場を整備し、「健康・医療」のまちづくりを進めています。

国立循環器病研究センターを代表機関とする産官民連携プロジェクトにおいて、健康に「共創の場」の拠点を設け、トップレベルの研究者の取組を促進させ、イノベーションの創出を加速するとともに、健康の実証フィールドを活用することで、イノベーションによるヘルスケア産業の創出と「新しいライフスタイルの創造」の好循環を生み出します。

国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

NIBIOHN 国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition

地方独立行政法人
市立吹田市民病院
SUITA MUNICIPAL HOSPITAL
大阪府がん診療拠点病院/日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院/卒後臨床研修評価機構認定病院

大学・研究機関

大阪大学/大阪学院大学/大阪人間科学大学/関西大学
千里金蘭大学/大和大学/国立民族学博物館



共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT) 令和2年度新規採択プロジェクト

世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点。現在大きな社会的問題となっている難治性心血管疾患・難治性がん・認知症・新興再興ウイルス感染症(四大疾患)を克服できるレジリエントな社会を実現するためのバイオコミュニティの形成を目指したプロジェクトです。



一般社団法人 健都共創推進機構





健 都 万 博

健都万博ってなに？

健都では、地域一体となったヘルスケアのオープンイノベーションを推進しています。2024年から2025年にかけてヘルスケアに関連する展示会や体験会などを開催することで、地域の皆様、企業、研究機関等にとって健都がより魅力的な地域となることをめざします！

2024年11月16日①

リビングラボに関する勉強会

健都でのオープンイノベーションを生み出すために、その基盤となるリビングラボについて勉強会を開催しました。

リビングラボとは？

「生活空間を活用した企業や研究機関の実証実験の場」と「市民や地域の事業者が主役となり、さまざまな課題の解決のために、新しい技術やサービス、プロダクトを企業等と共創する場」のこと。

2024年11月17日②

ヘルスケアの新しい技術・サービスの展示・体験会

ヘルスケアの先進技術を体験していただけます！

リビングラボのあり方や、解決したい課題を市民・企業の方が集まって話し合う「研究会」を作ります。

2025年5～7月頃 実施予定

ヘルスケアの新しい技術・サービスの実証実験とは

研究会メンバーが中心となって小規模な実証実験（試作品のユーザーテスト）を行い、地域の皆様に参加していただける実証実験の方法を考えます。



2025年7～9月頃 実施予定

ヘルスケアの新しい技術・サービスの体験会

地域の皆様に開発中の技術・サービスを体験いただく実証実験を開催します。いただいたご意見やご感想を参考に更なる改善や製品化につなげます！



2025年10月頃 実施予定

ヘルスケアの新しい技術・サービスの大規模展示会

50種以上の様々な技術・サービスが健都に大集結！
大阪・関西万博で披露されるヘルスケア関連製品など、最新の技術・サービスを体験していただけます！
また、研究会の活動や実証実験の成果を皆様に報告いたします。



健都の価値を生み出すエコシステム

「健康・医療イノベーションによる新事業の創出」 「新しいライフスタイルの創造」

健都の価値を生み出すエコシステム



オープンイノベーションと市民・地域をつなぐ仕組み（共創プラットフォーム）の確立

アカデミア(学)・企業(産)中心
学学連携・企業連携・スタートアップ

市民(民) 住む人、働く人、訪れる人、
地域事業者の参画
公民連携、市民協働、地域連携



健康・医療クラスター形成

オープン・イノベーションの推進

共創の場形成支援プログラム(JST)

ヘルスケア産業の創出
産学連携、企業連携の促進
によるイノベーションの創出

リビングラボ



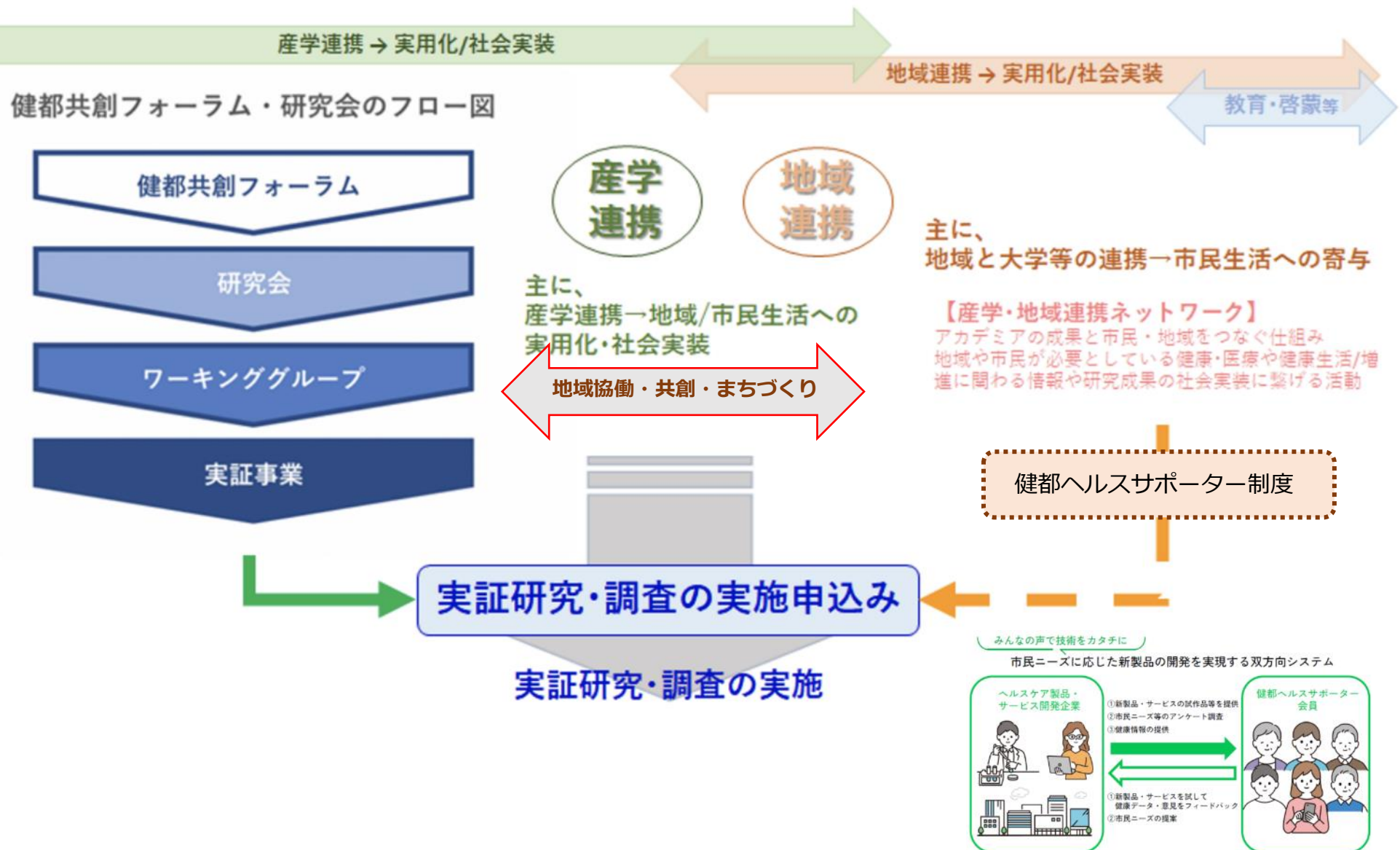
健康・医療のまちづくり

まちぐるみでの健康増進・地域活性化

地域共創

健康への意識を高め、行動変容とともに
新しいライフスタイルを創造し、
主体的コミュニティ活動やエリマネを醸成
(リテラシー向上から行動変容まで)

健都の産学官(公)民連携の計画の形成イメージ



健都ヘルスサポーターとは

みんなの声で技術カタチに

市民ニーズに応じた新製品の開発を実現する双方向システム

ヘルスケア製品・
サービス開発企業



- ①新製品・サービスの試作品等を提供
- ②市民ニーズ等のアンケート調査
- ③健康情報の提供



- ①新製品・サービスを試して
健康データ・意見をフィードバック
- ②市民ニーズの提案

健都ヘルスサポーター
会員



健都ヘルスサポーター 募集!

..... 健都ヘルスサポーターってなに?



— みんなの声で技術カタチに —
市民ニーズに応じた製品開発を実現



お問い合わせ先

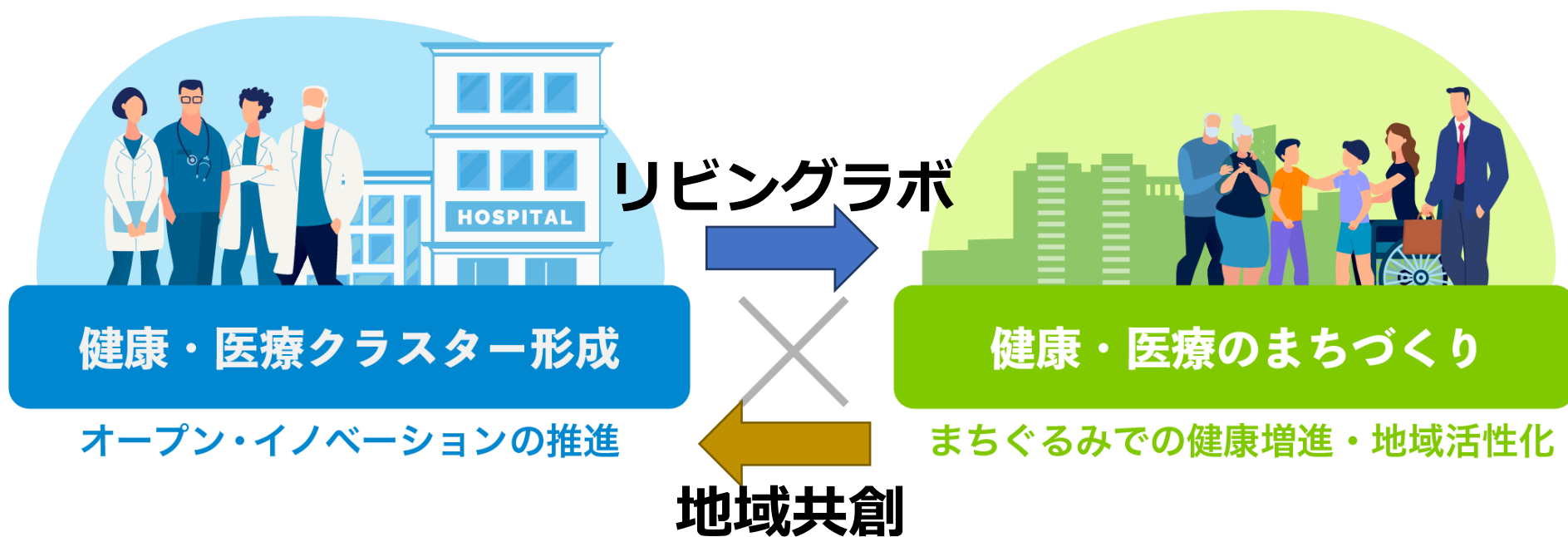
吹田市健康推進部健康まちづくり課 TEL: 06-6384-2614
東淀川区健康推進部健康まちづくり課 TEL: 06-6383-1386

詳しくは

公式サイトを
ご覧ください 健都ヘルスサポーター 検索

健都の機能として、この2つの機能セクターが共創するためには。

- 地域住民や地域の就業者、また、地域の店舗や施設などの事業者がその機能を主体的に活用し、メリットを享受するためにはどうするか。
- 2つの機能セクターの主体の見える化、双方の対話連携方法の仕組み化をどうするか。



- 地域の住民などが、継続的に参加、また情報収集するためにどうするか。
- 現実的な社会実装の際に、関わる流通などの商流の情報はどうするのか。
- 「地域共創」「リビングラボ」の共創プラットフォームが、WinWinな関係にするためにどうするか。何から始めるのが効果的なのか。

リビングラボ機能の地域主体となる地域事業者と地域健康支援団体 113

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

NIBIOHN

国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition



① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界

スタートアップ含む

健康/医療/ライサインズ/バイオ
研究開発や市場調査部門



産業界

スタートアップ含む

健康/医療/ライサインズ/バイオ
宣伝プロモーション部門



金融界

銀行、投資化、産業支援部門



行政 国



行政（自治体）

大阪府/吹田市/摂津市



ソーシャルコミュニケーションと社会実証、実装

- ・健康や身体の悩みに関するメカニズムや解決策の情報
- ・研究や技術製品情報／展示や体験の機会の提供
- ・対話交流による地域の課題や悩みの理解
- ・市民協力による健康データや製品サービスの意見回収

しかし

- ・必要な対象者(テーマや健康状態)を集めることが出来ない
- ・実施する地域拠点、設備が無い、臨時で作る非効率
- ・同じ対象者に継続的にアプローチできない
- ・地域側からの課題や悩みの情報が入らない
- ・社会導入時の流通や小売り、サービス施設からの情報が無い

リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体の悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

③ B to C

市民

地域住民や来街者、子供達



健都ヘルスサポーター会員



従業員 学生



エリアマネジメント主体

- ・健康まちづくりの機能の形成へ
- ・リビングラボ機能の形成と活用

リビングラボ機能の地域主体となる地域事業者と地域健康支援団体 114

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

NIBIOHN
国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所



① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界

スタートアップ含む
健康/医療/ライサインズ/バイ
研究開発や市場調査部門



産業界

スタートアップ含む
健康/医療/ライサインズ/バイ
宣伝プロモーション部門



金融界

銀行、投資化、産業支援部門



行政 国



行政（自治体） 大阪府/吹田市/摂津市



② B to 地域B to

地域事業者

まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設



・必要な対象者(テーマや健康状態)を集めることが
出来ない

地域事業者

オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所



病院クリニック
介護福祉施設
在宅医療介護

③ B to C

市民

地域住民や来街者、子供達



健都ヘルスサポーター会員



従業員 学生



仲間創り
メンバー募集

④ C to C

地域健康支援団体・サークル

患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・リアルマネジメント組織等



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

リビングラボ機能の地域主体となる地域事業者と地域健康支援団体 115

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

NIBIOH

国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition



① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界

スタートアップ 含む
健康/医療/ライサインズ/バイオ
研究開発や市場調査部門



産業界

スタートアップ 含む
健康/医療/ライサインズ/バイオ
宣伝プロモーション部門



金融界

銀行、投資化、産業支援部門



行政 国



行政 (自治体)

大阪府/吹田市/摂津市



② B to 地域B to

地域事業者

まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設



地域事業者

オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所



病院クリニック
介護福祉施設
在宅医療介護

③ B to C

市民

地域住民や来街者、子供達



健都ヘルスサポーター会員

従業員 学生



仲間創り
メンバー募集

④ C to C

エリマネ機能

健康まちづくりの機能
リビングラボ機能運営

地域健康支援団体・サークル

患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・イマゼンメント組織等



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体への悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化



リビングラボ機能の地域主体となる地域事業者と地域健康支援団体 116

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

NIBIOHN

国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institute of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition



EXPO
2025

行政 国



行政（自治体）

大阪府/吹田市/摂津市



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

① B to B 産学連携
ビジネスマッチング

② B to 地域 B to C

③ B to C

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイオ
研究開発や市場調査部門

地域事業者 まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設

市民
地域住民や来街者、子供達

現実界での社会実装
課題やニーズに対応
した方法と共創主体

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイオ
宣伝プロモーション部門

地域事業者
オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所

従業員 学生

金融界
銀行、投資化、産業支援部門

エリマネ機能
健康まちづくりの機能
リビングラボ機能運営

地域健康支援団体・サークル

患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・エリマネメント組織等

各種支援
情報収集
情報提供
商品販売

仲間作り
メンバー募集

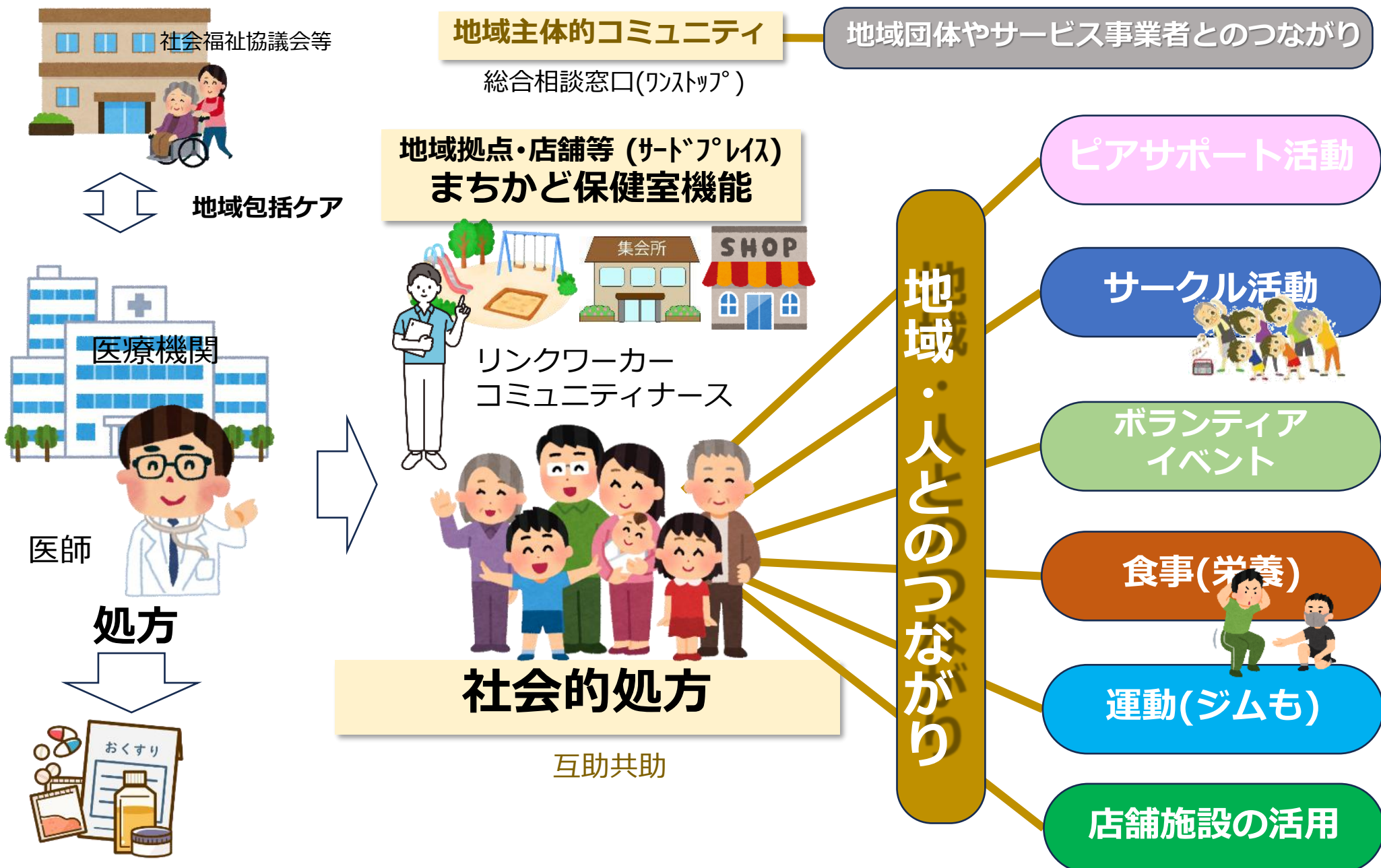
④ C to C



健都ヘルスサポーター
会員

オープンイノベーションとリビングラボの効果的な関係形成





症状／疾患／身体のお悩み／要因	身体部位／機能	技術／製品／部材／処置	対象者
睡眠	口（オーラルヘルス）	スマホ・アプリ	こどもの健康発達
抗加齢（アンチエイジング）	眼	ICT・DX・クラウド	女性の健康
抗疲労（だるさ・倦怠感・リカバリー等）	耳	デジタルデバイス（センサ／マーカー／PHR）	更年期の健康
認知機能	血管	家庭用健康設備機器、建材	高齢者の健康維持
運動	筋肉	職場用健康設備機器、建材	障がい者の健康医療
食事・栄養	骨	医薬品、治療・医療機器	LGBTQの健康医療
呼吸	神経	病院・福祉施設設備・器具	働く人のための健康（健康経営等）
がん（QOL含む）	脳	運動設備・器具	立ち仕事・座ったままの人の健康
難病・希少疾患	鼻	食品・兼職・サプリメント	学校での健康
感染症（治療・予防・対策）	足・ふくらはぎ・膝・腰	QOL製品	アスリート
循環器病（心血管／脳卒中／脳梗塞等）	頭髮（抜け毛・薄毛・白髪）	鍼灸・整体・マッサージ	ケアラーの健康他支援
凝り（頭・首・肩・腰・腕・他）	心臓	リハビリ	当事者の家族の生活
気分の落込み（ストレス／鬱／心疾患）	腎臓	アビリティ・能力向上技術	ご近所の健康
アレルギー（花粉症等）	排泄（便秘・頻尿・夜尿等）	コンテンツ	地域の健康まちづくり
頭痛	姿勢（立つ座る寝る歩行）・体重・体形	代替医療・統合・融合医療	訪日在留外国人の健康
糖尿・糖化現象	皮膚（肌荒れ・シワ・シミ）	金融・保険・共催・資産信託	UHC（BOP／途上国）
更年期障害	腸（腸内フローラ等）	教育・学習・資格	闘病中（入院）患者

アピール効果のあるキーワードテーマ例の分類と選択(健都や健都万博での差別化、ブランディング)

テーマ設定はインパクトと共創主体の有無

- ・ 市民や企業へのアピール効果
- ・ 市民や地域、社会の身体の悩みや市場性
- ・ 話題性、パブリシティ性の効果
- ・ 他地域テーマや他の切口との差別化、個性化できるもの
- ・ 健都の研究機関や立地機関との関係性
- ・ 産学連携・企業連携・商流連携の共創参加主体の有無
- ・ 地域事業者、活動団体の有無と地域連携二ーズ
- ・ 企業や研究機関、地域事業者の地域実証や実装可能性
(R&D、検証実証、エビデンス獲得、評価、マーケティング、宣伝)
- ・ エビデンス、安全性、倫理審査が出来ているもの
- ・ 地域実装や体験、展示に向いている
- ・ 万博企画や国内外出展者関連とのシナジー効果

などを評価してテーマを選択します。

2024年度は市場性調査のほか、研究機関や企業ヒアリングと健都地域の地域事業者や健康活動団体など地域ヒアリングから3～4テーマ程度を選択。その後も継続的なヒアリングなどの調査にて2025年度には3テーマ以外のテーマの追加の可能性も有り。

症状／疾患／身体の悩み／要因	身の部位／機	技術／製品／部材／処置	対象者
睡眠	口(フムヘ)	スマホ・アプリ	こどもの健康発達
抗加齢(アンチエイジング)	CT	クラウド	女性の健康
抗疲労(だるさ・倦怠感)		IR)	更年期の健康
認知			高齢者の健康維持
食事			障がい者の健康医療
体温			LGBTQの健康医療
かた			働く人のための健康(健康経営等)
感情			仕事・座ったままの人の健康
循環器病(心臓)			学校での健康
凝り(頭・首・肩・腰・膝)			アスリート
気分の落込み(不眠/鬱/心疾患)			ケアラーの健康他支援
アレルギー(花粉症等)			当事者の家族の生活
頭痛			近所の健康
糖尿・糖化現象			入
更年期障害			健康
	皮膚		国)
	腸(腸内フローラ等)	教育	闘病中(入院)患者





事例1 ヒルトン東京(新宿)と化学物質過敏症の対策実証実験

シックハウス、シックビルディング対策に



写真出典:ヒルトンホテル東京ホームページより



健康の企業・研究所が大集合！

KENTO FES 2023

11.26
11月26日
18:00～18:30

スペシャル市民参加Day

健康せーれサイド公園
健康ファブライのイベント



シャトルバスも
運行します！



Decker-Car
も運行します！

健康イノベーションパーク、
国立循環器病研究センター、
明和池公園でも
様々な催し物があるよ！！

時間

18:00～18:30

18:30～19:00

19:00～19:30

19:30～20:00

20:00～20:30

20:30～21:00

21:00～21:30

21:30～22:00

22:00～22:30

22:30～23:00

23:00～23:30

23:30～24:00

24:00～24:30

24:30～25:00

25:00～25:30

25:30～26:00

26:00～26:30

26:30～27:00

27:00～27:30

27:30～28:00

28:00～28:30

28:30～29:00

29:00～29:30

29:30～30:00

30:00～30:30

30:30～31:00

31:00～31:30

31:30～32:00

32:00～32:30

32:30～33:00

33:00～33:30

33:30～34:00

34:00～34:30

34:30～35:00

35:00～35:30

35:30～36:00

36:00～36:30

36:30～37:00

37:00～37:30

37:30～38:00

38:00～38:30

38:30～39:00

39:00～39:30

39:30～40:00

40:00～40:30

40:30～41:00

41:00～41:30

41:30～42:00

42:00～42:30

42:30～43:00

43:00～43:30

43:30～44:00

44:00～44:30

44:30～45:00

45:00～45:30

45:30～46:00

46:00～46:30

46:30～47:00

47:00～47:30

47:30～48:00

48:00～48:30

48:30～49:00

49:00～49:30

49:30～50:00

50:00～50:30

50:30～51:00

51:00～51:30

51:30～52:00

52:00～52:30

52:30～53:00

53:00～53:30

53:30～54:00

54:00～54:30

54:30～55:00

55:00～55:30

55:30～56:00

56:00～56:30

56:30～57:00

57:00～57:30

57:30～58:00

58:00～58:30

58:30～59:00

59:00～59:30

59:30～60:00

60:00～60:30

60:30～61:00

61:00～61:30

61:30～62:00

62:00～62:30

62:30～63:00

63:00～63:30

63:30～64:00

64:00～64:30

64:30～65:00

65:00～65:30

65:30～66:00

66:00～66:30

66:30～67:00

67:00～67:30

67:30～68:00

68:00～68:30

68:30～69:00

69:00～69:30

69:30～70:00

70:00～70:30

70:30～71:00

71:00～71:30

71:30～72:00

72:00～72:30

72:30～73:00

73:00～73:30

73:30～74:00

74:00～74:30

74:30～75:00

75:00～75:30

75:30～76:00

76:00～76:30

76:30～77:00

77:00～77:30

77:30～78:00

78:00～78:30

78:30～79:00

79:00～79:30

79:30～80:00

80:00～80:30

80:30～81:00

81:00～81:30

81:30～82:00

82:00～82:30

82:30～83:00

83:00～83:30

83:30～84:00

84:00～84:30

84:30～85:00

85:00～85:30

85:30～86:00

86:00～86:30

86:30～87:00

87:00～87:30

87:30～88:00

88:00～88:30

88:30～89:00

89:00～89:30

89:30～90:00

90:00～90:30

90:30～91:00

91:00～91:30

91:30～92:00

92:00～92:30

92:30～93:00

93:00～93:30

93:30～94:00

94:00～94:30

94:30～95:00

95:00～95:30

95:30～96:00

96:00～96:30

96:30～97:00

97:00～97:30

97:30～98:00

98:00～98:30

98:30～99:00

99:00～99:30

99:30～100:00

時間	内容	会場	定員	申込	備考
18:00～18:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
18:30～19:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
19:00～19:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
19:30～20:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
20:00～20:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
20:30～21:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
21:00～21:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
21:30～22:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
22:00～22:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
22:30～23:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
23:00～23:30	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名	要	健康イノベーションパーク
23:30～24:00	健康イノベーションパーク	健康せーれサイド公園	100名</		

健康の秋・望都の秋

秋フェス

in 明和池公園

11/26 [日] 10:00 ~ 16:00

明和池公園（東京都目黒区新町2）
小森沢町

秋フェスの明和池公園では、健康ブースをはじめ
フード・ドリンクの専門店、ワークショップなど、多彩な
イベントをご用意。子どもも大人も楽しめる秋祭りです。

主催：明和池公園 / 協賛：明和池公園

QRコード
明和池公園の最新情報や
イベントの詳細はこちらで
ご確認ください。

健康ブースで実施！

指先で体内の老化物質(AGEs)を測定しよう

約1分間で測定

「健康の秋」期間中、明和池公園
で健康チェックポイントを実施します。
その中で、手指の末端から採血し、
血液中のAGEs濃度を測定する検査が
好評です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDG 3 健康と長寿
ターゲット 3.6 交通事故による死者数を2020年から半減させる

QRコード
健康チェックポイントの詳細や
参加方法はこちらで
ご確認ください。

MARCHE *go!!

Suita SST マルシェ

= 健都連携 =

日程: 11/25(土) ~ 11/26(日)
 時間: 10:00 ~ 16:00
 期間開催: 2023年11月26日
 会場: ユース2023 / 健都連携フォーカンプ



パナソニック株式会社
 真田君のきんぎょの巻
 やらわら会館理恵子
 「デリタマ子」体験
 親子で楽しむ健康な運動をしよう！
 立てっぴを上手に使うことで楽しく運動しよう！
 たくさん笑って！ たくさんあそぼう！

11月26日
 10:00~12:00

株式会社学研ホールディングス
 わくわく、ドキドキ
 お子さま向けイベント
 10月25日(土) ~ 10月26日(日) 10:00~16:00
 親子で楽しむ健康な運動をしよう！
 たくさん笑って！ たくさんあそぼう！

学研の図鑑や書籍がめあて
 ガラポン抽選会
 抽選会に参加された方は
 抽選会に参加いただけます。
 健康/介護相談会
 介護サービス利用を検討されている方へ
 まずはお声がけください！

興和株式会社
 KOWA マレージクラブ
 コナメ
 アメの企画、アソビ・ドレッシング
 KOWA
 ハビネダイレクト(BCF)など
 商品紹介・抽選会も！
 コウキヤラック
 クラホム・コロカル
 プズ・フーズ
 新着、ベーター、
 新人服をプレゼント。

11月26日
 10:00~16:00

※会場内、アメの企画・抽選会を行います。

ALSOX
 ガードマン衣装着用
 記念撮影(11/26のみ)
 2階席のイベントに、ガードマン衣装を
 2階席に貸し出すので、ガードマン衣装
 撮影が楽しめます！





中野インテグレーション株式会社
 パークナード牧田SST
 エクラ秋の文化祭
 入場券の企画、可食、中野秋の文化祭
 販売品を販売し、10:00~16:00
 たくさん笑って！ たくさんあそぼう！





会場マップ
 ①パナソニック
 ②学研ホールディングス
 ③興和
 ④中野インテグレーション
 ⑤パナソニック
 ⑥Suita SST 会場

株式会社竹中工務店
 できる場所をつくろう
 竹中工務店の「建築」への取組み

多岐川 多岐川
 (スナボロ・スナボロ)

多岐川 多岐川
 (スナボロ・スナボロ)

パナソニック
 健康 健康 健康



[illegible]

出典:健都ホームページ <https://co-creation.ken-to.jp/about/>



科学と社会をつなぐ6日間 まぜて、こえて、つくりだそう

サイエンスアゴラ 2022

■ サイエンスアゴラ Online 2022 10月20日(木)~22日(土)

■ サイエンスアゴラ 実地開催 2022 11月4日(金)~6日(日)

サイエンスアゴラ2022は終了しました。参加いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。特設サイトでは、引き続きアーカイブ動画を視聴いただけます。

サイエンスアゴラ2023

©Alessandro Bioletti / 世界が広がる学問図鑑 (Gakken)

オンライン開催 2023 10月26日(木)~28日(土)

実地開催 2023 11月18日(土)~19日(日) 10:00~17:00

出展レポート・オンライン企画のアーカイブ公開中

サイエンスアゴラ 2023 は、多くの方々に参加いただき、盛況のうちに無事終了しました。ともにサイエンスアゴラをつくり上げていただいた全ての方々に心よりお礼申し上げます。

サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。サイエンスアゴラは、異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動の広場です。この広場に集まる人たちが多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。



サイエンスアゴラ in 健都
と「まちかど保健室」活用の
サイエンスcafé 構想に結び付けられれば



サイエンスアゴラ2022 企画レポート
これからのSTEAM教育【上】ワクワクを探究しよう、正解は1つじゃないサイエンスアゴラ2022より (Science Portal) 2022.12.13



サイエンスアゴラ2022 企画レポート
市民と科学者の壁を壊そう サイエンスアゴラで専門家Vtuberたちが自熱トーク (Science Portal) 2022.11.29



サイエンスアゴラ2022 ニュース
「観合わせ、新たな視点」3年ぶり実地開催のサイエンスアゴラ2022が開幕 (Science Portal) 2022.11.07



サイエンスアゴラ2022 ニュース
まぜて、こえて、つくりだそう サイエンスアゴラ、3年ぶり実地で開幕 6日まで市民、科学者お台場に集う (Science Portal) 2022.11.04



サイエンスアゴラ2022 ニュース
対話・共創の活動 まぜて、こえて、つくりだそう サイエンスアゴラ in 大阪「まぜて、こえて、つくりだそう」11月13日(日)開催 2022.10.29



サイエンスアゴラ2022 ニュース
サイエンスアゴラ、20~22日にオンライン開催 来月1日はコロナ討論会も (Science Portal) 2022.10.17



サイエンスアゴラ in KOBE 2022
サイエンスアゴラ in KOBE 10月29・30日開催の「神戸医療産業都市一般公開2022」のイベントとして参加 2022.10.06



サイエンスアゴラ2022 ニュース
サイエンスアゴラ2022、3年ぶりに実地開催「まぜて、こえて、つくりだそう」 (Science Portal) 2022.09.15



サイエンスアゴラ2022 情報
ジュニアドクター育成塾/サイエンスとアートとの出会い ~未来を創る君たちへ~ 10月2日(日)開催 2022.09.06



サイエンスアゴラ in 宗像
サイエンスアゴラ in 宗像 ~STI×九工大×九大×海洋にめ、プラスチックス問題~ 海をみんなであらう~ 2022.09.06



Science Agora 2022 情報
有識者による未来への提言 15 人文・社会・科学系有識者が語る現状と未来 2050 2022.09.06



Science Agora 2022 情報
共創のための対話マニュアル 対話の場のつくりかた ~共創による科学技術イノベーション創出のために~ 2022.09.06

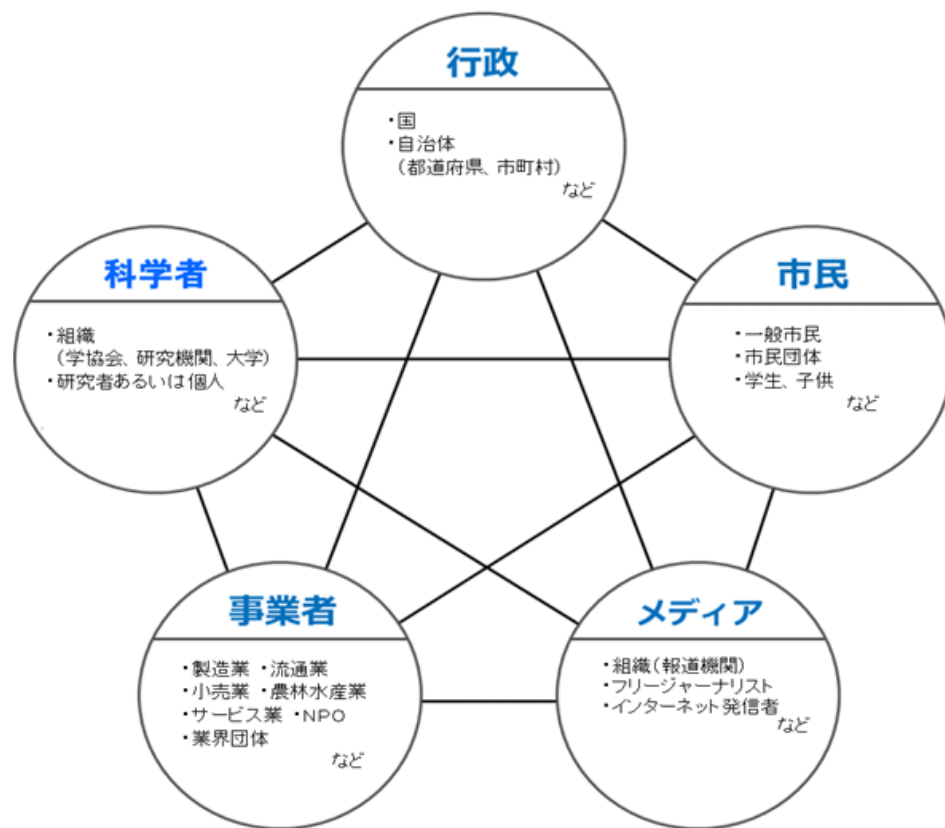
出典:科学技術振興機構ホームページより

「サイエンスアゴラ」とは…

サイエンスアゴラは、科学技術振興機構（JST）が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動の広場です。ウェブサイトでは、サイエンスアゴラの情報に加え、年間を通じた活動についても紹介しています。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

出典:科学技術振興機構ホームページより



「いのち」「水」をテーマに、サイエンスアゴラを開催 21世紀懐徳堂が主催し、JSTなどが共催

プログラム

基調講演
「いのち」に立ち返る意識と行動
～「いのち会議」と「いのち宣言」～
堂目卓生（大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長）

ディスカッション
「水都大阪のバタフライエフェクト
～いのちをめぐる人・まち・世界」

【登壇者】
沖 大幹（東京大学総長特別参与、大学院工学系研究科教授）
永山祐子（永山祐子建築設計 代表）
杉本容子（株式会社ワイキューブ・ラボ 代表取締役／一般社団法人水辺ラボ 代表理事）
防災ファッションラボ（多田裕亮、古市優衣、松浦翔多朗）

【ファシリテーター】堂目卓生（大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長）

【総合司会】木ノ下智恵子（大阪大学 21世紀懐徳堂 准教授）

時間：18時30分～20時30分（18時15分開場、受付開始）
場所：大阪大学中之島センター10階佐治敬三メモリアルホール（大阪市北区中之島4-3-53）
参加費：無料 実来場観覧：定員120名（要事前申込・先着順）
オンライン配信：YouTube（申込不要・18時30分配信開始）
特設サイトURL：https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/scienceagora_r06/

サイエンスアゴラin大阪
2024年3月15日（金）

いのちをめぐる人・まち・世界

水都大阪のバタフライエフェクト





主催：大阪大学21世紀懐徳堂

共催：科学技術振興機構、クリエイティブアイランド中之島実行委員会、アートエリアB1

出典:科学技術振興機構ホームページより

サイエンスアゴラin神戸 2023

ムーブメント目標：公開イベント

サイエンスアゴラin神戸

常識を覆せ！神戸から目指すJDRの未来

2023.11.3(金・祝)
13:00-14:30
@甲南大学
ポートアイランドキャンパス

神戸の研究 神戸出身

福永真弓さん 砂川玄志郎さん 三好建正さん 標葉隆馬さん 黒田有彩さん
環境社会学 人工冬眠 気象制御 科学技術政策 宇宙クレーン

MOONSHOT SCIENCE AGORA

【イベント概要】

- 日時：2023年11月3日（金・祝） 13:00-14:30（12:30～受付開始）
- 場所：甲南大学ポートアイランドキャンパス 7F レクチャーホール
（ポータルライナー「計算科学センター」駅よりキャンパス入口まで徒歩約4分）
- 定員：240名（先着順）
- 参加費：無料
- 開催団体：
（主催）神戸市、神戸医療産業都市推進機構、科学技術振興機構（JST）
（共催）理化学研究所神戸事業所、甲南大学
（協力）神戸大学生命・自然科学ELSI研究プロジェクト

出典:科学技術振興機構ホームページより

神戸医療産業都市一般公開特別企画

サイエンスアゴラ in KOBE

2023年11月9日 土
10:00～12:00（開場・受付9:30～）

参加費 無料
定員240名

会場：甲南大学 ポートアイランドキャンパス7F
レクチャーホール
神戸市中央区港島南町7丁目1番20

Youth of the future ～科学の未来、未来の科学～

講演1
再生医療の開発～細胞、手術、ロボット
株式会社ジェンクス 代表取締役社長
理化学研究所 生命医科学研究センター
理化学研究所 細胞研究センター 客員研究員 高橋政代
この講演では、再生医療の分野で、細胞、手術、ロボットの研究開発の現状と、今後の展望について、高橋様からご講演いただきます。再生医療の分野では、細胞、手術、ロボットの研究開発の現状と、今後の展望について、高橋様からご講演いただきます。

講演2
闘う植物たち：植物の生きる工夫
神戸大学大学院理学部 三村徹郎
植物は、光エネルギーを用いて、光合成によってエネルギーを生産する。そして、そのエネルギーを用いて、植物の成長と生存に必要とする。植物は、生きる工夫を凝らす。植物は、生きる工夫を凝らす。

事前申込
参加申し込み
こちらから
https://www.tbri-kobe.org/agora_kobe

トークセッション ～地元高校生を交えて～
高橋政代 × 三村徹郎 × 荒川敦史 × 高校生のみなさん
神戸大学 理学部 三村徹郎 神戸大学 理学部 荒川敦史 神戸大学 理学部 高橋政代 神戸大学 理学部 高校生のみなさん

ファシリテーター
本田隆行
神戸大学 理学部 本田隆行

主催：神戸医療産業都市推進機構、神戸市
共催：理化学研究所、神戸大学、甲南大学、科学技術振興機構
お問い合わせ：神戸医療産業都市推進機構 クラスター推進センター 神戸市運営・広報課
TEL:078-306-2231 E-mail:kubic.pr@tbri-kobe.org

- < 主催 > 神戸医療産業都市推進機構、神戸市
< 共催 > 理化学研究所、神戸大学、甲南大学、科学技術振興機構

1. 自己紹介
2. 地域共創とリビングラボ
3. 共創の考え方
4. 住民や事業者の方々に向けた勉強会より「地域経営主体になる」
5. 町内の地域経営主体による地域経営資源を活用した町外パートナー誘致
6. ゲストの立場から地域経営主体としてのホストへの転換
事例 コミュニティバス公共交通機関廃止から地域交通経営
7. 浪江駅西側地区の産業や文化を産み出す風景の共創と地域経営資源
事例 バリ島のウブド
8. 共創による地域価値向上とローカルベンチャー育成
事例 岡山県 西粟倉村共創人口創出プロジェクト
9. 地域主体のリビングラボに向けて
事例 北大阪健康医療都市「健都」吹田市/摂津市の健康まちづくり
- 10. 浪江駅西側地区共創会議でのコミュニティ部会と基盤整備部会**

		R7年 4 月 23日/24日	R7年 5 月29日/ 30日	R 7年7月17日 (第 1 回)	R 7 年10-12月 (第 2 回)	R 8 年 1 - 3 月 (第 3 回)	R 8 年 4 月
共創会議 全体会議	①	説明会・ 現地視察会	共創会議本会 (第 1 回) キックオフ	【各回の間で行うこと】 ・各回アンケート整理と課題抽出 ・次回宿題の参加者への提供 ・検討中の課題や疑問への事務局/専門家対応 ・課題解決情報の調査や専門家の調査とコメント ・不足リソースや主体の調査、ヒアリング、勧誘			共創会議本会 (第 2 回)
	②	・事業理解 ・地域理解	・事業/地域理解 ・F-REI(経営資源等) ・共創方法と会議目的や進め方理解				・共創進捗整理 ・全体最適化 ・重点テーマと 試行的プロジェクト
	③	・説明会 ・交流会 ・視察会	・町より説明 ・セミナー ・事業者等発表 ・交流会	【第2回開催までの作業】 ・第1回テーマや議論から第2回までに必要な情報 (課題解決策や参考事例の調査資料作成と ・不足リソースの整理、または参加誘導)			
コミュニティ 部会	①	【第1回開催までの作業】 第1回コミュニティ部会までに提案提出期限を設定し、公募、また個別依頼により、WSのためのチーム・テーマを設定。第1回で発表いただき、参加者を各テーマに振り分ける仮案作成(当日参加者の希望でチーム・テーマ移動可能)		コミュニティ部会① ・全体説明会/共創の講演/ヒッチ/WS	コミュニティ部会② ・振り返り/不足情報講演/新規ヒッチ/WS/MAP作成	コミュニティ部会③ ・振り返り/講演(ゲスト含む)/新規ヒッチ/WS	
	②			・地区計画の概要理解 ・共創会議趣旨理解 ・参加者の相互理解 ・共創(チーム組成)方法	・テーマの共創主体検討 ・テーマ課題解決策検討 ・共創役割/不足リソース ・不足する新テーマ検討	・共創チームワーキング ・事業主体意識醸成 ・地域実装への計画 ・基盤整備との整合	・試行的プロジェクト ・継続検討ワーキング ・F-REIとの整合
	③	・提案の事前募集 ・広報活動		・地区/共創会議説明(町) ・共創方法説明講演(廣常) ・参加者自己紹介(フリック活用) (1)～(5)の立場明確化) ・提案者発表(事前調整) ・テーマ別のチーム分けとワークショップ(農業/観光交通/生活サービス/店舗商店街/まちづくり等) ・チーム内対話(ワークショップ形式) ・対話成果の発表(後にチーム移動) ・不足リソースや主体検討 ・事務局連絡(アンケート依頼と第2回までの宿題)	・第1回振り返り ・新規メンバー(不足主体)紹介 ・第2回用宿題の整理 ・不足情報関連講演(廣常・ゲスト) ・移動希望チームテーマに再編移動 ・テーマチーム内対話・議論 ・事業イメージ共有 ・ステイホルダー(立位置)整理 ・不足リソース検討 ・テーマ別MAPプロット作業(可視化) ・チーム対話・MAP成果発表 ・事務局連絡(アンケート依頼と第3回までの宿題)	・第2回振り返り ・統合化したMAPの確認 ・新規メンバー(不足主体)紹介 ・第3回用宿題の整理 ・不足情報関連講演(廣常・ゲスト) ・移動希望チームテーマ再編移動 ・テーマ内事業・プロジェクト議論 ・事業成立(主体化)の課題と解決策(リソース・施設)検討 ・事業・プロジェクト共創メンバーと役割、リーダーの選定 ・チーム事業プロジェクト成果発表 ・事務局連絡	・チームビルディング ・プロジェクトマネジメント ・地域実証方法や実施主体、場所 ・地域の住民や事業者の協力方法 ・協力者の巻き込み ・基盤整備への反映 ・施設機能への反映
基盤整備部会 対象者	①	【第2回に向けた宿題イメージ】 ・第1回対話での不足テーマやリソースの洗い出し ・自身の立ち位置やチーム変更ニーズの整理 ・テーマ内の自身が新たに考えるアイデア等 ・第2回までに事務局にデータ送付		基盤整備部会 (随時開催)			
	②						
	③						
		【第3回に向けた宿題イメージ】 ・第2回対話での不足リソースや必要事業の洗い出し ・自身の立ち位置やチーム変更ニーズの整理 ・テーマ内の事業やプロジェクトの自身の関係性やアイデア等 ・事業のための施設や設備、インフラ、支援の考え方 ・第3回までに事務局にデータ送付					

- ①実施内容
- ②目的目標
- ③プログラム

テーマ別チーム振り分け
・地域住民や事業者×町外企業や団体
・産+官+学+民+金
・提案主体+支援や協力メンバー
・その他、シナジーや事業化を想定した主体間

ご清聴ありがとうございました。



廣常啓一